

(報告事項)

第1139回経営委員会資料

平成23年 3月 8日

平成23年度各地方向け地域放送番組編集計画

および編成計画について

各地方向け地域放送番組編集計画については、別冊のとおり定めたので報告する。

各編集計画は、2月開催の各地方放送番組審議会に諮問し、可とする旨の答申を得て決定したものである。

なお、各計画とも、第1133回経営委員会(平成23年1月11日)で議決を得た「平成23年度国内放送番組編集の基本計画」に基づき、それぞれの地域実情にあわせたきめ細かな地域放送の実施と、地域からの積極的な全国発信を行うことを主な内容としている。

各地方向け地域放送番組編成計画については、それぞれの地域の編集計画に基づき作成し、2月25日の放送総局編集会議での審議を経て決定したものである。

(参 考)

平成23年度各地方向け地域放送番組編集計画の諮問・答申月日

	諮問した地方 放送番組審議会	諮問・答申月日
平成23年度関東甲信越地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第567回関東甲信越 地方放送番組審議会	平成23年2月18日
平成23年度近畿地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第564回近畿地方 放送番組審議会	平成23年2月16日
平成23年度中部地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第566回中部地方 放送番組審議会	平成23年2月18日
平成23年度中国地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第567回中国地方 放送番組審議会	平成23年2月17日
平成23年度九州地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第570回九州地方 放送番組審議会	平成23年2月17日
平成23年度東北地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第572回東北地方 放送番組審議会	平成23年2月17日
平成23年度北海道地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第566回北海道地方 放送番組審議会	平成23年2月16日
平成23年度四国地方向け 地域放送番組編集計画(案)	第570回四国地方 放送番組審議会	平成23年2月21日

平成 2 3 年度

各 地 方 向 け

地 域 放 送 番 組 編 集 計 画

目 次

平成23年度	関東甲信越地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	1
平成23年度	近畿地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	17
平成23年度	中部地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	28
平成23年度	中国地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	45
平成23年度	九州地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	53
平成23年度	東北地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	66
平成23年度	北海道地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	78
平成23年度	四国地方向け地域放送番組編集計画	．．．．．	84

平成23年度 関東甲信越地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

政治的な混迷、長期にわたる不況と雇用不安、急速な高齢化などさまざまな問題が、関東甲信越地方4,700万人の視聴者の暮らしに大きな影響を与えています。

時代が大きく変わる中で、首都圏放送センターをはじめとする本部各部局と関東甲信越の9つの放送局は、“頼りになる”そして“身近な”公共放送として、放送を通じて人々の安心や安全を守り、暮らしを豊かにするために全力をあげます。

私たちは、人々の生活に寄り添いながら地域や日本社会の抱える課題と正面から向き合い、出来事の現場や当事者への丁寧な取材で真実に迫る、徹底した“現場主義”の報道に力を入れ、キャンペーン放送などを通じて解決策を探っていきます。特に災害や事件事故などの緊急報道や、選挙報道においてはいっそうの強化を図ります。

また、各地の豊かな自然や文化、人々の営みを見つめ、関東甲信越各地の魅力为全国に発信していきます。

さらに、インターネットや携帯端末などを通じて、災害情報から暮らしに役立つ情報までさまざまな情報を迅速に提供し、視聴者への新たなサービスを飛躍的に向上させていきます。

それとともに、ニュースや番組と視聴者とを結ぶ双方向の展開をいっそう充実させ、視聴者の声を放送に反映してさらに役に立つ番組に発展させていくという新しい公共放送のあり方を摸索します。

こうした試みを通じて“いつでも、どこでも、もっと身近にNHK”の実現をさらに目指していきます。

加えて、7月のテレビ放送の“フルデジタル化”への円滑な移行に向けて、地域放送においても、それぞれの地域や受信者ごとの受信環境に応じた、きめ細かな情報の提供に努めます。

《重点事項》

1. 暮らしの中の身近な課題に向きあう放送

人々の暮らしに寄り添いながら地域や日本の抱える課題と正面から向き合い、徹底した現場主義のニュース・番組を発信します。また地域や暮らしに大きな影響を与えかねない“埋もれた問題”や“見過ごされている危うさ”を掘り起こす調査報道も強化します。こうした身近な課題を関東甲信越の各放送局が連携し、例えば“ミドルエイジクライシス”のような統一テーマを掲げて“首都圏プロジェクト”としてキャンペーン放送を展開し、視聴者とともに解決策を考えていきます。

2. 災害報道や選挙報道のいっそうの充実

国民の生命・財産を守る公共放送として、災害報道に引き続き力を入れます。さらに、気象情報や交通情報など暮らしへの影響についてもきめ細かく情報を伝えていきます。

また、人々の暮らしに直結する政治の動きについて、視聴者の関心に的確に答えるため、4月に予定される統一地方選挙などの選挙報道では、争点や地域への影響などをわかりやすく伝えるとともに、開票結果を正確かつ迅速に放送します。

3. 地域の魅力・活力を全国に発信

関東甲信越各地には多様で豊かな自然や文化、暮らしがあります。また、地域の活性化のためのさまざまな取り組みも行われています。こうした各地の魅力や活力を、NHKのネットワークを活用して全国に発信し地域を応援します。

4. 感動、やすらぎ、そして地域を元気に

4月から、毎月1回金曜夜間の地域放送の時間帯に、関東甲信越地方向けに地域の課題を徹底的に掘り下げる一方で、紀行や自然、役に立つ生活情報などを盛り込んだ大型の特集番組を新設します。

さらに首都圏放送センターや本部各局、関東甲信越の各放送局の番組などを通じて、地域ごとに独自性を発揮しながら、感動や親しみ、そして、やすらぎや潤いなど視聴者に活力や勇気を与え、視聴者や地域を元気にする番組を提供します。

5. 多様なメディアを活用した新たな視聴者サービス

インターネットや携帯端末など 3-Screens を通じて、災害や選挙などの情報や番組に関連する様々な情報を迅速に視聴者に提供し、放送以外でのサービスを飛躍的に向上させます。

また、ニュースや番組と視聴者を結ぶ双方向の展開をいっそう充実させ、視聴者の声を反映してさらに役に立つ番組に発展させていくという新しい公共放送のあり方や、地域や人々とのつながりを模索します。暮らしや地域に役立つ情報を、放送と連動させながら、インターネット・携帯端末向けのサービスとして展開するなど、メディアの特性を生かしてこれまで以上に、“いつでも、どこでも、もっと身近にNHK”の実現をさらに目指していきます。

6. 北関東 2 局のテレビ圏域放送の実現へ向けて

平成24年4月を目途に開局を目指している前橋放送局と宇都宮放送局のテレビ圏域放送の実現へ向けて、地元の視聴者が放送に求めているものを把握し、それを踏まえて開局に必要な制度の整備や地元への説明など、関係各方面への働きかけを進めていきます。

7. テレビ放送のフルデジタル化への円滑な移行

都市部における、高層ビルなどの影響で生じた電波障害の解消のために建設された共同受信施設への対応の遅れなど、地域ごとの固有の課題について、地域放送番組やアナログ独自放送での告知などを通じてきめ細かく周知し、円滑な移行に万全を期します。

《各局の重点事項》

東京・本部

- 首都圏1都6県に暮らす4,200万人の視聴者の暮らしに寄り添い、現場にこだわりから地域や日本社会の抱える課題を問うニュース・番組を発信します。
- 雇用不安や所得格差、急速な高齢化、いじめや自殺・うつ病など、今の日本社会が抱える課題やひずみを、正面から取り上げていきます。
平成22年度に放送した“ミドルエイジクライシス”と同じ様なキャンペーン放送を展開し、一つのテーマを継続して徹底して掘り下げ、視聴者とともに解決策を考えていきます。
- 首都圏の安心・安全につながる情報を、わかりやすく迅速に伝えます。
首都圏直下型地震や地球温暖化など環境の急激な変化などが原因といわれる“ゲリラ豪雨”、竜巻から暑さによる熱中症まで、都市型災害の被害を防ぐ、防災・減災報道を強化します。
- 時代が大きく変化する中で、選挙報道については、4月の統一地方選挙の報道に全力を上げ、正確かつ迅速に放送します。特に全国的にも注目が集まっている東京都知事選挙においては、万全の準備で臨みます。
- 4月から毎月1回金曜夜間の地域放送の時間帯に関東甲信越地方向けの特集番組を放送するとともに、首都圏放送センターの各番組を通じて、感動や親しみ、そしてやすらぎなど、首都圏に暮らす多くの視聴者に活気や勇気を与え、地域を元気にする番組を提供します。
- インターネットや携帯端末など3-Screensを通じ、視聴者サービスを飛躍的に向上させます。首都圏の広域情報と各県のニュースや情報を使いやすくまとめた、首都圏のホームページの全面改修を行うとともに、災害や選挙情報などを迅速に提供し、新しい番組情報を満載します。さらに、ニュースや番組と視聴者を結ぶ双方向の展開を充実させ、視聴者の声を反映していっそう役に立つ番組に発展させていくという新しい公共放送のあり方や、地域や人々とのつながりを模索します。
- 7月のテレビ放送のフルデジタル化を前に、これまで以上に周知活動を推進します。直前には残る課題を洗い出し、集中的に放送での周知を行い、フルデジタル化の達成を目指します。

横浜放送局

- 新放送会館オープンを契機に誕生した独自キャラクター「マドロスドームくん」の活用や、平成22年度から新番組としてスタートした午後6時台のFM県域放送の内容充実をはかりながら、新会館を使った公開放送やイベントを定期的を実施して、来館者サービスと接触者率の向上に努め、神奈川の新たな“情報発信基地”を目指します。
- 各種イベントを県内各地で効果的に実施するとともに、インターネットや携帯サイト、データ放送のコンテンツの充実に取り組み、独自のテレビ電波を持たない点を補いながら、900万県民に向けた地域サービスの向上、テレビ放送のフルデジタル化や放送受信料への理解促進につなげます。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙に向けて万全の準備を進め、選挙の争点や構図をわかりやすく伝えるとともに、開票速報では、県内の選挙結果を正確・迅速に報道します。
- 神奈川県西部地震・東海地震などの大地震や、台風・大雨などの風水害、大規模な事故が起きた際に、徹底した綿密な取材と一刻も早い情報の発信を行います。また、県民の安全と暮らしを守るため、ふだんから防災・減災に役立つ情報を積極的に発信します。
- 極東アジア地域の安全保障や在日アメリカ軍基地の再編など、国民の安全に関わる動向を念頭に、横須賀基地や厚木基地など県内の基地問題をきめ細かく取材し、視聴者に伝えます。
- 日本で唯一、県内にJ1・J2で4チームを擁するサッカー、そして野球のチーム情報や選手へのインタビューなどを午後6時台のFM県域放送で随時特集して伝えます。神奈川県ของทีมどうしの試合があるときにはFM県域放送で適宜中継することで、県内スポーツファンのニーズに応え、サービスの充実をはかります。

前橋放送局

- 前橋放送局では、テレビ放送のフルデジタル化を進めるとともに、県域テレビ放送サービスの開始を目指して取り組んでいきます。県域放送は平成24年4月からのスタートを目途に、きめ細かな地域情報を発信する体制作りを進めていきます。また、引き続き、群馬県の魅力や市町村が抱える課題など、さまざまな地域のニュースや番組を首都圏や全国に向けて発信し、放送文化の発展と豊かな街づくりに貢献します。
- 平成23年は4年に一度の統一地方選挙の年です。群馬県内では4月には、県議会議員選挙のほか、高崎市など8つの市町村長選挙と21の市町村議会議員選挙が予定されています。さらに夏には県知事選挙、年明けには前橋市長選挙と、注目される選挙が続きます。的確な情報をいち早く伝えるために万全の態勢を敷くとともに、県民の関心にこたえるわかりやすい選挙報道を目指します。
- 群馬県は常時観測の対象になっている浅間山や草津白根山を抱え、不断の警戒が必要です。また、竜巻などの自然災害や山間部を中心にした大雪への備えも欠かせません。緊急報道や災害報道に取り組む体制をいっそう強化して、防災に取り組む動きを取材するとともに、データ放送やホームページも活用しながらきめ細かい情報を提供して県民の安全・安心のために力を尽くします。
- 群馬、栃木、茨城を結ぶ北関東自動車道は、平成23年春に全線が開通し、物流や人の交流がどう変わるのか、北関東各局とも連携して多角的に伝えます。また、建設が中止かでゆれるハッ場ダム問題も解決への糸口がつかめるか注目されており、地元の動向を中心にきめ細かく発信します。このほか、空の安全を祈る日航ジャンボ機墜落事故の慰霊登山などさまざまな課題に向き合い、県民から信頼される放送局としての取り組みを進めます。
- 豊かな自然や長く受け継がれてきた文化など、群馬の魅力を伝えるニュースや番組に力を入れて取り組みます。今年は夏に県や市町村などが取り組む大型観光キャンペーンも予定されているため、国立公園の尾瀬や世界遺産登録を目指す富岡製糸場などとともに、身近な食文化や地場産業などが持つ観光資源としての側面にも着目して全国にも広く紹介し、地域を元気にする放送局を目指します。
- FM県域放送のいっそうの充実をめめます。平日の午後6時台は生活情報番組を放送し、また、土曜の午後は音楽をじっくり聴いていただく番組やスポーツ中継などを月1回程度放送して、それぞれ親しまれています。市町村の活動や地域の文化、イベントの紹介など多彩な情報発信につとめる一方、公開放送や中継にもさらに力を入れます。また、サッカーJ2の北関東3県のチームが対戦する「北関東ダービー」は、中継とホームページとを連動させてチームを応援するなど、積極的に展開していきます。

水戸放送局

- 地上デジタル放送による県域テレビ放送の開始から7年を迎えます。水戸放送局では平成23年度も引き続き、平日午前11時台の生活情報番組と午後6時台の報道情報番組、それに地域の課題や新しい動きを伝える特集番組を、県域テレビ放送の3本柱に据えて、各番組の内容の充実に努めます。日々の暮らしに密着した話題から全国的な問題まで、視聴者の関心の高い情報を、わかりやすくていねいに伝え、幅広い世代から支持される番組づくりを目指します。
- 地震や台風などの自然災害、事件、事故などの緊急報道では、隣接局とも緊密に連絡を取り合いながら、正確で迅速な情報の提供に努めます。また防災や防犯、事故防止に役立つ情報を継続して伝え、安全で安心して暮らせる社会をつくるという公共放送としての使命と責任を果たします。
- 4月には、県庁所在地である水戸市の市長選挙をはじめ統一地方選挙が実施されます。また、国政も不安定な情勢が続いています。選挙情勢を分析し、選挙戦の争点や課題を的確に伝えるとともに結果を正確・迅速に報道できるよう、万全の態勢を整えます。
- 茨城空港の開港、北関東自動車道の全線開通に続き、千葉・埼玉方面への圏央道の延長、国の重点港湾としての茨城港の整備とインフラの整備が着々と進んでいます。こうしたインフラを茨城県の発展にどう結びつけていくのか、北関東のつながりを意識しながら、経済面だけでなく人的交流も含めて多角的に取材を進めます。
- シーズン最後まで優勝争いを演じたサッカーJ1の「鹿島アントラーズ」と、新監督を迎え、J1昇格を目指すJ2の「水戸ホーリーホック」。2チームの戦いを中継や情報番組のコーナーでていねいに伝えていきます。特に「鹿島アントラーズ」はクラブ創設20周年の節目の年であり、特集番組として栄光の歩みを振り返ります。
- 民間の研究所が実施した都道府県の魅力度調査で茨城県は2年連続全国最下位となっています。なぜ魅力がないのか、どうすれば魅力度をあげることができるのか。情報番組の中でシリーズ企画を組んで考えるとともに、スポットやインターネットを活用して魅力度向上を目指すキャンペーンを繰り広げ、地方の応援団として地域振興に貢献します。

千葉放送局

- テレビ放送のフルデジタル化後、平成23年11月の新放送会館のオープンを機に、公開放送や記念イベントを実施し、多くの視聴者とふれあい、千葉の新たな情報発信ステーションを目指します。
- 構造的な不況の長期化や格差社会の深刻化による地域社会の変容や新たな課題を、いち早く掘り起こしていきます。また、平成23年4月に予定される統一地方選挙では正確・迅速な報道にあたり、地域社会と密着した政治の動向をきめ細かく伝えます。
- 羽田空港の国際化により、大きな戦略転換を迫られている成田空港について、利用者の視点からさまざまな情報を発信していきます。
- 4年前の英国人女性殺害事件など社会的に大きな注目を集めた事件の裁判にあわせ、再犯防止や裁判員制度など多角的に報道していきます。
- 朝や夕方地域情報番組で、千葉のさまざまな旬の話題を採り上げ、地域の元気や課題を伝えます。また、千葉を舞台にしたドキュメンタリー番組や紀行番組を制作し、魅力的な風土や生き方を、全国で紹介・発信します。
- FM県域放送では、県内のさまざまな分野で活躍する人たちへのインタビューや、暮らしの情報やイベント情報を放送し、地域に密着した番組を目指します。また、平成21年度から実施しているFM公開放送番組の内容をいっそう充実させます。
- 千葉局ホームページに掲載する動画をさらに充実させます。すでに掲載している最新のニュース・レポートに加えて、千葉局キャスターが季節の話題を伝える動画を毎日更新します。地域情報の発信を強化し、NHKへの接触者率向上に努めます。
- 千葉県にまつわるさまざまな音を視聴者から募集し、ホームページで公開している「千葉の音」で、まだ知られていない千葉の魅力を感じていただく機会を提供します。これを放送で紹介したり、素材にして番組化するなどして県民の財産となるソフトにするとともに地域文化の伝承に寄与します。

宇都宮放送局

- テレビ放送が“フルデジタル時代”を迎える中、県民が豊かに安心して暮らせる手助けとなるような番組作りに全力をあげます。栃木県の豊かな自然や文化、産物を全国に発信するとともに地域の課題を掘り下げて伝えます。
- 平成24年4月を目途とする地上テレビ放送の県域サービス開始に向けて、放送内容の検討や体制整備など準備に万全を期します。
- 正確・迅速な選挙報道に取り組むとともに、地域住民の生命・財産を守るため災害報道に全力を尽くします。データ放送などによるきめ細かい情報提供に努め、県民の安心・安全の確保に貢献し、生活を脅かす事件などについても、その背景や防止策を伝えます。
- 北関東自動車道の全線開通、長引く景気低迷による新卒者の就職問題など、栃木県の経済状況を多角的、広域的な視点でとらえ、情報発信に努めます。
- 生産量日本一の「いちご」、「TPP（環太平洋パートナーシップ協定）問題」など「食」「農業」をめぐる地域の課題について積極的に取り上げます。
- 県内のスポーツを詳しく伝えます。サッカーJ2の「栃木SC」やバスケットボール、アイスホッケーなどを取り上げることで、スポーツ振興に貢献します。11月に開かれる全国スポーツ・レクリエーション祭などを取り上げ、アマチュアスポーツの振興にも寄与します。
- 聴取者に親しまれ、地域の文化を見つめる放送局として公開生放送番組「とちぎマロニエパーク」をはじめとするFM県域放送のいっそうの充実に努めます。

さいたま放送局

- FM放送開始40周年の節目に、番組のさらなる充実を図ります。
平成23年は、浦和局からさいたま局に名称が変わって10年、埼玉県でFM放送を開始して40年という節目を迎えます。
「日刊！さいたま〜ず」では、スタジオを飛び出した公開放送を試み、視聴者層の拡大に向けた取り組みを進めます。また、日本各地の多様な暮らしや文化、自然を記録し、次世代に伝えるBSプレミアムの新番組「新日本風土記」と連携するFM放送なども展開し、新たな視点で埼玉県を捉えなおし、風景、自然、歴史、暮らし、そして人々の魅力を継続的に伝えることで、地域を元気にします。
- “サッカー王国埼玉”を応援する放送局として、県民の高い関心に応えていきます。
FMで金曜日に放送している「週刊☆サッカー王国」では、投稿メールを軸にしたサッカー情報の発信に加えて、公開放送も実施します。また、「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」が対戦する「さいたまダービー」や「少年サッカー大会」の中継などを通して、サッカーに親しむ機会を提供し、よりいっそうの盛り上げに努めます。
- 埼玉県が抱える課題や地域話題を掘り起こし、首都圏や全国に向けて、ニュースや番組として発信します。埼玉の魅力を広く伝える一方で、課題を解決する道を探ることで、地域貢献を果たします。
- 放送と連動してホームページ、データ放送を活用し、接触者率の向上に努めます。ホームページ、データ放送は、県域テレビ波を持たない局にとって、視聴者との大切な回路です。ニュース動画や番組情報、FM番組やイベントの音声データ、写真・動画を紹介するなど、視聴者のニーズに応えるコンテンツを充実させていきます。
- 選挙報道に万全を期します。
4月に行われる統一地方選挙では、埼玉県議会議員選挙とさいたま市議会議員選挙、夏には埼玉県知事選挙が予定されているなど、埼玉県の今後にとって重要な選挙が続きます。どのような構図になるのか立候補者の顔ぶれからていねいに取材を進め、きめ細かな情勢取材と入念な準備によって、視聴者の期待に応える選挙報道を実施します。
- 「国民の生命・財産を守る」という災害報道の使命を確実に果たします。
埼玉県では、おとし10月、台風18号に伴う強風で3人が死亡したほか、過去にはいわゆる“ゲリラ豪雨”による被害も起きています。国土交通省関東地方整備局と各地の河川の生の映像を放送で利用する方法について協議するなど、関係機関との情報交換を密にして災害報道を迅速に行えるよう日ごろから準備を進めます。

長野放送局

- 地域のニュースをいち早く正確に伝えます。長引く景気の停滞と雇用不安、長期にわたる円高や個人消費の冷え込みが続いています。長野県においては、輸出産業の落ち込みや、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）をめぐる動きなどから、基幹産業である農業・製造業・観光業に大きな影響や不安が広がっています。また、こうした困難な社会状況の中で2年目を迎える阿部県政のかじ取りに、県民の関心が寄せられています。長野放送局は、地域が直面する課題に真剣に向き合い、人々の暮らしに直結する問題をきめ細かく取材し伝えるとともに、課題解決への道筋を視聴者とともに探っていきます。
- 毎日の暮らしの安全・安心を届ける情報に力を入れるとともに、災害への備えを進めます。長野県では、東南海地震や活断層による直下型地震、風水害、浅間山を始めとした火山活動への警戒が必要です。災害報道の準備を進め、いざという時に地域住民の命と暮らしを守る公共放送の役割をしっかりと果たします。
- 公平な選挙報道に万全を期します。民主党への政権交代から2年、4月に行なわれる統一地方選挙は県民の高い関心を集めています。長野県議会議員選挙をはじめ各自治体の首長・議員選挙では、正確・迅速な報道に努めます。
- 夕方6時台の「イブニング信州」を継続し、家族がそろって見てもらえる質の高いニュース・情報番組として地域の視聴者の関心に応えます。その日のニュースをわかりやすく伝えるとともに、地域の暮らしに直結した問題をレポートや記者解説、中継などで多角的に掘り下げて伝えていきます。地域のスポーツ情報の充実や、視聴者とのネットワークにより、きめ細かな地域の情報を発信するなど視聴者にいっそう身近で親しまれる放送サービスに取り組みます。
- 金曜夜8時台は「知るしん。～信州を知るテレビ～」を継続して放送します。徹底して信州ならではの“今”を見つめ、掘り下げた取材で地域の視聴者の関心に応えるとともに、信州の文化や自然の豊かさを再発見する番組、暮らしや人々を見つめる番組を放送します。また地域番組で放送した内容を積極的に全国発信し、信州の魅力を全国に紹介します。
- 平成23年（2011年）7月には地上テレビ放送、衛星放送のアナログ放送が終了して、いよいよテレビは“フルデジタル時代”を迎えます。デジタル放送の魅力をいっそうわかりやすく、きめ細やかに発信していきます。視聴者の理解をいっそう深める放送に取り組み、すべての視聴者が円滑にデジタル放送への移行ができるよう万全の態勢で臨みます。

- 連続テレビ小説「おひさま」にあわせて、長野県の元気な姿を幅広く取り上げていきます。ドラマの舞台となる松本・安曇野地域を中心に長野県民の期待が高まっています。ドラマに関連したイベントの実施や、地域で頑張る人の姿を紹介するなど、地域との結びつきをいっそう強めていきます。
- 地域の多彩なスポーツを積極的に取り上げ応援します。サッカーJFLに、「AC長野パルセイロ」が新たに参戦します。「松本山雅FC」と合わせて活躍を取り上げ県民の関心に応えます。また、バスケットボールbjリーグに新たに参入する「信州ブレイブウォリアーズ」についても伝えていきます。「第13回長野オリンピック記念長野マラソン」や、県内屈指の難しいコースに小学生が挑む「小学生アルペン」などを継続して取り上げ、地域のスポーツ振興につながる放送に取り組みます。
- 地域の視聴者に開かれた番組作りを進めます。平日午前11時台の情報番組「ひるとくテレビプラザN」は、放送会館での公開放送を行います。“安全”“安心”“快適”な生活のヒントとなる情報の発信や視聴者との双方向性を生かした企画、県内各市町村の人々がスタジオで各地の“旬”の産物や話題を紹介する企画などで、地域のみなさんと一体となった番組作りを進めます。
- ラジオ第1放送の朝の時間帯は一日の始まりにふさわしい最新のニュースと気象・交通情報を「もぎたて信州朝いちばん」を中心に伝えます。また、県内各市町村のイベント情報や健康情報、各地の自然を楽しむガイド情報など暮らしに役立つ情報のほか、身近な交通安全についてもわかりやすく伝えます。

新潟放送局

- 今年、新潟放送局は開局80周年を迎え、より地域の方々から信頼され親しみを持たれる放送局を目指します。新潟県で暮らす人たちに役立つ情報の発信を常に心掛けながら、日々のニュース報道や番組づくりを進めます。公開番組など視聴者の皆さんと触れ合うことで、地域でより身近な存在となります。
- 今年、新潟県の“農業”は正念場を迎えています。「コシヒカリ」のブランド力が弱まり価格が年々下がり続ける中、「コメ王国」の地位が揺らいでいます。今後、もし日本がTPP（環太平洋パートナーシップ協定）に参加し、コメなど農業分野の関税が撤廃されることになると、新潟県の農業は大打撃を受けるとされています。新潟県の基幹産業である“農業”を年間の最も重要なテーマとして、地域が抱える課題を掘り起こすとともに農家に活力が生まれるような報道や番組づくりに取り組みます。
- 長引く景気の低迷の中、深刻な“雇用”の問題に取り組みます。中小企業の倒産などによる失業、就職先が決まらない大学や高校の新卒者など、出口の見えない不安な経済情勢が続いています。暮らしに直結する“雇用”について、県民の知りたい最新の情報を提供するとともに、課題を探っていきます。
- 年間7,000万人の観光客が訪れる新潟県の“観光”を支援します。各市町村と連携して地域のさまざまな取り組みを紹介するとともに、新潟の新たな魅力を県内はもとより首都圏や全国に向けても発信していきます。
- 新潟県中越地震・新潟県中越沖地震という二度の大きな地震に見舞われた地域の人たちの暮らしに役立つ報道を続け、震災を風化させないように常に地域の課題と向き合っていきます。また、地震だけでなく、水害、雪害、竜巻など、暮らしに直結する気象情報や交通情報などもきめ細かく速報していきます。データ放送では、県と連携した新たな災害報道システムで、被災情報や避難場所など災害時のさまざまな情報を提供していきます。
- 大手デパートが撤退し活気を取り戻せない市街地、事故が相次ぐ柏崎原発、国との調整が難航する北陸新幹線、深刻な地域医療や山間地の過疎化など、新潟はさまざまな課題に直面しています。午後6時台のニュース番組や金曜夜間の番組を通して、こうした課題に取り組み、“地域の応援団”として問題解決の糸口を見つけ、地域の活性化に貢献していきます。
- 3年前に始まったトキの放鳥は、自然界での繁殖へ向けて、地元新潟だけでなく全国の関心を集めています。佐渡市で行われている繁殖への取り組みを追いながら、トキに対する地域の人々の思いを伝えていきます。

- 新潟水俣病の未認定問題や北朝鮮による日本人拉致問題など、関係者は長年にわたる苦しみや悲しみを強いられてきました。患者や家族に寄り添って取材を続け、こうした事件が世の中から決して忘れられることがないように伝えていきます。
- 新潟で頑張っている若い人たちを応援していきます。学生から社会人まで、街おこしや芸術・スポーツの分野など、さまざまなジャンルで活躍する人たちを積極的に紹介していきます。
- 地域のスポーツ振興につながる放送を行っていきます。サッカーJ1の「アルビレックス新潟」をはじめ野球やバスケットボールなど、新潟を拠点とするプロスポーツチームの動向などを詳しく伝え、注目試合を中継します。また、高校野球など県民の関心が高いアマチュアスポーツも、積極的に放送していきます。
- 今年は4月に統一地方選挙が予定されています。選挙報道においては、正確な情報の発信に努めます。さらに国政や地域行政が、地域の暮らしにどう直結していくのか、生活者の目線で見つめていきます。
- テレビ放送のフルデジタル化に向けて、県民の方々が知りたい最新の情報を提供していきます。また、デジタル放送の魅力とともに、データ放送などの利用方法もわかりやすく紹介していきます。

甲府放送局

- 長引く景気の低迷や急激な円高、そして過去最低水準の雇用情勢が続き、県民の生活は厳しさを増しています。また、市街地の空洞化、耕作放棄地の増大、慢性的な医師不足といった地域が直面する問題も、具体的な解決策が見いだせないまま、深刻になっています。甲府放送局では、豊かなふるさとづくりを視聴者ととともに考える「やまなし応援キャンペーン」を継続し、地域が元気になる道筋を探っていきます。
- 世界的な課題である地球温暖化防止に向け、山梨県内では、国内有数の日照時間という地の利を生かした国内最大級の太陽光発電施設建設や小水力発電、燃料電池の実用化に向けた研究など、さまざまな取り組みが行われています。まさに国内の先進地とも言える山梨の取り組みをていねいに取材し、新産業の創出という視点も加味しながら数多くの情報を発信していきます。
- 平成23年は1月に行われた山梨県知事選挙、甲府市長選挙に続いて、4月に統一地方選挙が控えています。難しい時代の地域のかじ取り役を担う、各地の首長や議員選挙の争点やその結果を正確かつ迅速に伝えて県民の信頼に応えます。
- 空前の登山ブームが続く富士山、平成23年は大きな分岐点とも言える1年となります。登山者の増加に伴い、その安全対策や環境保護の問題が顕在化するなか、登山者から任意の協力金を集めようという取り組みが一定の結論に達する見込みです。また世界文化遺産の登録に向けた動きも、去年、いったん先送りされただけに、この1年が真の意味での正念場となります。山梨県が誇る富士山を取り巻く動きをていねいに検証し、次の世代に残す富士山のあり方を考えます。
- リニア中央新幹線の建設計画が進むなかで、JR東海は平成23年中に、停車駅のおおまかな設置場所を示す方針です。停車駅をめぐるっては、県内では4つの地域が名乗りをあげ、激しい誘致合戦を繰り広げています。リニア中央新幹線が山梨に何をもたらすのか、停車駅の議論を通じて、その意味を考えます。
- いつ起きてもおかしくない東海地震と富士山の噴火に備えた防災上の課題を詳しく検証します。また台風や大雨など、その他の災害にも備えるため、行政機関の防災対策を検証するとともに、県民の防災意識の向上に資する放送を充実させます。
- 県内唯一のプロチーム、サッカー「ヴァンフォーレ甲府」が4シーズンぶりのJ1昇格を決めました。地域放送の中でもJ1の試合のダイジェストを全試合、放送するとともに、個別の選手にもスポットを当てます。また高校サッカーをはじめ、野球、バスケットボールなど盛り上がりを見せるさまざまなスポーツも積極的に紹介します。

- 地上と衛星のテレビ放送の円滑なデジタル化に向けて、ミニ番組などを活用し積極的な周知を行います。また、フルデジタル移行を機に、デジタル放送の特性を実感できるマルチ編成の実施やデータ放送を刷新してより利便性を高めるとともに、河川水位などの防災に役立つサービスを新たに開始します。あわせて、甲府放送局の公開ホームページをリニューアルし、デジタルメディアを使った視聴者へのサービス向上に努めます。

- 「NHK歌謡コンサート」「NHKのど自慢」などの公開番組を通して、県民と広くふれあい、NHKに対する理解促進を図ります。子どもたちを中心に人気定着した甲府放送局キャラクター「しんげん君ファミリー」の活動を通して接触者率の向上を目指します。また、平成24年5月の新会館移転に向けて、さらに県民に親しまれる放送局となるようオープンスペースを活用したイベントなどの準備をすすめます。

平成23年度 近畿地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

平成23年度、関西のNHK6放送局は「平成21～23年度 NHK経営計画」に掲げられた経営2目標達成に向けて、放送と放送以外のメディア、イベントや広報活動等を通じて、総体として幅広い視聴者層に届けるサービスを展開していきます。

また、7月には地上テレビ放送、衛星放送のアナログ放送が終了して、テレビは“フルデジタル時代”を迎えます。関西の視聴者があまねくデジタル放送を受信できるよう、よりいっそうの周知・理解促進をはかります。そしてそのデジタル放送の特性をいかしながら、地域放送において視聴者が必要とする情報を的確なバランスで伝えます。

いま、“貧困”“子どもの虐待”“無縁社会”などの問題によって、わたしたち、そして子どもたちの健やかな“いのち”と“安全”が脅かされています。このような時代に関西のNHK6局は、暮らしの安心・安全を守る報道はもちろん、多様なコンテンツやキャンペーンなどを通じて、家族・地域のきずなを再確認し、心のよりどころとなるように“放送局のちから”を発揮していきます。

また、豊富な寺社仏閣をはじめとした歴史遺産や、風土が育んできた文楽・能・狂言などから落語・漫才まで上方芸能の魅力を伝える多彩な番組を制作し、地域に、そして全国に発信していきます。アーカイブス映像の蓄積など、関西の放送事業の足跡を後世に残す取り組みも継続して行います。

関西地方はこれまで、歴史的にもアジア各国と深く関わってきた経緯があります。今年度もアジア関連番組のよりいっそうの定着をはかるとともに、関西とアジアをつなぐ放送を目指します。また、スポーツファンを熱くさせる中継や特集番組、若い視聴者に向けた番組やイベント、放送外のメディアをいかしたサービスも、視聴者のニーズを把握しながら継続していきます。

関西のNHK6局は、それぞれが地域の課題に向き合い、フルデジタル時代にふさわしい、視聴者にとってきめ細かく満足度の高いニュースや番組を届けます。視聴者の期待に応え、地域との結び付きをいっそう強めることで、より身近に感じてもらえる地域サービスを追求していきます。

《重点事項》

1. 接触者率80%達成に向けて 視聴者層の拡大

- 「平成21～23年度 NHK経営計画」の最終年度にあたり、これまで2年間の取り組みの集大成として、放送と放送以外のメディアを通じて、接触者率のさらなる向上を目指します。
- 番組ごとの役割を明確にし、いまNHKに多く接触している世代はもちろん、若い視聴者層とのつながりをより密接なものにして、「もっと触れてもらう」ための情報発信を続けます。
- 金曜午後8時台の番組を中心に各府県の多彩な情報を届け、関西の視聴者のより高い満足を目指します。文化、紀行、スポーツ、ドキュメンタリー、ドラマなど幅広いラインナップの充実に努め、より多くの視聴者の獲得を追求します。
- 4年目を迎える午後5時台の番組では、インターネットやイベント等を通じて10代・20代の若年層に、NHKへの関心を高めてもらうための取り組みを続けます。歴史に秘められた人間ドラマを描く全国向けの歴史番組では、従来の歴史ファン以外の興味もひくような、幅広い層に関心をもってもらえるテーマ設定でいっそうの定着をはかります。昨年度大きなチャレンジを行い話題を呼んだ全国向けの福祉番組は、取り組みの検証と視聴者との対話を積み重ねて、福祉番組の未来像を探り続けます。

2. 地上テレビ放送のフルデジタル時代の幕あけ

- 視聴者のニーズをつかみ、必要な情報をバランスよく的確に届けるため、フルデジタル時代における広域・県域の放送のあり方について調査・検証を続けます。
- フルデジタル化における近畿独自の課題を解決し、視聴者にあまねくスムーズに地上デジタル放送に移行してもらえるよう、放送を通じて理解促進をすすめます。「知らなかった」ということにならないようミニ番組・スポット等で積極的に周知します。
“7月24日”以降の地上デジタル放送未受信者への対応についても、放送の面からもサポートしていきます。

3. “放送局のちから”を高めて地域を元気に

- フルデジタル化で放送が新たな時代に入ったいま、地域に向けて放送局の力を発揮することがいっそう求められます。大阪放送局では地域貢献事業「子どもを守れ」キャンペーンを展開して、子どもたちを取り巻くさまざまな問題に正面から取り組み、地域における放送局の役割を果たします。

○関西地方を舞台とした、50・51作目の大河ドラマや連続テレビ小説の関連編成・イベントを通じて、地域の活性化に貢献します。

○古典芸能から“お笑い”まで、関西が誇る新・旧の上方文化・芸能のほか、歴史と文化遺産の魅力を全国・地域に向けて発信します。

○5年目を迎える地域経済番組では、関西および周辺地域の企業がもつ独自の発想や活動を紹介し、地域経済の活性化を応援します。また、域内各局や西日本各放送局と連携を密にし、さまざまなコンテンツを活用しながら柔軟な編成で地域放送の魅力をより高める工夫を続けます。

○昨年立ち上げた“BKふるさとアーカイブス”を継続し、アーカイブス映像を活用した番組、貴重な映像資料の収集・蓄積など、関西の放送事業の足跡を後世に残す取り組みを続けていきます。

○平成23年、大阪放送局は新会館開館10周年を迎えます。地域に対して感謝の気持ちをこめて、イベント、関連施策を展開します。また、視聴者が直接番組に触れる貴重な機会の一つである、NHK大阪ホールを活用した公開番組の定着を目指します。

4. 信頼にこたえる選挙報道

○4月に行われる統一地方選挙に続き、各地で行われる首長選挙にあたっては、政見・経歴放送や開票速報に万全を期し、公共放送として、公平で信頼される選挙報道を行います。

奈良県知事選挙（任期満了日 平成23年 5月 2日）

大阪市長選挙（任期満了日 平成23年12月18日）

大阪府知事選挙（任期満了日 平成24年 2月 5日）

京都市長選挙（任期満了日 平成24年 2月24日）

5. 地域の課題を鋭く見つめ、迅速・的確な報道で視聴者の暮らしを守る

- 午後6時台の番組を中心に、地域ニュース・情報番組のさらなる強化をはかります。地域の課題に向き合い、視聴者の関心に応じて、関西地方向け、あるいは各府県向けに身近なニュースや暮らしに役立つ情報を伝えます。
- 近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震に備えるとともに、地震・台風などの災害報道や事件・事故発生時の緊急報道では、正確な情報を迅速に伝え、公共放送としての使命を果たします。
- 今なお記憶に新しい兵庫県佐用町水害から2年がたちます。また昨年の夏は、猛暑による熱中症で高齢者の方々が死亡するケースもみられました。ゲリラ豪雨や猛暑などの異常気象から暮らしを守る報道に努めます。データ放送やインターネットなども活用し、視聴者が必要とする情報をきめ細かく提供します。
- 平成24年1月、かけがえのない多くの命を奪った阪神・淡路大震災から17年になります。記憶を風化させないためにも、復興に向けた取り組み、被災した子どもたちの今、そして人と人とのきずなの尊さをこれまで伝え続けてきました。これからも、震災の教訓や今までの歩みを通じて生まれてきた新たなつながりを、次の世代に伝える取り組みを続けていきます。

6. 関西と“アジア”をつなぐコンテンツ発信

- 2年目を迎えるアジア関連番組の定着をはかります。平成23年はKBS釜山と、翌24年にはSMG上海と協力関係を結んで25周年を迎えます。これまでに築いてきたネットワークをいかして、関西の魅力をアジアに、アジアの魅力を関西に伝える取り組みを続けます。

7. スポーツソフトの活用

- プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールbjリーグなどの地元プロスポーツチームの試合や情報を、ファンの期待に応じて全国放送・地域放送で伝えていきます。また、高校野球や大学サッカー・ラグビー、アメリカンフットボールや駅伝などアマチュアスポーツを積極的に取り上げ、地域スポーツの振興に寄与します。
- 地上テレビ放送のフルデジタル化にともない、スポーツ中継などでデジタル放送の特性を生かしたマルチ編成を積極的に活用し、新たなテレビの楽しみ方や地上デジタル放送の魅力を伝えていきます。

○地元の関心が高い、関西出身や関西で活躍するアスリートについて、ニュースや特集番組で積極的に取り上げ、関西のスポーツシーンを盛り上げます。

8. 放送と他メディアの連携による視聴者サービスの充実

○昨年度立ち上げた、インターネットでの若い視聴者向け番組のファンクラブを活用して、接触者を増やす取り組みを続けます。アンケートシステムで得た意見・感想を番組に反映し、放送とインターネットの相乗効果をはかります。

○高校野球や駅伝などのスポーツ中継では、データ放送・インターネットで、チーム情報や競技についての詳しい情報を提供し、内容の充実と使いやすさを追求し、デジタル時代にふさわしいサービスで利用者の満足度向上に努めます。

○NHKと市民および市民同士がつながる放送・通信連携の仕組みづくりを続けます。地震や災害で被害を受けた人々への継続的な情報提供などで、人や地域のきずなを支えます。

○双方向やデータ放送の新しいサービスの開発で、視聴者が“もっと身近に”NHKに接触できるように努めます。

《各局の重点事項》

大阪放送局

- 地デジ時代の大阪放送局の地域貢献事業「子どもを守れ」キャンペーンでは、特集番組や定時番組の関連企画、イベントやイメージスポットなど、幅広い視点から子どもたちを取り巻くさまざまな問題に取り組みます。
- 大阪府民の生活に直結する事件や社会の動きを機動的に取材し、視聴者にわかりやすく伝えます。地上テレビ放送のフルデジタル化を迎え、平日午後6時台の地域ニュース番組を核として、さらに府民の“安心・安全”な暮らしに役立つ放送を目指します。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙や、年度内に任期満了を迎える大阪市長選挙と大阪府知事選挙について、最大の争点として注目されている大阪府市再編の動きに注視しつつ、府民の暮らしや大阪の将来にどんな影響を及ぼすのか、機会をとらえた検証を続けます。
- 優勝から遠ざかりながらも地元の関心が高い「阪神タイガース」「オリックス・バファローズ」や、J1で上位が期待される「ガンバ大阪」「セレッソ大阪」など、盛り上がる地元プロスポーツチームの試合や情報を、中継やニュースで分厚く伝え、地元のスポーツファンの期待にこたえます。また、高校野球をはじめとするアマチュアスポーツも幅広く取り上げ、地域スポーツの振興に寄与します。
- 「NHK大阪ホール」や「BKプラザ」などを活用した公開番組や、番組と連動したイベントを充実させ、視聴者との接触を高めます。5月と10月に開催する大阪放送局の会館公開イベントの時期には、大型の公開番組をはじめとするさまざまな番組やイベントで、幅広い世代の期待に応え、“NHKに来てよかった”と満足していただける場を目指します。
- 平成23年11月、大阪放送局は新会館開館10周年を迎えます。地域に対して感謝の気持ちをこめて、イベント、関連施策の展開をすすめます。また、放送事業の足跡を記録するアーカイブス映像の蓄積や、教育現場での番組活用のサポートなど、地域に貢献する取り組みを続けていきます。

京都放送局

- 日本の国際競争力の低下、人口減少社会の到来、雇用不安など、日本が抱える課題はそのまま地域の課題、ひいては私たちの暮らしに直結する問題となり高い関心をよんでいます。一方で、人と人とのつながりが薄れる社会では、きずなを取り戻そうという取り組みが各地で行われています。地域放送の中核である午後6時台のニュース情報番組では、こうした地域の最新の動きや課題に的確に取り組み、タイムリーに伝えていきます。また、暮らしに役立つ幅広い情報を、きめ細かく伝え、“京都府民の広場”としていっそうの充実に努めます。
- 学生の人口比率が日本一の京都では、これまで「NHK全国大学放送コンテスト」をはじめ、大学・学生と連携したさまざまなイベントを実施してきました。京都放送局では、これらの蓄積を生かし、学生たちとのきずなをさらに深め、若者たちにNHKの存在をアピールします。
- 歴史、文化が息づく京都府には、世界中から年間7000万を越える観光客が訪れています。貴重な伝統文化や地域文化の継承と発展に資する番組を制作するとともに、多くの人をひきつける京都の魅力を全国に発信します。また、伝統を見つめ、新たな文化の創造を目指して、秋に府下で展開される「第26回国民文化祭・京都2011」の様相を伝えます。
- 平安時代に、人々の救済のため念仏信仰を唱えた、浄土宗の開祖・法然の800回忌にあたり、「特別展 法然・生涯と美術」（3月～5月）や、日本や東洋の名品を紹介する「特別展・細川家の名宝～珠玉の永青文庫コレクション」（10月～11月）を開催します。またさまざまな公開番組を展開するとともに、開局80年（24年6月）に向けた取り組みを進めるほか、地域のイベントを積極的に支援します。
- フルデジタル放送時代をむかえ、より多くの視聴者が手軽にデータ放送サービスを活用できるよう、「防災・河川情報コンテンツ」のさらなる充実、「イベント連動データ放送」や冬季「道路凍結情報」といった新たなコンテンツの開発などを行っていきます。また、視聴者が京都放送局に接触する機会をさらに広げるため、データ放送コンテンツの内容をインターネットにも掲載するなど、「3-Screens」展開に積極的に取り組みます。

神戸放送局

- 都道府県をまたぐ全国で初めての広域行政組織として、7府県が参加する「関西広域連合」が昨年（平成22年）暮に発足し、兵庫県知事が連合長に就任しました。新たな地方の姿を作りだそうという取り組みです。また4月には統一地方選挙が実施され、県議選と神戸市議選挙などが行われる予定です。地方や地域に焦点が当たるこの年、地域を見つめ直し、新しい時代を切り開く県民のお手伝いをする放送や事業活動に取り組みます。
- 7月にはテレビ放送がフルデジタル化され、視聴環境が大きく変わります。また避難勧告や雨量、河川水位などの防災情報をリアルタイムにデータ放送で伝える「公共コモンズ」の取り組みが、兵庫県でも実用化されます。地上デジタル放送のメリットを県民に最大限に享受していただけるよう、ソフト開発と体制の整備に努めます。さらに携帯サイト、ホームページ、大型画面を使ったパブリックビューイングなどへも積極的に展開し、通信・放送融合時代の公共放送の役割を果たします。
- 兵庫県を含む山陰海岸が昨年、「世界ジオパーク」に認定されました。豊岡市の玄武洞や香美町の香住海岸など世界的に貴重な地形や地質が、これまで以上に脚光を浴びています。来年の大河ドラマは神戸に縁の深い「平清盛」です。今回描く清盛は、瀬戸内の海賊を束ねて成長し、福原を拠点に交易で国を栄えさせることに挑戦します。神戸放送局は豊かな自然とそれにまつわる歴史、人々の暮らしをていねいに紹介し、誇りの持てる故郷づくりに取り組みます。
- 昨年夏、兵庫県をはじめ全国で明らかになった所在不明高齢者の問題は、地域社会でのつながりの弱さを改めて見せつけました。また兵庫県は自殺者が15年で1.5倍に増え、孤立する個人の姿が浮かんできます。県民のきずなを結び直すことが求められています。人の心を結集するスポーツ、豊かな生活を広げるサークル活動、時間や空間を超えたネット世界なども積極的に取り上げ、新しいきずなづくりを提案していきます。
- 6434人が犠牲になった阪神・淡路大震災は、24年1月で発生から17年を迎えます。平成17年に107人が死亡したJR福知山線事故は、その責任を巡る司法手続きが、本格的に始まります。神戸放送局は被災者や被害者に寄り添い、思いを伝え、課題を指摘してきました。今後とも“いのちを守る放送局”として取材を続け、悲劇を繰り返さないための教訓を導き、伝え続けます。

和歌山放送局

- 近い将来、発生が予測されている東南海・南海地震に備え、防災や減災に役立つ情報をニュース企画や特集番組として継続的に伝えます。幅広い世代に、実践的な防災知識を学んでもらう特集番組は、視聴者が参加できる新たな双方向番組として展開し、よりいっそう内容の充実をはかります。
- 地域が抱える課題をより深く掘り下げ、解決への道筋を探ります。限界集落や農業の担い手不足、荒廃する森林や野生生物との共存、若者の県外への流出、医療や教育の格差など幅広いテーマを取り上げ、地域を元気にする拠点として“放送局のちから”を発揮します。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙にあたっては、開票速報など関連放送の実施に万全を期します。
- 和歌山県串本町にはテーブルサンゴ群生地の北限とされる美しい海が広がります。その一方で、温暖化の影響が指摘されている南方系サンゴやオニヒトデによる食害が増加しています。本州最南端のサンゴ礁と海に生きる人びとを見つめる番組や、5月に開催される「全国植樹祭」を紹介する番組などを制作し、和歌山県の豊かな自然と文化を全国に向けて発信します。
- 7月の地上テレビ放送のフルデジタル化に向けてスポットやミニ番組、インターネットなどのさまざまなメディアを通じて情報を周知します。またデジタル放送の特性や魅力を生かした番組制作やデータ放送を充実し、視聴者のデジタル放送移行への意欲を高めます。
- 平成19年度に立ち上げたFM県域番組については、毎週の定時番組化をはかるとともに、県内のより身近な情報を充実させることで接触者率の向上に努めます。
- より親しみのある地域放送局を目指し、和歌山放送局の取り組みを放送やホームページ、イベントなどを通して積極的に発信していきます。教育現場での「番組上映会」は関連ゲストを招くなどしてさらに充実させ、視聴者層の拡大をはかります。

奈良放送局

- “もっと奈良から もっと奈良に” をテーマに、福祉や医療、セーフティネット、観光や地域おこし、環境問題や産業の活性化など、奈良の課題と将来の展望をとらえ、視聴者の皆様とともに考え、県内・関西・全国へ積極的に放送していきます。
- 「古事記」成立1300年と奈良放送局開局75周年を迎える平成24年、社寺・文化財の修復・再建など、節目を捉えながら、放送以外も含めて、古代史のロマンあふれる奈良の魅力を伝えます。
- 政権交代後、初めてとなる奈良県知事選挙を含む平成23年4月の統一地方選挙について、正確・公平・迅速な報道に全力で取り組みます。
- 7月の地上テレビのフルデジタル化に対して、全局一丸となって視聴者サービスに取り組み、かつ新しい放送サービスについて積極的な周知を行います。
- 若者をターゲットにした全局体制のプロジェクトを核として、奈良県内の幅広い世代の接触者率増加・支払い率増加に努めます。

大津放送局

- 大津放送局は11月に開局70周年を迎えます。上半期には「QPウイーク」と題して、滋賀県ゆかりの番組をローカルで集中編成するほか、イベントを展開し、地域の放送局として存在感をアピールします。
- 1月から放送開始した大河ドラマ「江～姫たちの戦国」は、近江の国を舞台にスタートしました。昨年から夕方ニュース番組の中で放送している、ゆかりの土地や登場人物を紹介した企画を継続します。そのほかにも関連の番組などを制作し、イベントを開催していくことで地元を盛り上げていきます。
- 地球環境の異変を映し出す鏡とも言える「びわ湖」で起きているさまざまな問題を継続的・多角的に取材してニュースや番組で放送するとともに、全国放送にも積極的に展開し、“環境こだわり放送局”として大津放送局の存在感をよりいっそう高めます。
- 2期目に入った嘉田県政について、大戸川や芹谷などダム問題など、公共事業のあり方や環境保全、災害との新たな向き合い方など、これまでにない視点を大切にして伝えていきます。また、「関西広域連合」と県財政など県民の暮らしをどう守っていくのかなどを重点に県政運営を見つめ、滋賀県から関西・全国に発信します。
- 県民の生命と財産を守るため、琵琶湖西岸断層帯で発生する恐れのある地震や局地的な大雨など、災害に備えたニュースや企画を継続して制作し、地域の防災や防犯に重点を置いたニュースや情報を発信していきます。
- 滋賀県内向けの地上デジタル放送のデータ放送で、県の地域情報データベースからの情報をもとに河川水位情報の放送を開始して3年目になります。災害時の避難情報提供の開始に向け、局内外の体制を整備します。必要なときにいつでも呼び出せるというデータ放送の特長を生かした防災情報の充実を図ります。
- 滋賀県の魅力や課題を全国放送や近畿ブロック向けの番組で発信するとともに、きめ細かな地域情報や話題を県域放送で伝えます。また、若年層にも親近感を持ってもらえる番組作りに努めます。バスケットボールbjリーグ、サッカーのJFLなど地元スポーツチームの活躍を試合中継やニュース番組で随時取り上げます。また、子どもたちの生き生きとした表情を総合テレビの地域ニュース番組のコーナーで伝えるほか、青少年向けの教育テレビの番組にも取り組みます。
- 平成23年7月までに地上テレビ放送がフルデジタル化します。アナログ放送から混乱なく移行できるように、放送やイベントなどを通じて周知・広報を展開します。さらに、新たな難視聴地域とデジタル混信地域の対策を進めます。

平成23年度 中部地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

中部地方の各放送局は、放送やインターネット、イベントなどを通して、地域に“信頼され”“役に立ち”“親しまれる”放送局を目指してきました。平成23年度は、これまでの蓄積の上に、人々が安心して心豊かに暮らせる社会を実現し、地域のジャーナリズム・文化の拠点となり、地域を“元気にする”取り組みを積極的に進めます。

不安定な政治情勢、長引く経済の停滞や少子高齢化は、中部地方の人々の暮らしに深刻な影響を与えています。こうした先行き不透明な時代だからこそ、地域の良さや豊かさ、そこに生きる人々の暮らしをじっくり見つめ、その魅力を発信して元気を届けます。また、地域の課題を掘り下げ検証するニュース・報道番組の充実、幅広い世代に共感されるドキュメンタリーやドラマなどを通して、視聴者の関心に応え地域活性化に貢献します。

7月には地上・衛星テレビ放送がフルデジタル化されます。円滑な移行に向けて必要な知識や情報を放送やインターネットを通じて提供するとともに、デジタル放送のメリットを存分に生かしたコンテンツの制作や番組編成を積極的に行って、デジタル化の魅力を余すところなく伝えます。

また、放送に加えパソコンや携帯端末などを活用したサービスを充実させ、さまざまな年齢層の方とのつながりを一層強め、接触者率の向上を図ります。さらに“放送局のちから”を発揮して地域の人々に親しまれ信頼される放送局となり、地域での存在感を高めます。

全国的に地方自治のあり方に関心が高まる中、平成23年4月に予定される統一地方選挙にあたっては多面的で信頼される選挙報道に万全を期します。発生が懸念される「東海地震」「東南海地震」などの大規模災害への備えをはじめ、台風や豪雨などの自然災害から人々の生命・財産を守るべく、防災・減災報道に努め、公共放送の使命を果たします。

21世紀最初の10年を終え、平成23年（2011年）は次の10年の一步を踏み出す年です。中部地方の各放送局は、徹底的に地域にこだわり、地域を見つめ、地域の人々に希望や元気を届ける放送局を目指します。

《重点事項》

1. 地域の課題と向き合い、人々に希望や元気を届けます

○長引く経済の落ち込みによる非正規労働者の雇用の問題や生産年齢人口の減少、福祉、環境などのさまざまな課題が地域の人々に不安を与えています。また、地域社会のつながりや家族のきずなが希薄になり、新たな社会問題となっています。こうした地域が抱えるさまざまな課題と向き合い、その解決の糸口を探るようなニュース・報道番組を充実させ、豊かで安心して暮らせる地域社会の実現と文化の創造につなげます。

○各放送局はこれまでも地域の人々に“信頼され”“役に立ち”“親しまれる”ことを目指して放送・イベント・キャンペーンを展開してきました。平成23年度はこれらの蓄積の上に、中部地方の豊かな自然や文化、そこに生きる人々の暮らしを見つめ、地域の良さや強み、魅力を掘り起こします。

○「この番組に感動し、元気をもらった、考えさせられた」と人々に共感してもらえようようなドキュメンタリーやドラマなどを制作します。また、金曜夜8時台の地域番組は内容のブラッシュアップを図り、より見やすい演出で視聴者の関心に応え、地域の人々に希望や元気を届けます。

2. 地上・衛星のテレビ放送フルデジタル化に全力を挙げます

○7月にはアナログ放送が終了して、テレビ放送はフルデジタル時代を迎えます。放送をあまねく確実に届けることは公共放送の大切な責務です。ニュースや広報番組でフルデジタル化に必要な知識や情報をきめ細かく伝えるほか、これまで以上にデジタルの魅力をも十分に発揮したコンテンツの制作やデジタル放送ならではの番組編成を積極的に行い、視聴者の円滑な移行を促し、支援し、フルデジタル化を推進します。

3. 地域の人々とのつながりを深め、接触者率の向上に努めます

○“放送局のちから”をさらに発揮し、幅広い年齢層の方にNHKに接してもらう機会を作ります。現在親しんでいただいている方を大切にしながら、働き盛りの男性や主婦層など多様な世代にも受け入れられる上質な定時・特集番組などを制作して接触者率の向上を目指します。

○パソコンや携帯端末、データ放送など多様な回路を適切に活用し、地域に必要な情報を届けます。さらに、番組と連動した企画や独自のコンテンツを充実させ、より幅広い層とNHKとのつながりを強めます。

4. 選挙報道に万全を期すとともに、地方自治と暮らしの関わりをわかりやすく伝えます

○2月、愛知県知事選挙、名古屋市長選挙、政令指定都市で初めて議会解散の賛否が問われた住民投票の、いわゆる“トリプル投票”が同日に行われ地方自治のあり方に注目が高まっています。そうした中、平成23年4月に予定される統一地方選挙にあたっては信頼される選挙報道に万全の態勢で臨みます。中部地方では三重県知事選挙（4月20日任期満了）福井県知事選挙（4月22日任期満了）などが予定されています。有権者の判断のよりどころとなる公平・公正で的確な報道に努め、地方自治のあり方や選挙の争点、私たちの暮らしや将来にどう関わるのかをわかりやすく伝えます。

5. 緊急報道に全力を尽くし、防災・減災に役立つ情報も伝えます

○台風や豪雨災害、河川のはんらんや山岳事故などの自然災害や突発的な事件・事故の際は、迅速かつ正確な情報を伝え、地域の人々の安心・安全の確保に全力を尽くします。

○発生が懸念される東海地震、東南海地震など大規模災害に備えて、防災・減災に役立つ情報をインターネットやデータ放送など、多様な回路で提供し、地域の住民の命と暮らしを守る公共放送の使命を果たします。

6. 地域に根ざしたスポーツの発展に貢献します

○プロ野球「中日ドラゴンズ」やサッカーJリーグ「名古屋グランパス」「清水エスパルス」「ジュビロ磐田」をはじめ、バスケットボールbjリーグ、プロ野球独立リーグ・BCリーグなどの地域に根ざしたプロスポーツを中継やニュースで詳しく伝えます。また、高校野球などのアマチュアスポーツも積極的に取り上げてスポーツの発展に貢献します。

《各局の重点事項》

名古屋放送局

○地域の課題について考え、豊かで安心できる社会の実現を目指します

長引く経済の落ち込みは、自動車産業など製造業中心の愛知県の経済や雇用にも未だに暗い影を落とし、非正規労働者の雇用の悪化や待機児童の急増が深刻な問題になっています。また、医療や福祉、環境、食の安全など私たちの暮らしに関わる課題は多岐に及びます。こうした課題と向き合い、ニュースや、平日午後6時台の地域情報番組、金曜夜7・8時台の地域番組で課題解決の道筋・展望を伝えて、豊かで安心できる地域社会の実現に向けた取り組みを着実に進めます。

○地域に徹底的にこだわり、元気を届け、共感を呼ぶ番組を制作します

社会全体に閉塞感が漂う中、地域に徹底的にこだわって取材し、地域の明るい話題、注目すべきトピックをとりあげ元気にする番組制作をすすめます。金曜夜8時台の地域番組は、見ていて“ほっと”する旅やドキュメンタリーなどを中心に演出にも工夫をこらしてより見やすくブラッシュアップするほか、暮らしに役立つ情報を放送に加えてパソコンや携帯端末でも伝える「知って解決！SKE（すけ）っとネット」の内容を充実させ、地域の人々の共感を呼ぶ番組や役立つ情報を届けます。

○テレビ放送のフルデジタル化に向け全力で取り組みます

フルデジタル化された地上・衛星テレビ放送では、デジタル放送のメリットを生かした番組の制作と編成を積極的に行ってその魅力を伝えます。また、フルデジタル化に必要な知識や情報をニュースや広報番組、在名民放各社と共通のスポットなどできめ細かく周知して、視聴者の円滑な移行を促し支援します。

○全国放送番組を積極的に制作し、ステーションイメージの向上に努めます

放送開始50年目を迎える「中学生日記」は、さまざまな取り組みを行うとともに、これまで以上にティーンズ層の視聴者目線を大事にした番組制作に取り組みます。「めざせ！会社の星」は4年目を迎えるにあたり、若者との結びつきをより深めるよう内容の充実を努めます。また戦争や平和をテーマにしたドラマや、地域を丹念に取材したドキュメンタリー、名古屋の文化を全国に紹介するラジオ番組「ゆきねえの名古屋なごやか喫茶」など、名古屋放送局ならではのコンテンツ制作に力を入れて全国の中でも存在感を発揮します。

○地域の人々をつながる回路を増やし、接触者率の向上を図ります

“3-Screens”展開をすすめ、地域に密着した情報をパソコンや携帯端末、データ放送など多様な回路を適切に活用して届けるとともに、新しい見学施設「NHK放送体験スタジオ わくわく」の充実にも取り組んでNHKに接する機会を増やします。また、若者向け番組の動画配信や、ドラマのホームページで展開する掲示板や「めざせ！会社の星」の中部地方限定の連動データ放送などの双方向ツールを活用し、幅広い世代にNHKに親しんでもらう機会を作り、接触者率の向上を図ります。

○選挙報道に万全の態勢で臨みます

2月には愛知県知事選挙、名古屋市長選挙、政令指定都市で初めての市議会解散の是非を問うた住民投票の、いわゆる“トリプル投票”が同日に行われ、政治や地方自治のあり方に関心が高まっています。そうした中、平成23年4月に予定される統一地方選挙をはじめとする各種選挙にあたっては万全の態勢で臨み、信頼される選挙報道に丸となって取り組んで、有権者の判断のよりどころとなる公平・公正な報道に努めます。

○災害から地域の人々を守り、安心・安全につながる情報を伝えます

愛知県は過去に台風や豪雨により多くの被害を受けました。突発的な自然災害や事件・事故などの緊急報道においても迅速に対処し、的確な情報を伝えて地域の安心・安全の確保に全力を尽くします。また、東海地震、東南海地震など大規模災害に備え、防災・減災に役立つ情報を放送・インターネット・携帯端末などを通じて提供し、地域の住民の命と暮らしを守る公共放送の役割を果たします。

○地域のスポーツを視聴者と一体となって応援し盛り上げます

昨年リーグ優勝を果たし3度目の日本一を目指すプロ野球「中日ドラゴンズ」、Jリーグ初優勝を成し遂げ2連覇が期待される「名古屋グランパス」など地元プロスポーツをニュースや番組、データ放送などできめ細かく伝え、地域の人々とともに応援し盛り上げます。高校野球などのアマチュアスポーツやフィギュアスケートなど地元出身の選手の活躍も積極的に取り上げるほか、「第44回日本女子オープンゴルフ選手権」（平成23年9月29日～10月2日）など、注目の集まる大会についても分厚く伝えます。

金沢放送局

○石川の課題を見つめ、地域の活性化を支援します

長引く不況、厳しい雇用、後継者不足など地方経済を取り巻く状況は、特に中小企業を中心に依然先行き不透明な状態が続いています。こうした地域のさまざまな課題に真しに向きあいながら解決策の糸口を提示していくとともに、知恵と工夫と確かな技術力で生き残りをかける元気な中小企業や海外進出で次の展開を目指す地元企業の試みを積極的に取り上げることで、放送を通じて地域に元気を届けます。

○地元密着をいっそう進め、地域の魅力を発信します

開局 80 周年事業でスタートして大きな成功を収めた平日午後6時台のニュース番組の県内キャラバンを引き続き実施し、地域との結びつきをより強固なものにしていきます。さらに「奥能登」を一年間定点観測で継続的に見つめ、そこに根付く独自の風習・自然・建築・工芸・食文化などを丹念にたどり、そこでの豊かな暮らしや人々の生き様をローカル番組で随時放送し、全中番組へとつなげていきます。

○フルデジタル化への対応を着実に進めます

平日午前11時台の情報番組や平日午後6時台のニュース番組、さらにスポットなどの放送を通じきめ細かな理解促進活動を継続し、フルデジタル化へのスムーズな移行を目指していきます。そして、フルデジタル化以降も、デジタル化のメリットを活用した番組の制作を積極的に展開します。

○親しまれる放送局を目指し、さらに接触者率の向上に努めます

開局 80 周年で誕生した金沢放送局のマスコットキャラクター「ことじろう」を前面に押し立てることでNHKの公開放送やイベントだけでなく地域のイベントにも積極的に参加して、子ども・若者・ファミリー・中高年と幅広い年齢層への接触者率のさらなる向上に努めます。また平成20年度から継続している若者を対象とした番組「よせがき☆テレビかいてみんけ」をより充実させるとともに、若い視聴者層との連携をいっそう深め10代・20代への浸透の強化を図っていきます。

○“3-Screens”の強化に力を注ぎます

マスコットキャラクター「ことじろう」を使った携帯端末向けのゲーム等をはじめ、若年層を中心とした利用者からのアクセス増加を目指しホームページを刷新します。また、平日午後6時台のニュース番組などで放送した「旅企画」や「料理番組」などの人気コンテンツの動画掲載をスタートするなど、魅力ある多様なコンテンツの充実を図って放送と連動したサービスの向上に努めます。

○正確かつ迅速な選挙報道に、万全の態勢で臨みます

平成23年4月に予定される統一地方選挙において、県議会選挙、2町で首長選挙、10市町で議会選挙のほか、年度内に1市の首長選挙が予定されています。万全の準備体制を整えて正確かつ迅速な選挙報道に取り組み、公共放送としての使命を果たします。

○災害報道と防災に努め、地域の安心を守ります

地震・津波災害や台風、大雪・河川のはんらんなどの気象災害、万が一の事故に備え、的確・迅速な緊急報道体制をいっそう強化します。被害を最小に抑えるための課題を多角的に検証し、新たな防災への取り組みを紹介、県民の防災・減災意識を高める放送の充実に力を注ぎます。

○スポーツの振興に力を注ぎ地域を盛り上げます

2年連続プロ野球独立リーグ・BCリーグ北信越地区優勝を狙う「石川ミリオンスターズ」やJリーグ入りを目指す「ツエーゲン金沢」、そして大リーグアスレチックスへ移籍した松井秀喜選手のほか、2012年のロンドンオリンピックで活躍が期待される地元出身の柔道・水泳・卓球等の若手選手にも注目して地域の応援団として積極的に取り上げていきます。

静岡放送局

○暮らしに直結する社会の動きや課題に向き合い、わかりやすく伝えます

長引く不況で地域の経済は疲弊し、雇用不安は人々の生活に大きな影響を与えています。地場産業の振興や街の活性化、膨大な赤字を抱える静岡空港の問題など、地域は多くの課題を抱えています。医師不足が深刻化する中、私たちの命を守る地域医療の充実が急務です。人々の暮らしや産業に直接影響をもたらす、さまざまな課題をとりあげて地域だけでなく全国に向けても積極的に発信し、視聴者の“知りたい、わかりたい”に応えます。

○金曜夜間の地域放送番組は、地域の“旬”にこだわって多角的に発信します

平成23年度は、金曜夜間の地域放送番組を大幅に刷新します。これまでの「フジヤマTV」で培ってきたノウハウを生かしながら、今後は地域の課題や、人々の暮らし、文化、自然、紀行など話題性のあるテーマを硬軟織り交ぜて多角的に取り上げます。『地域の“旬”にこだわり、静岡の“いま”を深く切り取る』タイムリーでより質の高い番組を目指し、視聴者の関心に応えます。

○視聴者とのつながりを深め、親しまれる放送局として地域に元気を届けます

静岡放送局は平成23年3月に開局80周年を迎えます。この機会を捉え、童謡をはじめとした静岡ゆかりの歌を、ふるさとの美しい映像とともに伝える番組を編成し、これと連動した公開収録番組の制作に取り組みます。平日午後6時台の地域情報番組では“放送局のちから”を結集させた中継キャラバンをより集中的・効果的に展開するとともに、郷土の歴史・文化の発掘と伝承に寄与します。さらに、会館公開をはじめ、イベントや公開番組を充実させ、開かれた放送局として地域の活性化に貢献します。

○若い世代に積極的に働きかけ、視聴者層の拡大に努めます

静岡放送局では、大学生にDJとして参加してもらおうFM番組を制作してきました。平成23年度は、この番組の公開収録を推し進め、テレビでの放送も目指します。さらに、若者の率直な声を伝えるインタビュー形式の番組を正式にスタートさせ、若い世代とのつながりを強めていきます。また、大学生が作る地元情報誌など、放送以外の媒体を通じてこうした取り組みを周知し、これまでNHKに接する機会の少なかった視聴者層に向けて強くアピールしていきます。

○東海地震への備えを徹底し、“防災放送局”としての存在感を高めます

予想される「東海地震」に備え、行政機関の防災対策を検証するとともに、自主防災組織など地域住民の最新の取り組みを幅広く伝えて、県民の防災意識の向上を図ります。データ放送やホームページでも、きめ細かく防災・減災に関する情報を提供し、視聴者の期待と信頼に応えます。地震、津波、台風などの災害報道や緊急報道にあたっては、的確かつ迅速に情報を提供し、暮らしの安心・安全に寄与します。

○選挙報道に万全の態勢で臨み、正確・迅速に対応します

静岡県では、平成23年4月に予定される統一地方選挙で、静岡市や浜松市など3つの市の市長選挙と2つの町の町長選挙が行われるほか、県議会議員選挙と14の市町の議員選挙が実施されます。こうした県民の関心が高い選挙について万全を期し、有権者の判断のよりどころとなる情報をわかりやすく伝えて公平・公正で的確な選挙報道に取り組みます。

○静岡のスポーツを応援し、地域の活性化に貢献します

“サッカー王国”静岡では、新監督を迎えた「清水エスパルス」とJリーグカップで優勝した「ジュビロ磐田」に熱い期待が寄せられています。バスケットボールbjリーグの「浜松・東三河フェニックス」は連覇を目指すシーズンで、高校野球、高校サッカーなどのアマチュアスポーツにも地元の人たちから高い関心が寄せられています。地域に根ざした放送局として、さまざまなスポーツの情報をいきいきと伝え、視聴者とともに盛り上げます。

○テレビ放送のフルデジタル化に全力で取り組みます

7月にテレビ放送がフルデジタル化されます。円滑な移行に向け、視聴者の理解を促進する番組や周知活動に取り組みます。

夏には、富士山頂をはじめとした美しい映像を一日を通じて中継する特別番組を放送し、デジタル放送の特性、魅力を存分に伝えます。また、イベントでもフルデジタル化に向けた周知・広報活動を展開し、視聴者への情報提供と理解促進に努めます。

○“3-Screens”展開を強力に推進し、コンテンツの浸透を図ります

静岡放送局のホームページでは、「防災ポータルサイト」で、平日午後6時台の地域情報番組の防災特集を動画配信するとともに、東海地震の際の避難先を地図で明示するサービスを始めています。独自のメールマガジンは着実に会員が増えています。平成23年度は、こうしたコンテンツを有効に活用してもらえよう浸透を図るとともに、静岡県が計画している新たな災害情報発信システムの動向も踏まえながら、よりきめ細かな防災情報の提供に努めます。さらに、若者へのインタビュー番組などで動画配信を充実させるほか、メールマガジンでも魅力的な企画に取り組み、放送と連動したサービスの向上を図ります。

福井放送局

○“結（むすび）”をテーマに、福井の課題に正面から向き合います

一人あたりの県民所得が全国平均の95%にとどまる福井県にとって、経済力の底上げは喫緊の課題です。しかし、少子高齢化に伴う全国的な生産年齢人口の減少は福井県も例外ではなく、地域産業の苦境は続いています。また、家族や地域の“結びつき”のせい弱体化などで、暮らしの中に「無縁社会」という新たな横顔が浮かび始めています。こうした中、福井県には、三世帯同居世帯の割合が全国で2番目に高いなど独自の強みがあります。家族や地域の“結びつき”が強い福井らしさを、「無縁社会」を抑制するカギとして取り上げます。そして、地域産業の成長戦略や公共交通網の整備、活力ある地域の将来像を検証し解決策を探ります。

○地域を応援し元気にします

平成23年の大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」では、福井も重要な舞台の一つとなります。これを機に、関連番組の制作や大河ドラマ特別展の開催を通して福井の魅力を全国に発信し、地域の活性化に寄与します。また、地域を訪ね、地域の視聴者と直接ふれあう公開放送やイベントを積極的に実施して、地域とともに作る放送に取り組みます。プロ野球独立リーグ・BCリーグの「福井ミラクルエレファント」などのプロスポーツや高校野球をはじめとする地元のアマチュアスポーツについても、ニュースや試合中継を通して選手たちの活躍ぶりを伝えていきます。

○地域放送のいっそうの充実を図ります

接触者率向上のため、特に40代の女性を主なターゲットにし、視聴者層の拡大を目指して地域放送番組を充実させます。平日午後6時台の地域情報番組では新たに気象予報士を起用し、視聴者の関心が高い気象情報をよりいっそうわかりやすく伝えます。平日午前11時台の地域情報番組については内容を大幅に刷新し、地域の話題や生活情報など、女性の心をつかむ企画の充実を図ります。

○原子力発電所の動向を詳しく伝えます

全国の原子力発電所の4分の1にあたる14基が立地する福井県。原発で起きるトラブルは、その地域に住む人たちにとって大きな不安材料です。ともすれば難解になりがちな原子力をめぐる報道を、多角的な視点でわかりやすく伝えます。トラブルの発生をいち早く伝えるとともに、安全は確保されているのか、情報の透明性は担保されているのかを検証します。特に高速増殖炉「もんじゅ」については、原子炉内に装置が落下して回収できなくなるトラブルが発生していることから、復旧作業の状況や安全確保策などを引き続ききめ細かく伝え、視聴者の関心に応えていきます。さらに、地域と原子力との関わりをいま一度見つめ直すような報道を目指します。

○迅速かつ的確な災害・緊急報道に全力で取り組みます

地震や台風、豪雨、豪雪などの災害報道や、事件・事故などの緊急報道にあたり、迅速かつ的確な報道に全力を尽くします。特に災害報道については、新たに起用する気

象予報士によるわかりやすい解説を加えるなど、いっそう強化を図ります。また、インターネットやデータ放送を活用することで最新情報をきめ細かく伝え、県民の安心・安全な暮らしを守ります。

○正確で迅速な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

福井県知事選挙（任期満了日4月22日）を含む統一地方選挙や福井市長選挙（任期満了日12月22日）など各種選挙については、有権者の判断のよりどころとなる情報を的確に伝えるとともに、正確で迅速な選挙報道に万全を期します。

○地上デジタル・BSデジタル放送のさらなる普及に努めます

県内すべての人が安心してフルデジタル時代を迎えられるよう、地域放送において受信者側の備えの必要性を積極的に発信していきます。特に福井県は約7割の世帯がケーブルテレビを利用しており、その多くがBSアナログ放送を受信しています。円滑にBSデジタル放送への移行ができるようケーブルテレビとの連携を強化し、視聴者の理解を深めるよう努めます。

富山放送局

○地域の今と向き合い、明日を見つめます

富山放送局は、平成23年度、“地域と向き合う”ことを重点に取材・制作を進めます。人口減少と少子高齢化、先行きの見えない不安と閉そく感が漂う中、地域で何が起き、失われ、生まれようとしているのか、地域の今を見つめ、そこから明日につながる新しい芽を見つけ、平日午後6時台の地域番組や金曜夜8時台の地域特集番組で年間を通して伝えていきます。

○地域発ドラマの放送を目指します

“地域と向き合う”取り組みの柱として、地域発ドラマの制作・放送を目指します。地域を舞台にした人々の営みや生き生きとした姿を通して、地域のつながりや人のきずなの大切さを訴える内容を検討しています。また、ドラマの制作を視聴者との結びつきの強化に最大限活用し、地域を元気にする拠点としてのNHKの役割を果たします。

○地域経済の動きをきめ細かく伝えます

北陸新幹線（長野～金沢）の開業まで4年を切り、富山県では「新黒部駅」の駅舎着工など工事が急ピッチで進められます。新幹線の開業を見据えた街づくりや地域活性化の動き、さらに並行在来線・北陸線の経営問題などをきめ細かく報道します。また、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）をめぐることは、貿易自由化による国内農業への影響が懸念されています。富山の主要産業である農業の将来像との関係を踏まえ、ていねいに伝えていきます。

○的確かつ迅速な報道に取り組みます

平成23年4月に予定されている統一地方選挙は県内では富山県議会議員選挙などが実施されます。有権者の投票行動の判断材料になるよう、選挙の争点や候補者の訴えを公正にわかりやすく伝えるとともに、正確・迅速な開票速報に万全を期します。また、自然災害や事件・事故など緊急事態に適切に対応できるよう、日ごろから準備し、県民の生命・財産を守るために迅速・的確な報道に取り組みます。

○テレビのフルデジタル化への円滑な移行に取り組みます

7月のアナログ放送終了、フルデジタル化を円滑に進めるため、情報の周知に努めます。地域情報番組の「地上デジタルひとくちメモ」コーナーやスポットなどを通して、デジタル放送受信のための基本的な知識や個別の受信環境に応じた対策など、きめ細かな情報を提供します。また、スポーツ中継で、データ放送を利用した応援メッセージを募るなど、デジタル放送の特性を生かした演出を取り入れて、視聴者の満足度を高めます。

○地域スポーツを応援します

サッカー、野球、バスケットボールの3つの地元プロスポーツチームやアマチュア・学生スポーツのチーム・選手を地域情報番組の「スポーツ応援団」コーナーや中継番組で積極的に取り上げます。地域スポーツの振興に寄与するとともに、スポーツを通じて

地域の人たちを元気にします。夏の高校野球県大会は、できるだけ多くのチームを放送で紹介できるよう試合に加え開会式も新たに中継し、地域の人たちの関心に応えます。

津放送局

○フルデジタル元年、地域放送のさらなる充実を図ります

フルデジタル元年、津放送局ではこれまで以上にデジタル放送のメリットを活用したコンテンツの制作や地域放送番組の制作、編成を積極的に行っていきます。また、より幅広い視聴者層のニーズに的確に応える放送サービスを充実させ、接触者率の向上を目指します。平日午後6時台の地域情報番組では県民の関心が高いニュースや話題を取り上げ、記者解説などを交えて、わかりやすく、きめ細かく伝えます。金曜夜7、8時台は自然、文化、紀行、人物など三重県の魅力をたっぷり伝える番組や地域の課題に向き合った番組を放送します。

○災害・緊急報道に全力を注ぎ、防災・減災に努めます

三重県では、東海、東南海、南海地震などの大規模地震発生時に甚大な被害が想定されます。津放送局では、災害に備えて、災害の被害状況や被災者が求める情報を発信するホームページやデータ放送、携帯サイトを充実させ、いざという時に迅速に対応できる緊急報道体制の整備を強化します。また、引き続き年間を通じて防災関連の企画を放送し、県民の防災・減災意識の向上につながるきめ細かな情報を提供していきます。

○正確で迅速な選挙報道に万全を期します

平成23年4月に予定される統一地方選挙では選挙報道に万全を期します。県内の選挙結果をホームページやデータ放送も活用して正確かつ迅速に報道するとともに、選挙の争点や構図をわかりやすく伝え、視聴者が求める情報を的確に提供していきます。

○地域の課題を取材・検証していきます

政権交代後も安定しない政治状況や長引く経済の停滞、そして少子高齢化の波は三重県にも深刻な影響をもたらしています。三重県が抱える課題に正面から向き合い、深く掘り下げる番組やシリーズ企画を放送し、地域を活性化し、豊かで安心、安全な暮らしを守るためには何が必要なのか、地域の人々とともに解決策を探っていきます。

○「ふるさとにQ」で“元気な三重を発信”していきます

平成21年に始まり視聴者から好評を得てきた平日午後6時台の地域情報番組の人気コーナー「ふるさとにQ」は今年度、集大成の年を迎えます。3年間にわたった県内29市町すべてを取り上げる“放送局のちから”の取り組みの総仕上げとして、さらに地域に深く密着し、内容の充実を図ります。また特集番組などを放送し、地域の活性化に貢献します。

○視聴者とのつながりをさらに深める取り組みに力をいれます

身近で親しまれる放送局を目指し、視聴者とのつながりをさらに深めていきます。三重県ゆかりの大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」関連のイベントや、会館公開、中継キ

ャラバンなどを通じて今まで以上に地域の人々に密着していきます。また放送と営業、事業との連携をさらに強化し、放送やイベントを通じた受信料収納活動の促進につなげていきます。

○デジタルコンテンツをさらに充実させます

公開ホームページの内容のさらなる充実とともに、データ放送では、災害時、迅速に地域住民に災害情報を届けるためのシステム「公共情報 commons」を活用して、防災に役立つ情報を提供します。また、パソコンや携帯端末などを通じて、視聴者層の拡大、接触者率の向上を図り、多くの皆さんに“いつでも、どこでも、もっと身近にNHK”を体感していただきます。

○伊勢神宮の式年遷宮に向けた祭事を継続して取材します

去年、参拝者数が過去最高を記録した伊勢神宮。2年後の平成25年には20年に一度の式年遷宮が行われます。すでにさまざまな祭事は始まっており、準備は順調に進んでいます。日本人の古くからの生活に根ざした伝統文化や技能の伝承など式年遷宮に向けた祭事や動きを重点的、継続的に取材し、ニュースの発信、特集番組への展開を目指していきます。

岐阜放送局

○岐阜の“いま”に密着し、地域の魅力を伝えます

平日午後6時台の地域情報番組は、県民が求める岐阜の“いま”に密着し、探究心ある取材で地域の情報を発信します。また、金曜夜7、8時台の地域放送番組では、中部地方で最大の面積を有する岐阜県の出来事や話題を新しい視点で伝え、視聴者層の拡大を目指すとともに、岐阜ならではの魅力を存分に伝えます。

○地域の課題に真しに向き合い、解決への道筋を探ります

社会制度の変革、国際的な経済競争、円高などを背景に、岐阜県の産業・文化も時代の変化の波にさらされています。日々刻々と変わる国内外の社会情勢が、県民の暮らしにどのような影響を与えているのか。雇用や年金、医療など、県民の暮らしに直結する切実な問題を掘り下げて取材し、地域の課題を明らかにするとともに、解決への道筋を探ります。

○フルデジタル放送の円滑な移行に尽力します

フルデジタルへの完全移行に向け、よりきめ細やかな対策に注力します。デジサポ岐阜と連携し、受信障害対策共聴施設に向けた共聴スーパーの送出や、難視聴地域への受信相談を行うなど、個々の受信環境に合わせた周知広報を徹底します。また、データ放送をはじめとするデジタル放送ならではのサービスの充実を図り、デジタル放送の理解促進に努めます。

○迅速かつ的確な災害・緊急報道に努めます

県民の生命・財産にかかわる自然災害や、事件・事故の報道にあたっては、迅速かつ的確に情報を提供するとともに、データ放送やホームページを駆使し、刻一刻と変化する災害状況を詳細に伝えます。また、県民の防災・減災意識を高める報道にも力を入れ、県民の安心・安全な暮らしを守ります。

○選挙報道に万全を期します

地方自治のあり方に注目が高まる中、平成23年4月に予定される統一地方選挙にあたっては、有権者の判断のよりどころとなる選挙の争点や課題などの情報を伝えます。開票速報など選挙報道の実施には万全を期し、公共放送の使命を果たします。

○地域のスポーツ振興に貢献し、県民の希望につなげます

平成24年9月、第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）の本大会が開催されます。また、本大会に先駆けて、平成24年1月、冬季競技会が実施されます。大会に関連する県民の取り組みを広く取り上げ、地域と一体となって大会の成功を目指します。また、サッカーJ2のFC岐阜については、試合の中継や地域情報番組のコーナーで活躍を伝えるほか、高校野球岐阜大会や岐阜県サッカー選手権大会など、県内で開催されるさまざまなスポーツ大会を放送します。

○岐阜の“ものづくり”を応援します

岐阜のものづくりを応援する取り組みを、平成23年度も継続します。工業製品、伝統工芸品、ご当地グルメなど、消費者の心をつかむ岐阜ならではのものづくりの現場を取材し、地域の産業を広く応援します。ものづくりに携わる人々のチャレンジを積極的に伝え、あすの岐阜の産業を背負って立つ人たちを後押しします。“3-Screens”を活用した展開も継続し、接触者率の向上に努めるとともに、県民の暮らしに寄り添い、視聴者の共感を生むような番組制作を心がけます。

平成23年度 中国地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

中国地方では少子高齢化が顕著に進み、長引く不況による先行きの不透明感をぬぐえずにいます。

このような不安定な時代だからこそ、中国地方のNHKは地域が抱える課題に正面から向き合い、地域に根ざした信頼される放送局を目指します。

中国5県の各放送局は、これまでも放送を通して、全国に先行して進む人口減少や高齢化の課題に取り組んできました。平成23年度は、人口減少社会と向き合い、地域を元気にするさまざまな番組を展開し、疲弊した地域に“あすへの指針”を示します。

また、豊かな自然や伝統文化を再発見し、ふるさとの魅力を地域や全国に発信していきます。さらに、高齢者層や若者世代など、ターゲットを明確にした番組を開発し、視聴者層のさらなる拡大を図ります。

土砂災害危険個所が集中している中国地方では、昨年も大雨による土砂災害が相次ぎ大きな被害が発生しました。大規模災害に備えた防災・減災に役立つ情報の提供に努め、災害などの緊急報道では、迅速・的確に情報を伝えます。あわせて、データ放送や携帯端末など多様な手段を活用し情報を提供します。

また、平成23年4月に予定される統一地方選挙にあたっては、選挙放送の実施に万全を期します。

平成23年7月にテレビ放送はフルデジタル化します。デジタル放送への円滑な移行のための情報の周知に努めるとともに、デジタルメディアを効果的に活用した参加型の番組などを通して、視聴者との結びつきをいっそう強めます。

本格的なフルデジタル時代を迎えるにあたり、中国地方の各放送局は、こうした取り組みを通じて、身近な放送局として視聴者の期待に応えていきます。

《重点事項》

1. 人口減少社会と向き合い、“あすへの指針”を示します

過疎化・少子高齢化は、農漁業の後継者不足や医療・福祉など生活の基盤となる分野でさまざまな問題を引き起こし、地域の経済活動にも暗い影を落としています。高齢者の孤立や児童虐待など家族や地域のあり方について考えさせられる問題も相次いでいます。人口減少社会が直面するこうした課題に正面から向き合い、視聴者や有識者と議論を交わしながら“あすへの指針”を示します。

2. ふるさとの魅力を再発見し、地域を元気にします

さまざまな分野で活躍する人や地域活性化に向けた取り組みを紹介する番組、各地の暮らしや美しい自然などを訪ねる紀行番組を充実させ、地域の魅力を再発見します。また、中国地方にゆかりの深い平成24年の大河ドラマ「平清盛」に関連した番組やイベントを積極的に展開し、地域を元気にします。

3. 防災・減災情報を充実させます

中国地方では集中豪雨による土砂災害や浸水被害が相次ぎ、山陰地方では記録的な大雪による被害も発生しました。身近に起きた事例を教訓に、防災・減災情報を充実させます。また、災害などの緊急報道では、確かな情報をテレビ・ラジオでいち早く提供するほか、インターネットや携帯端末でもきめ細かく伝えます。

4. 正確、迅速な選挙報道で、視聴者の信頼に応えます

平成23年4月に予定される統一地方選挙では、有権者の判断のよりどころとなる情報を的確に伝えるとともに、正確で迅速な選挙報道に万全を期します。

5. 放送と放送以外のメディアを連携させた多様なサービスを展開します

デジタルメディアを活用した参加型の番組や公開番組を通して、視聴者との結びつきを強めます。データ放送はトップ画面を刷新し利便性の向上を図るとともに、暮らしの安心・安全を支える情報や視聴者の関心が高いコンテンツに特化した編成で、より身近なメディアを目指します。

6. 地域の文化・スポーツの振興に努めます

中国地方に受け継がれている個性豊かな伝統芸能や地域文化の発展・継承に努めます。また、サッカー、野球など地域に根ざしたスポーツを中継や番組で取り上げ、スポーツファンの期待に応えます。

《各局の重点事項》

広島放送局・福山支局

○地域が抱える課題を掘り下げて伝えます

自動車・鉄鋼など輸出関連企業が多い広島の経済は円高の影響を大きく受け、雇用も依然として厳しい状況が続いています。そのような中、一昨年の知事交代に続き、4月には新しい市長のもとで広島市政がスタートします。地域活性化のために県政・市政のかじ取りをどうするのか、ふるさとの暮らしに直結する課題や視聴者が関心を寄せる問題を掘り下げて伝えます。

○“核なき世界”の実現に向けて発信を続けます

核兵器廃絶への期待と失望が交錯した被爆65年から被爆66年へ。高齢化が進む被爆者にとって喫緊の課題である原爆症認定制度や“黒い雨”の指定地域拡大をめぐる動き、“核なき世界”の実現に向けた被爆者や世界の動向を、放送やインターネットを通して発信し続けます。

8月6日の広島・原爆の日を中心に、歌を通して若者たちに“いのち”や“平和”を訴える番組や、被爆体験を次世代に伝える番組などを集中的に編成し、あらゆる世代に核・平和について考えてもらう機会を提供します。

○ふるさとの魅力を発信し、地元スポーツを応援します

平成24年1月から大河ドラマ「平清盛」がスタートします。世界遺産・厳島神社に朱塗りの海上社殿を造営し、時の栄華を極めた平清盛。清盛が厚い信仰を寄せた宮島の歴史や清盛の足跡を追った番組を放送し、ふるさとの魅力を再発見します。プロ野球「広島カープ」や、念願のタイトル獲得へ期待がふくらむサッカー「サンフレッチェ広島」の戦いを中継や番組で伝え、地元チームを応援します。

○視聴者との結びつきをいっそう強めます

簡易投稿サイト“ツイッター”を活用したきめ細かな情報発信で、10代・20代を対象としたFM番組の双方向性を高めます。また、スポーツ中継での応援メッセージや番組への投稿募集など、デジタルメディアを効果的に連動させ、視聴者の声を番組に生かしていきます。

岡山放送局

- 平日午前11時台・午後6時台の地域放送番組を刷新し、充実・強化します
午後6時台の地域ニュース番組では、その日のニュースにこだわり、“岡山のいま”を掘り下げます。さらに、午後6時台と午前11時台の番組連携を強化し、より身近で日々の暮らしに役立つ情報を多彩に伝え、視聴者の関心にタイムリーに応えます。
- 金曜夜間の県域番組を刷新し、地域と人を見つめるドキュメンタリーを放送します
岡山でいま注目の話題や問題に肉薄し、その核心にいる人々の生きざまに迫る県域のドキュメンタリー番組を立ち上げます。その人を通じて、地域の魅力を再発見し、課題を浮き彫りにします。
- 「みんなで子育てキャンペーン」をより充実させて展開します
子どもの成長を支援するキャンペーンをより充実した内容で展開します。児童虐待や不登校など子どもを取り巻く問題に真正面から取り組み、多角的に伝えます。
- 地域スポーツを応援し、岡山を元気にします
県内では、J2昇格3年目のサッカー「ファジアーノ岡山」をはじめ、女子サッカーやバレーボール、さらには学生スポーツなどプロアマ多くの人々が活動しています。中継や取材を通して、地域スポーツを盛り上げます。
- 迅速な災害報道・緊急報道を実施し、視聴者の信頼に応えます
昨年は突風被害、おとしは大雨による水害・竜巻災害が起きました。災害や事件・事故発生時には県民が必要とする情報を迅速、的確に伝えNHKの責務を果たします。
- 公正・公平で正確な選挙報道に取り組みます
平成23年4月に予定される統一地方選挙では、政令指定都市移行後初の岡山市議会議員選挙をはじめ複数の地方選挙が行われます。公正・公平で正確な放送を実施し視聴者の信頼に応えます。
- デジタルサービスやイベントを充実させて、接触者率向上を目指します
番組改定に合わせホームページや携帯サイト、データ放送を大幅に刷新します。また、公開番組や環境・福祉などをテーマに多彩なイベントを開催します。放送と連動した魅力的なデジタルコンテンツやイベントを通し、接触者率の向上を目指します。

○デジタル放送への円滑な移行にむけて周知活動を徹底します

7月24日に迫ったテレビ放送の完全デジタル化への最終段階にあたり、放送、イベント、ホームページなどさまざまな手段で周知を徹底し、移行が円滑に進むよう努めます。

松江放送局

○過疎化・高齢化など島根県が抱える課題をくわしく伝えます

島根県では人口が減少する中、100歳以上の割合が全国1位となり、さらに高齢化が進んでいます。また、医療、交通、商業など、ライフラインの維持が課題となっています。地域の課題の解決や活性化の取り組みを継続的に取り上げるとともに、全国へも発信し、地域放送局としての役割を果たします。

○視聴者の関心に的確に応える報道と防災の啓発に努めます

島根県知事選挙（投票日 平成23年4月10日）をはじめ、平成23年4月に予定されている統一地方選挙では、島根県議会議員選挙や町長選挙などが行われます。注目選挙については、地域の課題や選挙の争点を掘り下げたリポートや、データ放送・インターネットを活用したわかりやすい報道で視聴者の関心に配慮するとともに、正確・迅速な選挙報道に万全を期します。また、全国でも最大級の規模となる島根原子力発電所3号機の完成に向けて、さまざまな状況を想定した緊急報道体制の強化に努めます。自然災害にも備え、防災意識の向上につながる放送に取り組みます。

○地域の隅々までフルデジタル化をサポートします

7月のテレビのアナログ放送終了・フルデジタル化に向けて、周知・広報活動に取り組みます。独り暮らしの高齢者など県内隅々まで情報がいきわたるよう、関係機関と連携しながら地域放送局ならではのきめ細かなサポートに努めます。

○多彩なサービスによる接触者層のさらなる拡大を目指します

地域の放送局として、あらゆる世代の視聴者に親しまれる存在になるため、多彩な番組・サービスを提供していきます。具体的には、若年層向け番組の制作や、幅広い世代が参加できるイベントの実施、出前授業など県内各地に出向く広報活動などを数多く展開します。さらに、地域放送番組と連携する充実したデジタルコンテンツを提供し、視聴者がNHKにより接触しやすい環境の充実に努めます。

○開局80年にあたり、地域の文化・スポーツを盛り上げていきます

松江放送局開局80年にあたり、視聴者の皆さんが楽しんで参加できる企画を実施します。また島根の文化の豊かさを再発見し、その魅力を広く全国に伝えます。森鷗外生誕150年や、古事記が編さんされて1300年などの節目の年であることから、こうした地域の歴史や文化を多角的に紹介する番組やイベントを展開します。また、スポーツや文化の分野で活躍する島根ゆかりの方々を積極的に取り上げ、地域を盛り上げていきます。

鳥取放送局・米子支局

- 地域の課題に向き合い、NHKだからできる地域放送をいっそう充実します
停滞する経済の活性化、雇用、歯止めのかからぬ人口減少や少子高齢化といった課題に引き続き向き合い、平日午後6時台や金曜日夜間の番組で県民に役立つ情報を伝えていきます。「世界ジオパーク」に認定された山陰海岸や「関西広域連合」への参加、来年度鳥取県で開かれる「国際マンガサミット」に向けた取り組みなど、各地の地域振興の動きも積極的に取り上げ、地域を元気にする拠点として力を発揮します。平成23年4月に予定される統一地方選挙など選挙報道にも万全を期します。
- 韓国との交流を引き続き見つめるとともに拉致問題の報道に力を入れます
韓国KBSチューンチョン放送総局との素材交換協定に基づくカンウォン道情報をさらに充実するとともに、鳥取県が交流を進める環日本海諸国に取材班を派遣し、IP伝送やインターネットによる生中継で効率化を図りながら立体的に伝えます。また、米子市の松本京子さんが政府から北朝鮮による拉致被害者と認定されてからちょうど5年になることを踏まえ、拉致問題の報道に力を入れます。
- 地域の応援団として力を発揮し、鳥取の魅力を全国に発信します
鳥取の豊かな自然や伝統文化、人の魅力などを引き続き積極的に全国へ発信し、地域の期待に応えます。また、米子支局のスタジオから県西部の情報を集中的に発信する「米子ウィーク」を継続して地元での存在感を高めるとともに、島根県にまたがる中海圏域の取材では松江放送局と連携し、県西部の緊急報道にも備えます。スポーツでは、J2入りを果たした地元サッカーチーム「ガイナレ鳥取」を応援するのをはじめ、県民の関心が高い高校野球なども積極的に取り上げます。
- 若者向け番組を継続して放送するなどして接触者率の向上に努めます
2年目となる若者向け県域番組をさらに充実させるとともに、若者をターゲットにした全国放送番組も制作し若い世代の視聴者を増やします。さらに、ホームページや携帯サイトなども含めて日ごろNHKに接触していない層の支持獲得に力を入れます。7月に迫った地上テレビ放送・衛星放送の完全デジタル移行では、県民にすっかり浸透した技術職員ふんする“地デジ課長”を前面に出した番組やスポットで移行周知にラストパートナーをかけます。
- 開局75周年に合わせた取り組みで地域や視聴者とのつながりを強めます
鳥取放送局は平成23年12月に開局75周年を迎えます。これに合わせた番組の放送やイベントを通じて地域との結びつきをさらに深め、視聴者とのつながりを強めます。特にイベントでは40代以下の層をターゲットにした企画やサービスを工夫し、接触者率・支払率の向上に努めます。「朗読シアター」など鳥取放送局独自のイベントも継続し、いっそうの支持層拡大を目指します。

山口放送局・下関支局

○地域放送番組をさらに充実させます

“地域を元気にする”を合言葉に、昨年度刷新した地域放送番組をさらに充実させます。加速する高齢化が地域社会に及ぼす影響、米軍基地移設問題、日本海の生物多様性の問題、紛糾する原発建設計画など、地域が直面している課題に取り組み、視聴者とともに山口県と日本の未来について考えます。また、地域にこだわった生活情報やエンターテインメント、スポーツなどさまざまなコンテンツを提供し、視聴者の快適な暮らしを応援します。

○災害・緊急報道で地域を守ります

山口県では、2年連続で大規模な豪雨災害が発生しています。災害や事件・事故などの緊急報道では、テレビ・ラジオはもとより、パソコンや携帯端末などのメディアも活用し、きめ細かな情報を迅速に提供し、公共放送としての使命を果たします。また、梅雨前には高齢者など災害弱者を対象に防災情報の提供も行い、地域の安心・安全に貢献します。

○フルデジタル化に向けた広報とコンテンツの充実に努めます

7月のアナログ放送終了に向けてきめ細かな広報を行い、デジタル放送への円滑な移行ができるように努めます。また、デジタル放送が持つ機能を十分に活用した視聴者参加型の双方向番組など魅力的なコンテンツを開発し、接触者率の向上に努めます。さらに、これまでアナログテレビの県外受信世帯が多かった下関市、宇部市、山陽小野田市、周防大島町などの地域を中心に、山口放送局の番組を視聴していただくための取り組みを強化します。

○正確・迅速な選挙報道に努めます

平成23年4月に予定される統一地方選挙をはじめ、選挙報道にあたっては正確・迅速に情報を提供し視聴者の信頼に応えます。また、選挙結果がもたらす地域への影響について検証します。

○開局70周年を記念したイベントや番組で地域との結び付きを強めます

山口放送局は、平成23年4月19日に開局70周年を迎えます。これを記念して、地域に根ざした公共放送のこれまでの歩みと未来を展望する特集番組や貴重なアーカイブス番組を放送します。また、県内各地で多彩なイベントを開催し、NHKをもっと身近に感じていただくとともに、地域のきずなを深めます。

○山口県で開催される「国民体育大会」「全国障害者スポーツ大会」を応援します

開会式や注目競技の模様を伝えるほか、地域放送では「全国障害者スポーツ大会」の出場者にスポットを当て、平日午前11時台の情報番組で紹介するなど地元選手のチャレンジを応援します

平成23年度 九州地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

九州新幹線鹿児島ルートが平成23年3月に全線開業します。新大阪からの直行運転で、沿線各地では、関西方面までエリアを広げた人の交流や地域経済の活性化につながってほしいと注目しています。さらには、アジアから九州への観光客の増加なども期待されています。

一方、解決への出口が見えない米軍普天間基地の移設問題や開門へ向けて動き始めた諫早湾干拓事業、地域社会に深刻な影響を及ぼした口てい疫からの復興、九州・沖縄に毎年のように被害をもたらす台風・豪雨に加え、長期化が予想される霧島連山・新燃岳の噴火活動等の自然災害への備えなど、九州・沖縄が直面する課題は山積しています。

九州・沖縄の9つの放送局は、視聴者の関心の高い問題に真摯に取り組み、身近で頼りにされる“地域を元気にする拠点”として、その役割を果たしていきます。九州・沖縄に共通するテーマや、各放送局が重点的に取り組む企画は、ネットワークを生かして広く発信します。

また、4月に予定される統一地方選挙をはじめとする各種選挙については、万全の態勢で臨み、正確で迅速、公平かつ公正な報道を行います。

さらに、7月のテレビのフルデジタル化に向けて、地域のすべての視聴者が円滑に移行できるよう万全を期すとともに、地上デジタル放送ならではの双方向性を生かした番組も拡充するなど、魅力あるサービスの充実に努めていきます。

《重点事項》

1. 地域に密着した放送の充実

平日午後6時台のニュース番組では、九州・沖縄の各放送局のつながりを強化し、九州・沖縄各地のニュースや話題を積極的に取り上げます。暮らしに役立つ情報やアジア情報もさらに拡充して、内容の充実に努めます。

金曜午後8時台の番組は、内容を全面的に刷新します。九州・沖縄各地のさまざまな話題を、親しみやすく紹介し、見れば元気になる番組を目指します。このほか、金曜夜間では、九州・沖縄地方に共通する課題をタイムリーに取り上げ、正面から向き合う報道番組や、アジアで活躍する人物にスポットをあてたドキュメンタリー、喫緊の課題を取り上げる生放送の長時間討論番組など、多彩な番組を放送し、“地域を元気にする拠点”としての役割を果たしていきます。

2. “いのち”と“暮らし”を守る的確な情報の提供

九州・沖縄の9つの放送局は、ネットワークと機動力を生かして、迅速で的確な災害報道や緊急報道に取り組みます。

これまで各地に被害をもたらしてきた台風や豪雨、地震に加え、霧島連山・新燃岳の噴火活動などの自然災害、新型インフルエンザや口蹄疫など人間や家畜に急速に広がる感染被害などから、地域住民の“いのち”と“暮らし”を守るための報道に取り組みます。また、災害時、緊急時にはインターネットのほか、データ放送やワンセグデータ放送でも情報を伝えます。

3. フルデジタル時代の魅力あるサービスの強化

平成23年7月のテレビ放送のフルデジタル化をうけて、視聴者とのつながりを深める双方向番組の拡充や、インターネット、携帯端末なども活用した番組の開発を推進します。フルデジタル時代にふさわしい、魅力あふれる新たな番組制作に積極的に取り組みます。

4. “戦争と平和”への取り組み

被爆地・長崎や住民を巻き込んだ地上戦の舞台となった沖縄をはじめ、九州・沖縄各県にはいまでも戦争の深い傷が残っています。体験者の証言や記録資料などを通して戦争の実像に迫り、その悲惨さを後世に伝え、平和へのメッセージを発信していきます。

5. アジアに関する情報の発信

地理的・歴史的・文化的にもアジアと深いかかわりを持ってきた地域の放送局として、九州・沖縄の視点で捉えたアジア情報を、地域や全国に向けて積極的に発信していきます。中国や韓国をはじめとしたアジア諸国との経済や産業、文化交流などの動きを各国の放送機関との連携も生かして伝えていきます。

6. 各種選挙への万全な対応

平成23年4月の統一地方選挙では、福岡、佐賀、大分の県知事選挙をはじめとして、10の市長選挙などが予定されています。

各種選挙については、有権者の判断のよりどころとなる、信頼できる確かな情報の提供に努めるとともに、正確で迅速な選挙報道に万全を期します。

7. 地域の特徴を生かした多彩な全国発信

九州をはじめ西日本各地の美しい風景と、それぞれの地域の歴史や文化を紹介する紀行番組や、アジアの人々とのさまざまな交流を取り上げるラジオ番組、沖縄音楽とトークを楽しむラジオ番組など、地域の魅力を伝える番組を積極的に全国に発信します。

さらに、地域の課題をNHKが持つ全国のネットワークを生かした取材で発展させ、ニュースや情報番組を通じて全国に伝えます。

8. 地域の文化・スポーツの振興

九州・沖縄の各地には、長い歴史と伝統の中で育まれてきた個性豊かな文化があります。それらを継承しようとする人々や、新しい文化・芸能を創造していこうとする人々を積極的に取り上げ、地域文化の振興、発展に寄与します。

また、スポーツが盛んな九州・沖縄において、関心の高いプロ野球やサッカーJリーグ、大相撲をはじめ、バスケットボール、高校野球、高校駅伝などの各種スポーツについても広く伝え、スポーツの振興に寄与します。

9. 視聴者とともに作り上げる番組・イベント

デジタルメディアを活用した視聴者参加型の番組や、地域で頑張る若者を応援する番組など、視聴者とともに作り上げる番組をさらに発展、強化します。

市町村へ出向いて実施する公開番組をはじめ、会館のスタジオやホールを活用した番組、イベントなど、幅広く視聴者とふれあう地域イベントを積極的に実施して、地域に親しまれる放送局を目指します。

《各局の重点事項》

福岡放送局

- 九州新幹線鹿児島ルートが平成23年3月に全線開業します。九州の玄関口となる福岡では百貨店や商業施設の新規出店が相次ぐなど、地元の経済に大きな影響を与えています。開業後のさまざまな動きをタイムリーに伝えるほか、県民の関心も高く、暮らしに直結する福岡の経済の動向などについて、ニュースや番組の中でわかりやすく解説していきます。
- 福岡・釜山間を結ぶ高速船が就航して20周年を迎え、福岡と韓国の経済・文化交流が活発になっています。近年、著しい成長を続けるアジア諸国の情報を、古くからアジアとの交流の深い福岡ならではの視点で伝えます。
- 平日午後6時台のニュース番組では、福岡県のその日の動きを掘り下げて伝えます。また、地域経済の動向や雇用の問題をはじめ、医療・福祉や教育など、暮らしに直結した問題を積極的に取り上げ、地域視聴者の関心に応えていきます。また、いまだに後を絶たない飲酒運転を追放するキャンペーンや防災企画などに引き続き取り組みます。
- 平成23年4月の統一地方選挙では、福岡県知事選挙をはじめ4つの市長選挙などが予定されています。各種選挙については、正確かつ迅速な報道に万全を期し、地域のみなさんの関心・信頼に応えるとともに、選挙の争点や地方自治体の課題など有権者の判断のよりどころとなる情報を、公平かつ公正に伝えます。
- 地域の放送局として、貴重な伝統文化を守り、未来へと引き継いでいくとともに、新しい文化・流行についても番組やイベントを展開するなど、地域文化の創造と発展に貢献します。
- 毎年多くの参加者や観客で盛り上がる「博多どんたく」や「博多祇園山笠」、「大濠花火大会」など、県民の関心が高い祭りや伝統行事については、臨場感あふれる生中継でその魅力を伝えていきます。
- 8年ぶりの日本一を目指すプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」や5年ぶりにJ1に復帰したサッカー「アビスパ福岡」と、福岡のスポーツが盛り上がりを見せています。このほか、バスケットボールbjリーグ「ライジング福岡」、大相撲などのプロスポーツをはじめ、高校野球、高校駅伝など、視聴者の関心が高いアマチュアスポーツの情報を番組やニュースで伝え、地域のスポーツ振興に寄与します。

北九州放送局

- 北九州放送局は、平成23年12月21日に開局80周年を迎えます。80年間支えて下さった視聴者のみなさんに感謝の気持ちを伝えるため、多彩な番組やイベントを企画します。地域で活躍する人々のふるさとへのメッセージを年間を通じて放送していくほか、視聴者のみなさんから募集したふるさとへの思いを託した歌を「きたきゅうのうた」として発表します。また地域ドラマなど80周年を記念したさまざまな番組を放送します。放送やイベントの充実に努め、“地域の力”となる放送局を目指します。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組では、現場からの生中継の回数をさらに増やすとともに、さまざまな地域から公開生放送でお伝えするなど、地域情報に徹底的にこだわった、ふるさとの今が見える番組作りを目指します。また毎週金曜日午前11時台の週末情報番組でも、地域をくまなく巡って知られざる魅力を発掘、発信しながら、暮らしに役立つ情報をきめ細かく伝えます。
- 産業都市・北九州は、依然として厳しい雇用情勢をはじめ深刻な経済問題を抱えています。その一方で、公害問題を克服した経験をもとにさまざまな環境技術が開発されるなど、国内外から注目される潜在的な力も持っています。地域経済の見通しや行政の動向など、視聴者からの関心が高く市民生活に欠かせない情報を特集番組などできめ細かく報道するとともに、全国に向けて発信します。
- 地域のみなさんの生命、財産を守るため、緊急報道の充実に努めます。また、災害発生時には、避難先や医療機関の情報などをニュース番組のほか、データ放送、携帯サイト、インターネットなど、さまざまな手段を通して迅速にお届けします。
- 4月に予定される統一地方選挙をはじめ、地域で行われる選挙について、選挙の争点や地域に与える影響などをきめ細かく報道するとともに、選挙結果を正確、迅速にお伝えします。
- 地元のサッカーJ2「ギラヴァンツ北九州」の戦いぶりを、中継や情報番組を通してお伝えするとともに、ふるさとの祭りやイベントなどを多角的に伝え、地域の文化、スポーツの振興に貢献します。
- 7月のフルデジタル化に向け、番組やイベントを通してよりいっそうデジタル放送の周知を図るとともに、データ放送やマルチ編成をはじめ、地上デジタル放送の機能を生かしたさらに魅力的な番組作りを進めます。

熊本放送局

- 平成23年3月12日の九州新幹線鹿児島ルート全線開業に加え、平成24年の熊本市の政令指定都市化を控えて熊本県は今、産業・文化の活性化の最大のチャンスを迎えています。熊本放送局は、未来へ向けてのターニングポイントに立っている熊本を、さまざまな放送とイベントで応援するとともに、地域の課題をしっかりと見つめる放送局となることを目指します。
- 九州新幹線が熊本の経済、観光、文化などにどんな変化をもたらすのかを取材し、検証していきます。また、熊本市の政令指定都市化に伴う変化や、雇用不安、危機的状況の県財政、環境など多くの問題についても、しっかりと伝えていきます。平成22年に大きな動きをみせた水俣病の問題については今後も継続的に取材を続けていきます。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組、金曜午後7時台の地域放送番組、平日午前11時台の生活情報番組を“地域放送三本柱”として、地域の視聴者によりいっそう信頼され親しまれるニュース、番組としてさらに内容の向上を図ります。また、地域番組で放送した内容については、積極的に全国発信し、問題の解決を日本全体の視野で考えるとともに、熊本の魅力を全国に紹介します。
- 熊本にゆかりの音楽で地域の魅力を再発見する「くまもと歌物語キャンペーン」を新たに始めます。ミニ番組から公開収録番組へと展開し歌の力で地域を応援していきます。
- 台風や大雨、地震、阿蘇山の火山活動については、“一人の犠牲者も出さない”を合い言葉に防災や減災に役立つ情報を提供するための体制を強化し、災害時のニュースを機動的に編成するほか、データ放送、インターネットも活用してきめ細かな情報を提供します。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙については、正確で迅速な選挙報道に万全を尽くします。
- 平成23年7月のフルデジタル化へむけて、デジタル放送普及の取り組みをさらに強化していきます。また、“いつでも、どこでも、もっと身近に”の実現に向け、“3-Screens”展開に積極的に取り組みます。
- Jリーグ参入4年目、昨シーズンリーグ7位に躍進したサッカーJ2「ロアッソ熊本」の試合中継を引き続き行うとともに、番組でも最新の情報を伝えます。また、視聴者の関心の高いスポーツの情報を番組やニュースで伝え、地域のスポーツ振興に寄与します。

長崎放送局

- 平日午後6時台のニュース・情報番組を全面リニューアルした新番組をはじめ、さまざまな番組で地域課題に真正面から向き合い、豊かな地域社会の実現に貢献します。
- 混迷する政治状況の今後を占ううえでも重要な4月に予定される統一地方選挙に、万全の態勢と準備で臨みます。観光振興や諫早湾干拓事業などを焦点に、激戦が予想される県議会議員選挙をはじめとして、長崎市長選挙・佐世保市長選挙など県内であわせて15の地方選挙が行われます。当日の開票速報をはじめ、全局体制で正確で迅速な信頼できる選挙報道に努めます。
- 43人の犠牲者を出した雲仙普賢岳の大火砕流から20年の節目の年を迎えます。もう一度、この大災害を見つめなおすシリーズ企画を番組などで取り上げます。また、6月3日の「追悼式典」の中継や、平日午後6時台のニュース・情報番組での現地からの中継キャラバンなどを放送し、大火砕流から20年を迎えた被災地・島原の人たちの“いま”を伝えます。あわせて「ジオパーク」認定を機に地域活性化に取り組む動きを放送し、地域を元気づけます。
- 長崎は被爆から66年を迎えます。核兵器廃絶を求める長崎の声が少しずつ世界へ届く機運が生まれつつある一方、アメリカが臨界前核実験を実施するなど、核をめぐる世界情勢は一進一退を繰り返しています。平日午後6時台のニュース・情報番組ではシリーズで、核廃絶を訴え続ける被爆者や高校生などの取り組みを放送します。また、8月9日の「平和祈念式典」の中継やドキュメンタリー番組などを通して、被爆地の思いを全世界に発信します。さらに、高齢化が進む被爆者の体験を伝える証言をシリーズで放送し、インターネットでも公開します。
- 諫早湾干拓事業は、昨年12月、開門調査に向けて大きく動き出しました。今回の開門決定に対して、長崎県は干拓地の営農者への影響や防災上の観点から、排水門開門には反対の姿勢を続けていて、今後の政府との話し合いが注目されています。巨大公共事業に振り回される地元の苦悩などを、シリーズで放送し番組展開します。
- 「長崎くんち」「よさこいさせぼ祭り」など地域の代表的な祭りを、よりブラッシュアップした形で中継し、「フルデジタル化元年」にふさわしい番組を制作します。10代～20代の若年層にさらに親しんでいただけるような平日午後6時台のニュース・情報番組、金曜夜の地域番組、イベントを積極的に展開し、より幅広い層の視聴者のみなさんとつながることを目指します。

鹿児島放送局

- 鹿児島県は南北600キロ、桜島や霧島などの火山や亜熱帯気候の貴重な自然に恵まれ、多くの離島を抱えています。また、明治維新などの歴史の舞台にもなっています。このような貴重な自然や文化など、鹿児島の魅力を再発見する企画や番組を継続的に制作し、地域に全国に発信していきます。
- 県民を守る“防災放送局”として情報をきめ細かく伝え、防災意識が高まるような放送に努めます。活発な火山活動が続く新燃岳や桜島の情報をニュースなどできめ細かく伝えるほか、インターネットやデータ放送でも多角的に伝えます。また、集中豪雨に備えるため、雨量データの情報提供の充実を進めます。
- 平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業し、観光など経済効果への期待が高まっています。新幹線の全線開業がもたらす効果や影響についてニュースや番組で検証します。
- 平成23年7月のフルデジタル化に向けて、デジタル放送の普及に資する番組の制作、データ放送などのサービスの充実に取り組みます。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組では、地域の課題や問題点に深く切り込みます。特に、景気の低迷に伴って深刻さを増す雇用や子育て、介護などの生活を取り巻く問題を掘り下げ、解決策を探ります。また、視聴者の関心が高いスポーツ情報、県内各地の魅力ある人々や豊かな自然も紹介します。
- 金曜の夜間は、午後7時30分からの番組では、地域の課題に正面から向き合うほか、真摯に生きる人々を見つめます。また、午後8時からの番組では、県内各地の人々の暮らしぶりや笑顔を紹介して視聴者に地域の元気を伝えます。
- 平成23年4月の統一地方選挙では、県議会議員選挙などが予定されています。また、南九州市で市長選挙（任期満了日 平成23年12月22日）が行われます。ニュースはもちろん、データ放送、インターネットでも情報をきめ細かに伝え、正確で迅速な選挙報道を行います。
- 長引く景気の低迷で雇用や貧困の問題がいっそう深刻化しています。“無縁社会”という言葉が象徴するように地域や家族のきずなが断たれ、児童虐待や貧困、格差、孤独死といった問題が身近で起き、言いようのない不安に覆われるようになりました。こうした問題に正面から取り組み、解決に向けて今、何が求められているか、社会が進むべき方向性を示すような放送を目指します。

宮崎放送局

- 300年ぶりの大噴火とも言われる霧島連山・新燃岳の噴火は、宮崎県の広い地域の住民に甚大な被害と影響を及ぼしています。噴火の規模や噴石・降灰の見込み、火砕流・溶岩流などから住民が身を守るには、正確で迅速な情報が欠かせません。宮崎放送局では、新燃岳の噴火に関する報道にこれからも全力で取り組みます。また、毎年のように常襲する台風や大雨・集中豪雨、いつ発生してもおかしくない日向灘地震などにも素早く対応し、災害情報はテレビ・ラジオ・データ放送・インターネットなどさまざまな手段を通じて、宮崎のみなさんに正確で詳しい情報を素早く伝えていきます。
- 「口てい疫」からの復興は、畜産農家だけでなくすべての分野で元気をなくした宮崎県にとって重要な課題です。また、「鳥インフルエンザ」で養鶏農家にも被害が及んでいます。これらからの完全な復興にはかなりの時間を要します。復興に向けては果たして何が必要なのか、ニュースだけでなく、「みやざきスペシャル」などの特集で骨太な見応えのある番組を制作します。また、昨年夏から実施の「ファイト！みやざき」キャンペーンの取り組みは平成23年度も継続し、地域に密着したさまざまな番組やイベントを通じて地元を元気づけていきます。
- “スポーツランドみやざき”にふさわしく、宮崎放送局は“スポーツ”を応援していきます。昨年好評だったプロバスケットボールbjリーグ「宮崎シャイニングサンズ」の試合は今年も中継し、県民の期待に応えます。また、サッカー天皇杯の宮崎県代表決定試合の中継や甲子園を目指す高校球児の熱戦の模様、県内各地で開催されるマラソンや駅伝大会もきめ細かく伝えます。さらに、双方向番組にも挑みます。
- 長い間、宮崎県民に親しまれている金曜午後5時台の地元密着・生活情報番組は、今年も継続します。“県民が自ら出演し情報や話題を発信する”という番組コンセプトは継承し、今年度はキャスターが県内全ての市町村を訪ねて元気な宮崎人を紹介していきます。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組は、平成22年度に内容をリニューアルし、身近なニュース番組として親しまれています。今年は、さらにブラッシュアップを図り、記者レポートや生活に密着したさまざまな情報などを、よりわかりやすく伝える多彩な演出でお届けします。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙では、県議会議員選挙、2つの町長選挙、1つの村長選挙、17の市町村議会議員選挙が行われる予定です。正確・迅速な選挙報道に万全を期します。

大分放送局

- 大分放送局は、平成23年6月2日に開局70周年を迎えます。これを記念して制作する特集番組やイベントなどを通して、視聴者のみなさんとふれあう機会を増やし、視聴者目線に立った地域に親しまれる放送局を目指します。
そして、本格的にスタートするフルデジタル時代を着実に推進するために、データ放送やインターネット、携帯端末など“3-Screens”を活用した“新しい時代の放送サービス”の充実に取り組みます。
- 平成23年4月の統一地方選挙では、大分県知事選挙をはじめ大分市長選挙、別府市長選挙などが予定されています。これらの選挙について、正確かつ迅速な選挙報道に万全を期します。
- 平日午前11時台の情報番組、平日午後6時台のニュース・情報番組、金曜午後7時30分からの番組を地域放送の3本柱と位置づけ、それぞれの番組の特性を生かしながら地域の活性化に貢献するとともに、若者向け番組を開発するなど、大分を元気にする拠点となる放送局を目指します。
- 平日午前11時台の情報番組は、主に主婦や高齢者向けの暮らしに役立つ身近な情報を発信し、よりいっそう親しまれ、信頼される番組として内容の充実を図ります。また、データ放送との連携を強化し、大分の新鮮な生活・文化情報の発信に力を入れます。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組のさらなる充実に努めます。地域のニュースを中心に、県民の関心が高いさまざまな話題、情報を発信します。CATV各局との連携を強化し、よりきめ細かな話題・情報を提供していきます。また、県内各地を巡る中継キャラバンを実施するなど、積極的に視聴者とふれあい、“いつでも、どこでも、もっと身近に”の実現に向けて取り組みます。
- 月に1度、金曜午後7時30分からの地域放送では、大分の自然や文化、歴史など、地域に根ざしたNHKにしかできない“ならでは”の番組を積極的に放送し、地域の魅力を再発見します。また、午後8時からは、地域の抱える課題をはじめ、さまざまなテーマに向き合うとともに、地域の行事やイベントとの連動など、放送を通して地域文化の発展を応援します。
- 大分県には、サッカー、バスケットボール、バレーボール、フットサルの4つのプロスポーツチームがあるほか、高校野球や高校駅伝、マラソンといった視聴者の関心が高いスポーツが盛んに行われています。こうしたスポーツの情報や結果を、ニュースや企画、番組などで積極的に取り上げるとともに、スポーツ中継にも力を入れ、地域のスポーツ振興に寄与します。

佐賀放送局

- 平成23年12月28日に佐賀放送局は放送開始70周年を迎えます。佐賀局に残るニュースフィルムを活用し、佐賀の歩みを振り返るコーナーや特集番組を1年間にわたって放送します。また地域の姿をいきいきと映し出す地域ドラマを制作します。さらに県内各地で関連のイベントも実施し、放送局の全職員・スタッフが一体となって『ギュッと、さがむすび。』を合い言葉に“地域を元気にする放送局”として、存在感を高めます。
- 平日午後6時台のニュース・情報番組はタイトルを変更し、いっそうの充実に努めます。佐賀放送局のテレビニュース開始当初の映像を紹介する「あの日あの時」や、県内の高校を佐賀出身ミュージシャンが訪ねる新たな企画で幅広い視聴者層に親しまれる番組を目指します。中継キャラバンも実施し、視聴者とふれあい、あわせてデジタル放送の普及・充実に向けての取り組みを継続します。
- 開門調査が行われる諫早湾干拓事業や玄海原子力発電所の動向など、暮らしの安全・安心を守るため、丹念な取材を行い、的確な報道に努めます。
- 災害や事件・事故の緊急報道は、ニュースに加えてインターネット、データ放送も活用し、県民に役立つ情報をきめ細かく伝えます。また、佐賀県の民放ラジオ局と「3局合同防災特集」を放送します。
- 平成23年4月の統一地方選挙では、佐賀県知事選などが予定されています。県内の選挙にあたっては、信頼される正確かつ迅速な選挙報道を行います。
- 地域で生きる人々、地域に新たな息吹を起こすグループや企業を金曜午後7時台の地域放送番組で多角的に伝えます。金曜午後8時台では、家族で楽しめる番組、県民の関心に応える番組を充実させ、地域社会の発展と向上に貢献します。
- サッカーJ2「サガン鳥栖」、高校野球をはじめ、幅広くスポーツを取材し、佐賀県のスポーツ振興に力をいれます。
- “3-Screens”展開をさらに推進します。特に、インターネットでは、70周年記念のニュースフィルムの動画提供や、佐賀放送局ブログの開設など、接触者率を高める取り組みを行っていきます。

沖縄放送局

- 視聴者のみなさんの関心に応える番組制作や報道を目指します。
平日午後6時台のニュース番組は、地域の身近な情報の発信にいっそう力を入れて内容の充実を図り、県民の暮らしに役立つ放送に努めます。金曜午後7時台の地域情報番組については、多様なテーマをタイムリーに取り上げ、地域の課題や、文化と自然が持つ魅力などを伝えていきます。
- 米軍普天間基地の移設をはじめとする沖縄の基地問題の現状を、日本の安全保障や国際関係も視野に入れながら、さまざまな角度からきめ細かく継続的に取材し、ニュースや番組を通じて全国にも伝えていきます。
- 沖縄戦体験者の証言を積極的に取材し、埋もれた事実の発掘や戦争体験の継承に貢献する報道や番組づくりを進めます。6月23日の「沖縄全戦没者追悼式」は平成23年度も全国に向けて中継し、平和を願う県民の思いを国民に広く伝えます。
- 台風や地震などの災害報道では、テレビではデータ放送を含め、県民の要望に応える正確で迅速な報道を行います。ラジオでは機動性を生かして、気象警報や被害状況に適切に対応した災害情報を伝えます。また防災情報や災害に関する企画を放送し、被害の予防にも努めます。
- 平成23年7月に予定されるデジタル放送への完全移行が円滑に進むよう、さまざまな機会を通じて周知に努めます。
- 平成24年5月の「復帰40年」に向けて、戦後を多面的に振り返り、これからの沖縄を考える放送やイベントを実施していきます。平成22年度に開始したFMの沖縄音楽番組は平成23年度も継続し、インターネットとも連動して沖縄音楽の全体像をアーカイブ化していきます。
- 各地での多様な公開放送やイベントの実施を通じて、県民に親しまれる放送局を目指します。また、那覇市にある沖縄放送局放送会館では、番組制作やイベントに視聴者が参加できるさまざまな工夫を凝らし、地域情報とエンターテインメントの拠点として存在感を高めます。

平成23年度 東北地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

東北地方の各放送局は、地域の特性とニーズに合わせた番組のいっそうの充実に努め、暮らしに役立つ“情報”と暮らしを豊かにする“感動”を視聴者のみなさまに届けます。

平成23年は、7月にテレビ放送のフルデジタル化が行われる節目の年です。フルデジタル時代にふさわしい魅力的な番組の開発とテレビの可能性に挑戦します。

東北地方は、農林水産業の衰退や長引く経済不況、高齢化や過疎化など、多くの課題を抱えています。東北の経済・産業や人々の生活はどうなってゆくのか、地域の“今”を深く見つめ、視聴者とともに将来像を考える番組制作に取り組みます。

災害報道や緊急報道に万全を尽くし、防災や減災意識の向上に役立つ放送を継続的に行うことで、公共放送としての使命を果たします。

地域を元気にするスポーツ放送を積極的に行います。星野新監督を迎え、躍進が期待されるプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」をはじめ、関心が高いスポーツの情報を幅広く伝え、地域の応援団として東北を熱く盛り上げます。

インターネットや携帯端末向けサービスなど、さまざまなメディアを使った情報発信やイベントの開催を通して視聴者とのつながりを深めます。

東北地方の各放送局は、こうした取り組みを通じて、視聴者の期待や信頼に応え、“放送局のちから”をいっそう発揮していきます。

《重点事項》

1. 課題に向き合い、地域を元気にする金曜夜間の充実

総合テレビの金曜夜間を“地域放送の重点ゾーン”と位置づけ、多彩な番組を編成します。

地域経済、防災、医療・福祉、食、環境など、東北の課題をタイムリーに、多角的に取り上げます。

東北各地の豊かな自然や文化、そこに暮らす人々の姿を描く番組など、家族でくつろぐ時間にふさわしい見応えのある番組を制作します。

幅広い世代に親しんでもらえる民謡番組を新設し、東北民謡の魅力を伝えます。新しい発想による番組開発にも挑戦します。

平成23年度は、貿易の自由化を目指すTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への日本の参加が大きな焦点となります。とりわけ重大な影響を受ける農業を中心に、転換期を迎える地域の経済・産業を見つめ、視聴者とともに東北の将来像を考える特集番組の制作に取り組みます。

2. 関心に応える正確で迅速な報道

近い将来、高い確率で発生が予測されている宮城県沖地震などの大規模災害に備えて、緊急報道体制の充実・整備をさらに進めます。年間を通じて防災・減災意識の向上に努め、地域の安全・安心を守ります。災害時には、放送に加えて、インターネットや携帯端末などのメディアも活用し、迅速で的確な災害報道を行います。

4月には、4年に1度の統一地方選挙が予定されています。政権交代から1年半がたち、有権者の意識がどう変化しているのか、多角的にわかりやすく伝え、正確で迅速な選挙報道に努めます。

3. フルデジタル化に向けて

7月に予定されている、テレビ放送のフルデジタル化に向け、東北地方の各放送局は、フルデジタル時代にふさわしい魅力的な番組を制作するとともに、放送やイベントを通じてアナログ放送終了の告知やデジタル放送受信のための情報周知に努めます。また、データ放送やインターネット、携帯端末など、それぞれのメディアの特性を生かした情報を発信し、幅広い世代に親しまれる放送局を目指します。

4. 地域との結びつきを強める番組・イベント

午前11時台の地域情報番組「情報パレット」は、番組のさらなる充実を図り、東北地方の視聴者の役に立ち、暮らしを豊かにする生活情報をたっぷり伝えます。

FM放送では音楽を愛する東北の聴取者のニーズに応えるため、土曜夕方新たな音楽番組を制作します。東北にゆかりのあるアーティストや、人気のジャズを特集す

るなど、親しみのわく“東北ならではの”の番組を目指します。

公開番組やイベントを通して地域の活性化や文化振興に寄与し、地域貢献に取り組んでいきます。「冬・北国からのコンサート」や「東北民謡コンクール」など、番組と連動した東北地方独自の公開イベントにも力を入れ、視聴者とのつながりを深めます。

5. スポーツの放送で地域に元気を発信

星野新監督の就任で注目が集まるプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」、サッカーJ1「ベガルタ仙台」や「モンテディオ山形」、そしてプロバスケットボールbjリーグなど、関心が高いスポーツを取り上げ、地元ファンの期待に応えます。高校野球をはじめとするアマチュアスポーツの魅力も積極的に伝え、スポーツの振興に寄与するとともに、地域を元気にする放送を目指します。

《各局の重点事項》

仙台放送局

○正確で迅速な選挙報道と防災にむけた取り組み

平成23年4月に予定される統一地方選挙では、宮城県議会議員選挙や仙台市議会議員選挙などが行われます。正確で迅速な開票速報を放送するとともに、選挙の争点や地域の課題を多角的に伝えます。

宮城県沖を震源とする地震が、近い将来発生する確率が極めて高いと予測されています。また、昨年2月に起きたチリ地震津波では、大津波警報が発表されたにもかかわらず60%以上の住民が避難せず、防災上の大きな課題となりました。年間を通じて「防災・減災意識」の向上につなげるニュースや番組の放送に一段と力を入れます。

○地域の関心に応えるニュース・情報番組の充実

平日午後6時台のニュース・情報番組「てれまさむね」の充実に努めます。関心の高いニュースをタイムリーに掘り下げ、視聴者のニーズに応えます。キャスター・リポーターが県内各地に出かけて、地域の暮らしや動きを生中継で伝える「てれまさライブ」を継続し、地域とのふれあいを通して、より親しまれる番組を目指します。

○スポーツを“熱く”伝える

星野新監督のもと、躍進が期待されるプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やサッカーJ1の「ベガルタ仙台」、男子プロバスケットボールbjリーグの「仙台89ERS」など、地域の関心が高いスポーツの放送に力を入れます。特に、楽天については、シーズンの節目節目でその戦いぶりを伝える特集番組を制作し、地域を熱く盛り上げます。高校野球をはじめとするアマチュアスポーツも積極的に取り上げます。世界を舞台に戦うフィギュアスケートの羽生結弦選手、ゴルフの松山英樹選手などの活躍ぶりをていねいに紹介し、“宮城のスポーツ応援団”を目指します。

○フルデジタル化への円滑な移行

7月のフルデジタル化を円滑に進めるため、番組やさまざまなイベントを活用して周知活動を積極的に展開します。

○視聴者に親しまれる放送局を目指して

9月の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」や、12月の「SENDAL光のページェント」などの開催に合わせて、関連番組やイベントを展開し、地域の活性化を図ります。「地震防災教室」や「わくわくテレビまつり」、「NHK東北民謡コンクール」、「NHK交響楽団演奏会」などのイベントを通して、幅広い世代に親しまれる放送局を目指します。公開ホームページを刷新・充実して、番組やイベントの情報をよりわかりやすく発信します。

秋田放送局

○県民の期待に応え“秋田のちから”を発信

県内各地の伝統文化や豊かな自然、さまざまな地域の取り組みや人材など郷土の誇りを“秋田のちから”として広く発信します。また、県民が高い関心を寄せるスポーツについても、試合の中継だけでなく、きめ細かな情報発信によって県民の関心に応え、元気と感動を届けます。

○公共放送として地域に貢献

景気や雇用の低迷、厳しい環境に置かれた農業、高い自殺率、少子高齢化、中心市街地の空洞化など、秋田県が直面するさまざまな課題を見つめ、その動きを追います。そして、放送を通じて秋田県の未来に向けた提言を行い、公共放送として地域振興に貢献します。

○県民の信頼に応え緊急報道・選挙報道を強化

災害時など緊急報道にあたっては、県民の生命・財産を守るための的確な情報を迅速に提供するとともに、視聴者の防災意識の向上に寄与します。また、平成23年4月に予定される統一地方選挙をはじめ県内で予定されている選挙に万全の態勢で臨み、有権者の判断のよりどころとなる選挙の争点や地域の政治課題などをわかりやすく伝えます。

○地域放送番組への県民の支持をさらに拡大

平日午後6時台の「ニュースこまち」は、視聴者の高い支持に応え、地域のニュース・情報をより早く、より深く、よりわかりやすく伝えます。午前11時台の「ひるまえこまち」は暮らしをより楽しく豊かにする情報を提供します。金曜夜間の「あきた・よる金」は多彩なテーマで放送する地域特集番組として内容のさらなる充実を図ります。

○フルデジタル化を全力で推進

平成23年7月のアナログ放送終了までに、一日も早く秋田県の全ての世帯がデジタル放送への対応を完了するよう、普及促進に全力を尽くします。さらに、データ放送やインターネット、携帯端末などデジタルメディアでの情報提供を推進し、視聴者の利便性を高めます。

○“地域の放送局”としての存在感を強調

昭和7年2月26日に開局した秋田放送局は、平成24年2月に80周年の節目を迎えます。80年にわたり放送が地域で果たした役割を振り返り、市町村や地域の人々との結びつきをさらに深めていく番組やイベントを展開して、地域における存在感を強くアピールするとともに、より親しまれる放送局になることを目指します。

山形放送局・鶴岡支局

○“わたしたち、まるごと山形応援隊”を目指して

文化や産業など地域の“宝”を大切にし、視聴者が元気になる手助けになるような放送を目指します。山形弁などの言葉や地域に伝わる社会風俗や文化、農林漁業など山形県の基幹産業である一次産業を中心とした産業や暮らしを丹念に取材し、伝えるとともに全国に向け発信していきます。

○的確、迅速な災害・緊急報道と選挙報道

県民の安心・安全のために事件・事故などの緊急報道、地震・台風・大雪などの災害報道を迅速、的確にわかりやすく伝えます。山形県でも災害はいつ起こるかわかりません。初動態勢の備えを怠らず、視聴者への注意喚起につながるよう独自に取材制作した企画を随時放送して、県民の防災意識向上に寄与します。

平成23年4月に予定される統一地方選挙をはじめ、9月の山形市長選挙などの選挙報道については事前の準備から態勢を構築し、信頼される報道を行います。

○デジタルサービスの充実に向けて

平成23年7月に迫ったテレビ放送のフルデジタル化に向け、民放と共同で告知番組を制作、放送も増やし広報活動を強化します。

また接触者率向上に資するため“3-Screens”施策の充実を図ります。若年層をはじめ幅広い視聴者にNHKのコンテンツに接触してもらえるようインターネットや携帯サイト、ワンセグデータ放送のサービスに努めます。

山形放送局独自のホームページをさらに発展させます。番組の裏側を紹介するページの一層の充実を図り、山形弁の辞書ホームページなど放送と連動を図りながらさらなる接触者率向上をめざします。

○視聴者の期待と信頼に応えるニュース情報番組

平日午後6時台のニュース情報番組「やまがたニュースアイ」では、キャスターの一部変更やコーナーの見直しなど変えるべき点は変え、視聴者に信頼される情報、暮らしに関わる情報をビビッドに伝えていきます。

その他の時間帯のニュース情報番組も県民の知りたい情報を分かりやすく伝えます。

○視聴者に密着した地域情報番組

平日午前11時台の情報番組「やまもり！」については多くの視聴者にも参加してもらおうなどお昼前の時間に身近な情報とくつろぎをお届けします。

○地域を元気にする番組

山形弁だけで放送しているトーク番組「今夜はなまらナイト」は5年目に入り、多くの反響があります。新たなことにも挑戦しながら、テレビやラジオで随時放送します。

また、昨年開発した若者を対象に双方向性を目指す番組のさらなる充実を図ります。

○地域スポーツを応援

サッカーJ1昇格から3年目を迎える「モンテディオ山形」については「やまがたニュースアイ」で試合結果やサポーターの表情を毎週伝えるほか、試合中継をテレビやラジオで実施します。特にベガルタ仙台との試合は「みちのくダービー」として注目度が高く、詳しくお伝えします。

そのほかバレーボールプレミアリーグ「レッドウイングス」や高校野球、高校サッカーなど県民の関心が高いスポーツを中継やニュース情報番組で取り上げるなど、地域スポーツを応援し県民に感動を伝えます。

盛岡放送局

○岩手のチカラ 応援宣言！

“岩手のチカラ 応援宣言！”のスローガンを掲げた盛岡局の3か年計画の総決算として、広く岩手県の多彩な魅力を発信し、県民に誇りと活力を与える放送に取り組みます。

○公共放送への信頼に応える選挙・緊急報道

県知事選挙、県議会議員選挙など、平成23年4月に予定される統一地方選挙には万全の態勢で備え、争点や情勢を的確に伝えながら県民の信頼と期待に応える選挙報道を実施します。また、平成20年岩手・宮城内陸地震の経験を踏まえ、県民の生命・財産を守り被害を最小限に抑えるため、正確かつ迅速な災害・緊急報道に努めるとともに、夕方のニュース番組を軸に「災害」や「防災」をテーマとした企画にも通年的に取り組み、県民の防災意識向上に努めます。

○岩手文化の魅力とスポーツの活力を発信

岩手には全国に誇る文化資産が数多くあります。特に、平泉の文化遺産は、2度目の挑戦での世界遺産登録に期待が集まっています。実現すれば東北初の世界“文化”遺産となる、その魅力と価値を、斬新な演出による特集番組やニュース企画などで積極的に取り上げ、岩手文化の誇りを全国に向けて発信していきます。

また、今年は高校総体の開催やプロバスケットボールチームの誕生など、スポーツの話題が豊富です。平日午後6時台のニュース番組「おぼんですいわて」で新設するスポーツ・コーナーや、競技中継によって岩手のスポーツ界を応援し、視聴者に感動と活力を届けます。

○ニュース・情報番組はより身近に

平日午後6時台のニュース番組「おぼんですいわて」は、午前11時台の情報番組との連携を深めながら、より“親しみやすさ・わかりやすさ”にこだわった手法で“岩手の今”を的確に伝えていきます。

○岩手の課題に正面から向き合う放送

深刻な人口減少や地域経済の不振、大地震・津波の危険、気象災害と農林水産業、地域医療など、岩手県が抱える困難な問題と正面から向き合い、午後6時台のニュース企画や金曜夜間の大型番組を通して、課題の検証と打開に向けた行政や民間の取り組みを紹介し、視聴者目線で地域の未来を模索していきます。

○地上デジタル放送の普及をさらに推進

平成23年7月に迫ったテレビ放送のフルデジタル化に向けて、昨年度に引き続き、さまざまな施策を実施していきます。県内民放全社と共同で進めてきた周知広報活動、さらに広報イベントやミニ番組などでフルデジタル化を推進します。

○参加するテレビで身近な放送局に

3年目を迎えて高い人気を得ている「いわて みんなのうた」。今年は、楽曲の一般公募も交えながら幅広く作品を発掘・放送していきます。この他にも、ホームページと連動した投稿企画によって、身近な参加感の醸成に努めます。また、より番組に密着した広報展開にも取り組み、幅広い世代の接触者率向上を図ります。

福島放送局・郡山支局・いわき支局

○地域の課題に正面から取り組み、“放送局のちから”を發揮

全国有数の原発を抱える福島県。営業開始から40年を迎え、今後の高齢化への対応も行政に求められています。またTPP（環太平洋パートナーシップ協定）参加をめぐって日本の農業が揺れる中、耕作放棄地は4期連続で日本最大となりました。さらに、地域医療問題や雇用と景気の回復、増加に転じた交通死亡事故など、福島県が抱える課題は山積しています。

平成23年に開局70周年を迎えた福島放送局は、地域が直面する課題に正面から向き合います。問題をわかりやすく掘り下げて、平日午後6時台の「はまなかあいづ Today」や金曜夜間などさまざまな時間帯で伝えるほか、県内各地にある報道室の情報発信を強化して、身近なニュースや生活情報を充実させます。

また、ふるさとの隠れた魅力を再発見する視聴者参加番組など、70周年の年にふさわしい、“地域を元気にする放送”を展開します。

○ふるさとの人々の活動や営み、豊かな自然を全国発信

日本三大桜のひとつに数えられる、三春町の滝桜。全国各地に送られた3万本を超える苗木の行方をたどる大型特集番組をはじめ、美しい自然、各地に受け継がれる伝統の祭り、人々の豊かな暮らしなど、ふくしまの良さをさまざまな角度から取り上げ、全国に向けて積極的に発信します。

○“デジタルカ”でふくしまをパワーアップ！

平成23年7月の地上と衛星のテレビ放送のフルデジタル化に伴い、ハイビジョンの高画質やサラウンド音声などデジタルの魅力を最大限に生かしたコンテンツを制作します。さらにパソコンや携帯端末などさまざまなメディアへと展開します。また地域局としていち早くスーパーハイビジョンの制作に取り組み、秋には上映イベントを実施しデジタル技術の最先端を地域のみなさんに体験していただきます。このほか、1年を通して多彩なイベントを展開し、視聴者とのふれあいを深めてゆきます。

○視聴者目線の災害報道と、信頼される選挙報道に努める

近年頻発する豪雨や地震、大雪などの自然災害。福島県民の安心・安全を念頭に、正確で迅速な災害報道に努めます。また、原発での万が一の事故にも即応できる取材体制を整えます。そして、福島県議会議員選挙に加えて9つの首長選・22の市町村議選が予定される4月の統一地方選挙には万全の準備で臨み、信頼される選挙報道を目指します。

○地域のスポーツを応援

“陸上王国”として知られる福島県。なでしこリーグ3位を堅持する女子サッカー「マリーゼ」やJFL昇格が期待される社会人サッカー、さらにはアイスホッケー「フリーブレイズ」をはじめとする注目スポーツの数々を競技の中継やリポートで紹介し、地域スポーツの発展に貢献します。

青森放送局・弘前支局・八戸支局

○地域のための公共放送

青森放送局は平成23年4月17日に開局70周年を迎えます。弘前支局、八戸支局とともに、今後も公共放送として地域のために何ができるかを考え、地域の方々から信頼され、親しまれる放送局を目指します。

地域でさらに存在感のある放送局となるよう、NHKならではのきめ細かいサービスと全国へ向けた情報発信を強化します。

○暮らしの安全を守る報道

本州最北に位置し、三方を海に囲まれた青森県は、地震や大雨などに加えて豪雪や津波に対する警戒も必要です。県民の生命・財産を守り、人々が安心して暮らせるよう災害報道に万全を尽くします。

東通村の原子力発電所や、核燃料再処理工場をはじめとする六ヶ所村の原子力関連施設、米軍三沢基地や陸海空の自衛隊基地など、県内の重要施設の動向についても継続的に取材して確かな情報を伝えます。

4月の統一地方選挙に続いて6月には青森県知事選挙も行われる予定です。正確・迅速で公平・公正な選挙報道で県民の信頼に応えます。

○地域の魅力を全国発信

東北新幹線全線開業で新青森と東京が3時間余りで結ばれました。これを受けて、「青森ねぶた祭り」や「弘前城築城400年」などを全国に伝え、青森への関心を高めます。

青森県の豊かな自然や食材、多彩な伝統文化についても、それらを支える人々の姿も交え番組で広く紹介します。

○ニュース・情報番組の刷新と充実

平日午後6時台に放送している「あっぷるワイド」は、地域の方々からより親しまれるよう内容を刷新し、さらなる充実を図ります。

ニュースについては取材テーマだけでなく演出にもこだわってわかりやすさを追求します。また、番組をもっと身近に感じていただけるよう積極的に各市町村の話題を集め、地域の多彩な魅力を発信します。

○地域とともに70年

開局70周年にあわせ、放送を通じて地域を元気にするための“健康キャンペーン”を4月から展開するとともに、青森局の歩みを身近に感じてもらえるような番組を制作します。

地域の人々に喜んでもらえるような、放送と連動した70周年の記念イベントなども実施し、放送局としての存在感を高めます。

○ “フルデジタル時代” に合わせた地域放送

地上アナログ放送の終了を受け、これまで以上にマルチ編成を積極的に活用してスポーツ中継や青森県関連の番組を県域向けに独自編成し、地域サービスの充実に努めます。

災害報道にも、データ放送など新しいメディアの特性を生かし、防災に役立つ情報を伝えます。

○ 多様なサービスの展開

視聴者からの投稿写真を番組だけでなく青森局のホームページで紹介し、放送会館の公開に合わせて多様なイベントを実施するなど局内各部が連携して視聴者との関係を強化します。

地域番組と連動した新しいコンテンツの開発を図り、身近な話題や生活に役立つ情報をホームページにも掲載するなど、青森局のホームページをいっそう充実させます。若者の接触者率向上も意識して、携帯端末向けのサービスなどでも引き続き多様な取り組みを展開します。

平成23年度 北海道地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

長引く景気の低迷や公共事業の削減、農産物輸入自由化への動き、少子高齢化など、北海道を取り巻く状況は厳しさを増しています。こうした時代に、NHKは、北海道が直面する課題に正面から向き合い、未来への展望を示し、道民の“元気”につながるようなニュースや、多彩な番組を届けることで、視聴者の期待や、関心に応えていきます。

平成23年にはテレビのアナログ放送が終了し、テレビは“フルデジタル時代”を迎えます。デジタル放送への移行に全力で取り組むとともに、これから先の時代を見据えた放送事業を展開していきます。

北海道のNHKは“北海道はひとつ”の方針のもと、道内7つの放送局が緊密に連携し、豊かで質の高い地域サービスを行ってきました。平成23年度もこの取り組みを深化しつつ、時代の変化に対応し、より視聴者の期待に応える放送サービスを追求していきます。また、メディア環境が激変し、NHKに接触する人が低下する傾向にある中で、幅広い世代にNHKのコンテンツを見ていただく取り組みも引き続き強化していきます。

番組編成については平成22年度の大幅改定を進化させ、一部見直しを行います。平日の情報番組、ニュース番組については、番組の検証と内容の充実を進め、さらなる定着を図ります。金曜夜間の地域放送番組については、時間帯ごとのターゲットをより明確にしたうえで、編成時間の見直しや新番組の開発などを行うとともに、インターネットや携帯端末を有効に活用して視聴者層のさらなる拡大を図ります。

また、道内7つの放送局が共同して取り組む放送キャンペーン、イベントを年間を通して展開し、道内各地からの情報発信の強化に努めます。

23年度の地域放送番組の編集に当たっては、こうした考えを中心に、北海道の視聴者の期待に応えていきます。

《重点事項》

1. ニュース・報道番組の充実

- 地域放送の重要な柱であるニュース番組を、平日午後6時台を中心に、さらに充実させていきます。災害や緊急報道に即応できる体制を整備するのはもちろんのこと、道内7局のネットワークを生かし、地域の関心に応えられるきめ細かい情報を発信します。
- 北方領土やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への動き、中国資本の進出、人口減少など、北海道が抱えるさまざまな問題を正面から捉えて、課題を浮き彫りにし、解決策を提示していきます。ニュースや金曜夜7時台の報道番組などで重点的に取り上げるほか、時宜を捉えた特集番組や討論番組にも積極的に取り組み、地域の問題を視聴者とともに考えていきます。
- 4月に予定されている統一地方選挙や、各地で行われる首長選挙などの報道に当たっては、開票速報など関連放送の実施に万全を期します。

2. 幅広い視聴者層に向けた番組の充実

- 金曜夜間の地域放送番組については、夜7時台、8時台、10時台の3つの時間帯で、それぞれの視聴者層やターゲットを明確にしたうえで編成を再構築し、新番組の開発を行うとともに、継続番組については内容のブラッシュアップを図り、視聴者層の拡大を戦略的に進めます。
- 夜10時台には、音楽番組や若者向けのアウトドア番組、またインターネットサービスと連動する新たな地域情報番組などを編成し、若者を中心とする普段あまりNHKに接触しない視聴者層に向けてアピールしていきます。
- 道内で活躍するアーティスト・クリエイターや、高校生の作った映像作品に対して発表の場を提供する取り組みや、視聴者のアイデア・意見を積極的に取り入れた番組などを、年間を通じて展開します。市民とともに放送文化を創造し、人と人がつながる“公共の広場”としての放送局を目指します。

3. ニュース・番組を通じた、地域を元気にする取り組み

- 北海道のNHKは“北海道げんき宣言”を掲げ、北海道で活躍する人々や地域を活性化する取り組みを紹介する番組や、北海道の魅力を再発見する番組などを積極的に発信し、道民を元気にするような放送や、若者を応援するキャンペーンなどを展開します。実施にあたっては組織横断的な体制を構築するとともに、道内7局が一体となり、道内各地からの情報発信の強化に努めます。

4. “フルデジタル時代”における新たな放送サービスの提供

- 7月に迫ったテレビ放送のフルデジタル化に際しては、移行がスムーズに行われるように全力を挙げて取り組みます。またデジタル放送の特性を生かし、双方向サービスやマルチ編成、データ放送など、地上デジタル放送ならではのサービスを積極的に実施し、視聴者の利便性を高め、暮らしの安心・安全につながる情報を充実します。
- パソコンや携帯端末向けのサービスも強化します。公開ホームページは、より情報にアクセスしやすくリニューアルするとともに、コンテンツの充実を図ります。携帯端末のホームページも内容の充実につとめ、さまざまなツールでNHKに接触することが出来る機会を増やします。

5. 地域スポーツ情報の発信

- 斎藤佑樹投手の入団やユニフォームの一新など話題の多いプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」や、サッカーJ1昇格を目指す「コンサドーレ札幌」、またアイスホッケーやスキージャンプなど、視聴者の関心が高いスポーツについて、ニュースや中継で積極的に伝えます。

《各局の重点事項》

札幌放送局

- 道央圏は北海道の政治・経済などの中心的な役割を担っています。小樽・千歳・岩見沢・滝川の4つの報道室とのネットワークを生かして、道央圏の課題、行事、市民活動など、さまざまなニュース・情報をきめ細かく伝えていきます。
- 若者を対象とした公開番組「L I V E H」のいっそうの浸透や、北海道の若者を応援するキャンペーンイベントなどを通じて、若い世代との接触を増やしていきます。
- 7月中のテレビ放送のフルデジタル化に向けて、峠の気候や道路の通行止め情報、札幌市の除雪情報、JR・飛行機の空席情報など、道央圏の生活に密着した情報を、データ放送を通じて提供し、デジタル放送のいっそうの普及に努めます。

函館放送局

- 函館放送局は平成24年2月6日に開局80年を迎えます。地域とともに歩み、愛されてきた放送局として、ひき続き北海道新幹線や観光活性化など道南の課題や旬の話題を広く全道・全国に発信するとともに、80年の節目を飾る番組の放送を行います。
- 道内各局が連携し、番組展開やCS活動などを推進する「どさんこ広域プロジェクト」のキャンペーン活動などを通じて完全デジタル化へのスムーズな移行に努めます。また平成23年4月に予定される政権交代後初の統一地方選挙に万全を期すとともに、緊急報道体制の強化に全力で取り組みます。
- 函館市以外の道南各地の視聴者との結びつきを強めるため、単域ラジオ番組「どんと道南ラジオ」の出前公開収録・放送を積極的に行うほか、ニュース取材クルーによる管内巡回取材をこれまで以上に増やし、より多くの町の話の放送に努めます。

旭川放送局

- “北海道げんき宣言”のコンセプトの下、雄大な自然や風土、旭山動物園などの観光地、人々の暮らしなど道北各地の多彩な魅力を、番組やニュースを通して積極的に全道・全国に発信していきます。また、平日午前11時台の情報番組での身近な地域情報の発信、管内全市町村それぞれの元気な活動を紹介する「わが街のいちおし」の継続など、道北を元気にする拠点となるよう努めます。

- 管内47市町村が抱える人口減少や基幹産業である農業を取り巻く状況、雇用や医療などさまざまな課題について深く掘り下げていきます。さらに、災害や山岳遭難などの緊急報道、平成23年4月に予定される統一地方選挙などの選挙報道など、視聴者のニーズに素早く的確に応えるニュースと番組を放送します。
- 7月のテレビ放送のフルデジタル化に向けて、番組を通じて地域に積極的に情報を伝えます。デジタル放送ならではの特性を生かして、道北の自然や暮らしを題材にした見ごたえのある番組を制作します。

帯広放送局

- 帯広・羽田便に新たな航空会社が参入するほか、道東道が道央圏とつながるなど、十勝地方は“交通新時代”を迎えます。また、畑作での戸別所得補償制度のスタートやTPPをめぐる議論など、農業をとりまく環境も大きく変わろうとしています。こうした地域の課題や新たな動きをしっかりと見つめます。
- 地域向けの情報番組を更に充実します。地元の情報をもくろく細かく伝えることで、地域のみなさまにより親しまれる放送局をめざします。また、十勝の観光や、地域で頑張る若者の活動など、地域を元気にするキャンペーンを積極的に推進します。
- 地震や津波など、大規模な災害から生命・財産を守るため、緊急報道や防災の意識を高める報道に力を注ぎます。また、今年4月に行われる統一地方選挙をはじめ、正確かつ迅速な選挙報道に万全を期します。

釧路放送局

- 北方領土問題は、ロシアの実効支配が長期化して、元の島民の高齢化もいっそう進み、決して楽観できない局面が続いています。また、アジア太平洋地域で自由貿易圏をつくることを目指すTPPや深刻化する後継者不足などは、釧路・根室地方の基幹産業である漁業や酪農などに大きな影響を与えると考えられます。さらに、人口減少が深刻化しているうえ、釧路市では、20人に1人が生活保護を受けるなど、地域に住む人たちの生活も厳しい状況にあるうえ、医師不足も進んで健康の面での不安も増大しています。NHKの柱の一つである災害報道への備えを充実させるとともに、これらの地域の問題に正面から向き合って、取材・放送します。
- 7月のテレビ放送のフルデジタル化に向け、データ放送の充実をはかります。平成23年4月に予定される統一地方選挙の取材・放送に万全を期すとともに、地域の人気スポーツ・アイスホッケーの生中継、平日午前11時台の情報番組での身近な地域情報の発信などを通して、釧路・根室を元気にする取り組みもさらに進めます。
- 釧路・根室地方には、世界自然遺産の知床をはじめ3か所の国立公園があるほか、水

鳥の保護を目的に40年前に制定されたラムサール条約に6か所が登録されるなど日本が世界に誇る自然が数多く残されています。こうした雄大な自然や地域に根ざす人々の姿などをさまざまな番組・ニュースを通じて、全道・全国に積極的に発信します。

北見放送局

- オホーツク地域の“魅力や元気”を全道・全国に向けて発信します。特に、保護と利用の両立を目指す世界遺産・知床の取り組みや、温暖化が原因で減少していると見られているオホーツク海の流氷、オリンピック選手を輩出しているカーリング、生産量日本一のタマネギなど、この地域独特の資源や文化を積極的に紹介し、地域の発展に貢献します。
- 低迷の続く地域経済、人口減少問題、医師不足や医療格差の問題など、地域の抱える課題に真正面から取り組みます。災害・緊急報道に万全を期すほか、平成23年4月に予定される統一地方選挙では、地域が抱える政策課題について掘り下げて伝え、正確で迅速な選挙報道を行います。
- テレビ放送のフルデジタル化に向け、平日午前11時台の情報番組で、デジタル放送に関するさまざまな情報を提供するほか、公開番組やイベントと連動し、デジタル放送の普及促進に努めます。

室蘭放送局

- 胆振・日高地方の商工・観光や農・畜産、水産業などが抱える課題や新たな取り組み、独自の歴史や伝統文化、環境に関するタイムリーな話題を適宜道内外に向けて発信し、再生や活性化、発展に貢献する放送局を目指します。室蘭単域放送で、ある地域を重点的に取り上げる“地域スペシャル”と、札幌局と共同で行う全道放送での発信を連携させるなど、効果的な情報発信に努めます。
- 平成23年4月に予定され、地方自治の今後に大きく関わる室蘭市長選挙などの統一地方選挙取材に取り組み、正確・迅速な報道で視聴者の期待と信頼に応えます。また、地震や津波、有珠山と樽前山の2つの活火山を抱える管内の緊急報道体制の強化に努めるとともに、増加傾向にある山岳遭難や交通・海難事故、豪雨災害などへの防災意識向上に力を注ぎます。
- 公開番組やイベントを通じて、視聴者との直接的な結びつきをより深めるとともに、管内18の市や町の多彩な魅力を広く紹介するスポットやミニ番組を新たに制作します。また、視聴者が放送に参加出来る機会を増やし、満足度の向上と親近感の醸成を図りつつ、衛星放送を軸に据えたデジタル放送の普及促進と受信料の公平負担徹底を目指します。

平成23年度 四国地方向け地域放送番組編集計画

《基本方針》

四国のNHKは、四国を舞台にした全国ドラマが相次いで放送されるのを契機に、地域で生きる人たちや自然・文化の魅力を再発見する「ドラマチック！四国」キャンペーンを展開し、元気と感動を伝えてきました。

平成23年度は、さらにその取り組みを発展させます。

その中心となるのが、“四国の底力”キャンペーンです。四国各地には個性豊かな文化や産業、自然など、さまざまな分野で、まだ知られていない地域の宝がたくさん残されています。その貴重な宝を掘り起こし、価値を見つめ直すことで、地域の活性化につなげます。金曜夜の四国向け地域番組では、愛媛・高知・徳島・香川の4県の代表がテーマごとにふるさとの自慢を持ち寄り競い合う73分の番組を新設します。また、関連番組のほか、ホームページでもキャンペーンを展開し、ふるさとの底力を視聴者のみなさんといっしょに再発見していきます。

公共放送の使命として、生活の安全・安心への関心に積極的に応えます。緊急報道や災害報道はもちろん、四国で急速に進む過疎と少子・高齢化、地域経済の低迷、農林水産業や地場産業の衰退、地域主権のあり方など、四国が直面するさまざまな課題を多角的に掘り下げ、わかりやすく伝えるほか、四国の将来を視聴者のみなさんといっしょに考えていきます。

そして平成23年度は、テレビ放送のフルデジタル化を迎え、放送にとって大きな節目の年になります。また、接触者率と受信料支払い率の向上を大きな目標に掲げた「平成21～23年度 経営計画」の最終年度でもあります。地域放送番組においても、インターネットや携帯端末などの“3-Screens”を活用した双方向番組の充実を図るとともに、さまざまなメディアを通じて四国のみなさんの暮らしに役立つ情報をお届けします。

四国のNHKは、視聴者のみなさんに信頼され、親しまれる放送局として、地域との“きずな”をさらに深めていきます。

《重点事項》

1. “地域の底力”を発信する大型番組の新設

平成23年度は“地域の底力”を重点に放送を展開します。金曜夜の四国向け地域番組では73分の番組を新設します。四国4県の代表がそれぞれの地域の宝といえる“ふるさと自慢”を持ち寄り、楽しく競い合いながら、ふるさとの魅力を再発見します。また、関連番組をはじめ、ホームページでも自慢のふるさと情報を掲載し、四国全体を盛り上げていきます。四国の人や文化、自然のすばらしさを見つめ、ふるさとの誇りを伝える番組も、よりいっそう充実させます。

2. 四国の“いま”を伝え、“これから”を考えるニュース・情報番組

長引く地域経済の低迷や、過疎・高齢化問題、そして高速道路無料化など四国が抱える課題は山積しています。また、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）など四国の農業や産業の今後を問う課題も出ています。

金曜夜の報道番組では、四国各地で起きている問題に真正面から取り組み、四国の“いま”と“これから”を伝えます。また、地域の課題を議論する視聴者参加の双方向番組を刷新し、視聴者のみなさんのさまざまな意見や声をもとに、課題解決への糸口となる番組を積極的に放送していきます。

3. 防災・減災に向けた緊急報道の強化

四国に配備した取材用ヘリコプターを活用して、事件・事故、災害など緊急報道の初動態勢と機動力を高めます。南海地震、台風をはじめ、被害が局地化する集中豪雨などの自然災害から四国のみなさんの生命・財産を守るため、きめ細やかで、正確な情報を伝えます。また、地域の防災力を高める番組や情報を提供することで四国に暮らす人々の安心と安全確保に努めます。

4. 公正・公平で的確な選挙報道

平成23年4月に予定される統一地方選挙では、徳島県知事選挙を始め、首長選挙、議会議員選挙などがあります。秋には高知県知事選挙も予定されています。今後の地方行政を決める重要な選挙では有権者の判断のよりどころとなるように、公正・公平で的確な情報提供に努め、正確・迅速な選挙放送に万全を期します。

5. 3-Screens コンテンツの充実

テレビやラジオだけでなく、インターネットや携帯端末など、“3-Screens”で暮らしに役立つ情報を提供します。ホームページでは、地域放送番組と連動したコンテンツを充実させるほか、データ放送では、情報の充

実とともに使いやすさを追求し、欲しい情報がすぐわかるように改善をはかります。新しい技術を取り入れながら、それぞれの端末の特性を生かした魅力あるコンテンツをつくり、“いつでも、どこでも、もっと身近に”情報を得ることが出来るサービスの充実に努めます。

6. フルデジタルの魅力を生かした番組づくり

平成23年7月24日のフルデジタル化を控え、放送やホームページなど多様なメディアを活用して普及促進を図り、デジタル化への円滑な移行に取り組めます。また、視聴者参加の双方向番組や生活に役立つデータ放送の充実のほか、マルチ編成による複数番組の放送など、デジタル放送ならではの魅力ある地域番組の制作に挑戦していきます。

《各局の重点事項》

松山放送局

- 平日午後6時10分からのニュース情報番組では、日々の出来事を多角的に取材し、愛媛の“いま”と“これから”を追いつけます。また、毎日、特に関心の高い出来事については、生活者の視点から徹底的に掘り下げ、わかりやすく伝えます。さらに、23年度からは、県内の市や町を訪ね、そのまちが誇る自然や人物、産業などを“えひめイチバン！”として取り上げ、地域の活性化につなげます。また、愛媛県では昨年秋に、新しい県知事と松山市長が誕生しました。暮らしに密接にかかわる地方行政の動向をみつめ、人口減少による地域社会の崩壊、医療体制の危機、農林水産業の後継者不足や地場産業のアジア輸出戦略、きびしさを増す雇用情勢など、地域の将来を考えていきます。
- 俳句の盛んな愛媛ならではの多彩な番組を放送します。「俳句王国」は平成23年度から教育テレビで放送します。恋愛、子育て、介護など若い人たちにより身近なテーマで、幅広い世代に親しんでいただける番組を目指します。また、国際放送（NHKワールドプレミアム）でも放送し、俳句文化を世界にも発信します。ラジオでは、季語にとらわれない、新たな“5・7・5”のスタイルの作品を楽しむ番組を放送します。ツイッター、ホームページ、携帯端末から作品を募集し、幅広い年齢の人たちに参加していただきます。
- スペシャルドラマ「坂の上の雲」は12月に第3部が放送されます。ドラマとともに楽しんでいただく関連番組を放送します。正岡子規の遺志を継ぐ2人の愛弟子の軌跡や日露戦争の日本海海戦の実像を新史料を基に描きます。ニュースや情報番組でも「坂の上の雲」に関連した情報を取り上げます。ドラマの主人公を生み育てた愛媛県の魅力を全国に発信し、視聴者のみなさんの期待と関心に応えます。
- 台風や局地的な集中豪雨、地震などの自然災害に備え、防災・減災につながる情報を、ニュースや番組でお伝えします。また災害発生時には、正確な情報をテレビ・ラジオだけでなく、データ放送やインターネットも活用して伝え、愛媛県民の生命・財産を守ります。
- サッカーのイタリア1部リーグの長友佑都選手や、ゴルフの松山英樹選手など、郷土出身のスポーツ選手の活躍に期待と注目が集まっています。国際舞台で活躍する選手をはじめ、高校野球やサッカーJ2「愛媛FC」、プロ野球独立リーグ「愛媛マンダリンパイレーツ」などのスポーツ情報や試合をニュースや中継で幅広く紹介し、地域スポーツを積極的に応援します。

○23年7月24日のフルデジタル化に向けて地元民放各局やデジサポ愛媛と連携し、放送やイベントを通じて集中的にお知らせすることで円滑な移行に取り組みます。また、デジタルの特性を生かし、地域番組でも臨場感あふれるスポーツ中継や自然の豊かさを満喫できる番組などを制作します。また、データ放送ではニュース・気象情報や高速道路情報など暮らしに役立つコンテンツの充実に努めます。

高知放送局

- 大河ドラマ「龍馬伝」と連動して展開した関連番組・イベント・ホームページの取り組みが掘り起こした、県民の郷土に対する関心と自信をさらに促し、その熱気と元気を将来へとつないでいくことに取り組みます。平成22年度に培ったノウハウを生かして、多様で魅力的な企画、創意工夫と深い取材、ていねいで分かりやすい構成の放送をめざします。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙に加え、秋には高知県知事選挙・高知市長選挙が予定されています。争点を明らかにしつつ、公正・公平な立場できめ細かい取材を行い、正確・迅速な報道で地域の視聴者の信頼にこたえていきます。
- 台風、局地的豪雨、酷暑や寒波の襲来などの気象災害に対して、視聴者に正確・迅速に情報を伝えるための緊急報道体制を万全なものとし、IP通信やCATVとの連携、視聴者からの情報など各種のネットワークを活用して県内各地の状況をいち早く伝えます。さらに、今世紀前半にも発生すると予想される南海地震への備えとして、地震とそれにともなう津波の知識や防災に役立つ放送を繰り返していきます。
- 平成23年度に開局80周年を迎えるにあたり、あらためて放送局が地域の暮らしとどのようにかかわってきたのかを検証し、高知県が抱える人口減少・高齢化・衰退していく地域社会などの問題について、県民と情報を共有し、克服するための糸口を見出す試みを全局をあげて展開していきます。また、そうした問題にいち早く直面した先進県として全国へ発信していきます。一方で歴史・文化・自然や高知ならではの個性的な“食”など、地域資源の魅力をアピールする企画・番組を積極的に制作し、地域を元気にする拠点となります。
- フルデジタル時代の幕開けにあたり、地域番組やイベントを通して地上・衛星のデジタル放送があまねく普及するよう取り組むとともに、映像の鮮明さや情報量の豊富さなどデジタル放送のメリットを視聴者が実感できる番組の制作やデータ放送の充実を図ります。
- 若い世代の関心を呼び起こし接触者率の向上につなげていくために、デジタルコンテンツの充実を推進します。恒例のスポーツイベントや「よさこい祭り」、気象や災害・選挙に関する情報のほか、番組やイベント情報などの発信についても、より親しまれる放送局を目指してホームページ・携帯サイト・データ放送において、それぞれのメディアの特性を生かした継続的なサービスを実施します。

徳島放送局

- 平成22年度までの「がんばれ！徳島」キャンペーンの精神を継続発展させ、平成23年度は、「幸せ、みつけた」キャンペーンを行い、“徳島を元気にする拠点”を目指します。より前向きに、地域のすばらしさを再発見し、地域で暮らすことの幸せを放送で伝えていきます。徳島に根ざした暮らしや、未来に伝えたい自然や文化の豊かさなどを、視聴者の方々からの双方向の情報も生かして、発信していきます。
- 過疎化、少子・高齢化、経済対策などの地域の課題にも、随時、集中的な取材と放送を行っていきます。解決の方向性を示す情報発信に正面から取り組みます。徳島県にとって、平成23年度の大きなテーマのひとつが、“関西広域連合”です。新しい地方自治の試みと徳島活性化の可能性について伝えます。また、“糖尿病”“高齢者交通事故死”“地場産業のLED”などのテーマについても、放送していきます。第一次産業の産地情報や企業情報の発信にも取り組みます。
- 緊急災害報道については、公共放送の最大の使命として、平成23年度も力を入れていきます。特に東南海・南海地震について、日ごろから防災情報を発信していくとともに、万一の時のために、万全の放送準備と訓練を行っていきます。また、気象災害や事件・事故の発生時には、正確な情報をいち早く提供するとともに、ホームページやデータ放送などで、きめ細かな情報を伝えていきます。
- 若い世代の視聴者のニーズに応え、若者を応援する放送を行います。就職問題をはじめ、若者に切実なテーマを、ニュース企画や番組で取り上げます。未来をひらこうとする若者の活動もこれまで以上に紹介します。また、若者が楽しめる番組作りに取り組みます。平日午後5時台の地域音楽番組を継続するほか、イベント、ホームページでも、若者に向けた企画やコンテンツに取り組んでいきます。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙や、徳島市などの首長選挙、議員選挙では、万全の準備、体制で臨み、有権者の判断のよりどころとなる情報を公正かつ、正確・迅速に伝えます。
- 今年7月には、テレビのアナログ放送が終了し、テレビ放送はフルデジタル化されます。視聴者への周知にいっそう力を入れ、フルデジタル化を円滑に進めるとともに、デジタルの特色を生かした高品質の番組やデータ放送の充実をいっそうはかっています。
- ホームページの充実を引き続き力を入れ、徳島を舞台にした連続テレビ小説の後日談「ウェルかめスピンオフ小説」を長期に継続するほか、平成23年度は「幸せ、みつけた」キャンペーンの放送と連動したコンテンツを新たに展開します。また、徳島の課題を重点取材したシリーズ企画や特集番組の関連コンテンツも掲載していきます。

高松放送局

- 急激な円高などにより、地方経済の厳しい状況が続く中、県内の人口が30年ぶりに100万人を割り少子高齢化が進んでいます。また、事故発生件数や校内暴力事件が人口比ワースト1など地域社会でもさまざまな課題が浮上しています。こうした世の中の動きに対応し、ニュースや地域報道番組などで継続的な取材や検証を行い、問題の解決策を考えていきます。
- 今年は春に上海との間に定期的なチャーター路線が運航開始になり、8月には「瀬戸内国際子ども映画祭2011」、11月には「第11回アジア太平洋盆栽水石世界大会」が開催されるなど、国際的な動きが続きます。県内観光客が減少する中、国際化や観光活性化などの視点も含めて、地域活性化につながる新たな動きや課題をきめ細かく伝えます。また、金曜午後8時台の番組については、放送だけでなく、さまざまなメディアを駆使し、地域の課題について、町に住む若い世代の人々と一緒に解決策をさぐる新しいタイプの番組を放送します。また、豊かな自然や文化、人々の暮らしなどを発掘・再発見し、地域の魅力を多彩な手法でたっぷり伝えます。
- 平成23年4月に予定される統一地方選挙において、香川県でも県議会選挙をはじめ高松市と東かがわ市の市長選挙、直島町長選挙、また8つの市町の議会議員選挙が行われます。選挙報道に当たっては万全の準備を行い、有権者の選択に役立つ正確・迅速な放送に努めます。
- 年間を通して防災関連の企画や番組を放送し、防災意識の向上につながるきめ細かな情報を継続して提供します。災害や、事件・事故の発生時には、正確な情報を迅速に伝え、さまざまなメディアを使って生活情報など、いのちと暮らしを守る情報を的確に提供します。また、そのために日頃から定期的な訓練を行い、高松配備のヘリコプターも有効活用し、緊急・災害報道に万全を尽くします。
- サッカーの「カマタマーレ讃岐」は目標のJFL入りを達成、野球の「香川オリーブガイナズ」は独立リーグの全国チャンピオンになるなど地域スポーツが盛り上がっています。プロアマ問わず香川の地域スポーツを積極的に取材し、注目のスポーツを中心に試合を中継するなど、地域スポーツの発展に貢献します。
- 地域の人々が求めるイベント、地域を盛り上げるイベント、福祉や文化の向上に貢献するイベントなどを実施し、幅広い世代の人々にとって身近で親しみのある放送局を目指し、地域活性化と文化発信に貢献します。
- テレビ放送のフルデジタル化に向け、視聴者に最新の情報を提供し、デジタル放送の完全普及に努めます。また、番組との連動を軸に、ホームページ・携帯サイト・データ放送・ワンセグデータ放送などを駆使し、幅広い視聴者層が“いつでも、どこでも、もっと身近に”NHKに接することができるようにデジタルメディアのマルチ展開を強化します。

平成23年度

各地方向け地域放送番組編成計画

目 次

I. 各ブロックの編成

①北海道ブロック	1
②東北ブロック	5
③関東甲信越ブロック	9
④中部ブロック	13
⑤近畿ブロック	17
⑥中国ブロック	21
⑦四国ブロック	25
⑧九州・沖縄ブロック	29
⑨ニュース・気象情報・お知らせ等(ラジオ第1・FM)	35
⑩交通情報等の自主編成(ラジオ第1)	36

II. 地域発全国発信番組

.....	37
-------	----

III. 放送を基軸とする多様なメディアによるサービス

.....	38
-------	----

IV. 地域放送時間

①地域放送時間(ブロック毎の1日平均)	39
②各局地域放送時間一覧(1日平均)	40

I. 各ブロックの編成

①北海道ブロック

〈編成のポイント〉

北海道のNHKは、道内7つの放送局が緊密に連携し、視聴者の関心に応える質の高い放送サービスを行う。地域を活性化する取り組みや、地域で活躍する人を取り上げ、魅力あふれる北海道を全道、全国に積極的に発信する。

- 金曜夜間の地域放送番組について、夜7時台、8時台、10時台の3つの時間帯ごとにターゲットを明確にした番組を編成する。夜10時台は、若者をターゲットにした北海道発音楽番組、アウトドア番組、またインターネットやデータ放送と連動する情報番組などを放送し、若い視聴者層の獲得を目指す。
- 平日午後6時台は、道内7局のネットワークを生かし、地域のニュースや話題、生活情報をわかりやすく伝える。
- プロ野球やJリーグなど、地域の関心が高いプロスポーツについてニュースや中継で積極的に伝える。また、アイスホッケーやスキージャンプなど、北海道ならではのウインタースポーツの情報も取り上げ、地域スポーツを応援する。
- ホームページをリニューアルし、金曜夜間の番組を中心に、放送予定や番組に関連する付加価値の高い情報を充実させる。データ放送では、引き続き暮らしの安心、安全情報を伝えるとともに、番組連動を積極的に行い、地上デジタル放送の特性を存分に生かす。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「北海道クローズアップ」

〈北海道ブロック〉 後 7:30～ 7:55

「北海道中ひざくりげ」

〈北海道ブロック〉 後 7:30～ 7:58(原則 第4週)

道内各地をくまなく旅し、そこに生きる人々と地域の魅力を再発見する紀行番組。放送開始から25年目を迎える平成23年度は、これまでの放送を振り返り、特別番組を放送する。データ放送では、番組の進行に合わせて、問い合わせ情報や注目スポットの細かな情報を伝えていく。

「北スペシャル」

〈北海道ブロック〉 後8:00～8:45(7:30～の場合あり)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「ネットワークニュース北海道」

〈北海道ブロック〉 後 6:10～ 7:00

※午後5時台は、「ゆうどきネットワーク」を放送

〈その他の時間帯の新設番組〉

「ほっかいどう穴場ハンター」

〈北海道ブロック〉〔総合〕(金) 後10:00～10:24(年10本程度)

パソコン・携帯端末の番組サイトや「ツイッター」と連動し、北海道の知られていない“穴場”を視聴者からの投稿をもとに発見していく生放送のバラエティー番組。

「ネイチャリング北海道」

〈北海道ブロック〉〔総合〕(金) 後10:00～10:24(年10本程度)

若い女性をターゲットに、週末に気軽に楽しめるアウトドアを紹介するとともに、四季折々の身近な自然を描くフレッシュな番組。

「Small Trip」

〈北海道ブロック〉〔総合〕(金) 後10:00～10:24(年 3本程度)

“大人の女性の一人旅”を一眼レフデジタルカメラの動画機能を使用し、独特の映像美でつづる番組。

「つながるラジオ！とかち」

〈帯広単〉 [ラジオ第1](木) 後 2:00～ 3:00(年10本程度)

十勝地方の各地の話題を伝える情報番組。十勝で活躍する人物をゲストに招き、話を聞くのを中心に、地域のイベントやお知らせの紹介などを盛り込む。帯広放送局の放送開始75周年関連番組。

〔北海道ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								前4
5 56 59		<北海道ブロック>				<北海道ブロック>		55 5
6 25 30 55		<北海道ブロック>					<北海道ブロック>	10 15 6 55
7 45		<北海道ブロック>				<北海道ブロック>	<北海道ブロック>	30 40 7 45
8							<北海道ブロック> 北海道クローズアップ (再) / 北海道中ひざくり げ(再)	8 25
9								9
10						<北海道ブロック> この街きり☆ほか		05 10 30
05 11 30 45 57		<北海道ブロック> つながる@きたカフェ					<北海道ブ>ミニ番組	15 20 11 57
後		<北海道ブロック>※函館・旭川・帯広・釧路・北見は単域				<北海道ブロック>		10 15 0
0 15 20		<北海道ブロック>				<北海道ブロック>		10 15 0
1							<北海道ブ>世界 ふれあい街歩き(再)	05 1 50
2								2
07 3 12		<北海道ブロック>						3
4 50								4
55 ネット ワーク 5 05 54 57		ニュース(全国)						5
10 6		<北海道ブロック> ネットワークニュース北海道					後6:53~6:55 気象情報(全国)は脱	6 45
52 54		気象情報(全国)は脱 ※6:45~6:50、6:53~6:56<各局単>				<北海道ブロック>		6 45
7 30 55						<北海道ブロック> 北海道クローズアップ 北海道中ひざくりげ(原則第4週)		7
8 45						<北海道ブロック> 北スペシャル		8
9		<北海道ブロック>				<北海道ブロック>		55
10 50 55						<北海道ブロック> ★穴場ハンター/★Small Trip/★イチャリ グ北海道/INFO H/アナプロほか	<北海道ブロック>	47 10 50 52 55
11		<北海道ブロック>				<北海道ブロック>		11
深夜								深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日	

②東北ブロック

〈編成のポイント〉

東北の各放送局は、地域の特性とニーズに合わせた番組のいっそうの充実に努める。平日午後6時台や金曜夜間を中心に、視聴者の暮らしに役立つ“情報”と暮らしを豊かにする“感動”を届ける多彩な番組を編成する。

- “地域放送の重点ゾーン”である金曜夜間では、東北地方の課題に向き合い、地域を元気にする番組を放送し、多様な価値観やニーズに応えていく。また、新しい発想による番組開発にも挑戦する。
- 平日午後6時台は、経済・医療・福祉、食・環境など、地域が直面する課題についてわかりやすく伝える。災害報道や緊急報道に万全を尽くし、防災や減災意識の向上に役立つ放送を継続的に行う。
- 平日午前11時台の地域情報番組は、東北地方向けの放送時間を15分拡大する。視聴者が参加するコーナーや生放送の特性を生かした双方向のコーナーなどを増やし、充実を図る。各県向けには、それぞれの地域に密着した情報を発信する。
- 音声波では、FMで土曜夕方に東北地方向けの音楽番組を新設する。ラジオ第1の「民謡をどうぞ」は放送時間を25分に拡大し、FMでも同時放送をする。
- 今年度、開局80年の秋田局、開局70年の福島局、青森局では、記念番組やイベントなど多彩な記念事業を通して視聴者との結びつきを強める。
- プロ野球やサッカーJリーグ、プロバスケットボールbjリーグなど関心が高いスポーツを積極的に取り上げる。高校野球をはじめとするアマチュアスポーツの魅力もていねいに紹介する。
- 7月のテレビ放送のフルデジタル化に向けて、アナログ放送終了の告知やデジタル放送受信のための情報周知に努めるほか、データ放送やインターネット、携帯端末などの特性を生かした情報を発信することで、地域の人々の役に立つサービスを展開する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「クローズアップ東北」

＜東北ブロック＞ 後 7:30～ 7:55

「東北Z」(改題)

＜東北ブロック＞ 後 8:00～ 8:45

東北各地の豊かな自然や文化、そこに暮らす人々の姿を描く番組など、家族でくつろぐ時間にふさわしい番組枠。

旅人が地域の人たちとの触れ合いを求めて各地を訪れる新しいスタイルの番組をシリーズで放送する。

暮らしを支える手仕事を東北各地に訪ねるシリーズ「ここに技あり」を継続し、東北各地の技をさらに幅広く発掘し、職人たちのひたむきな仕事ぶりを紹介する。

TPP(環太平洋パートナーシップ協定)への日本の参加が焦点となる中で、とりわけ大きな影響を受ける農業をはじめ、地域の経済・産業はどこへ向かうのか、東北の将来像を考えるスペシャル番組を年間数本制作する。

「あきた・よる金」

＜秋田単＞ 後 7:30～ 7:55(年3本程度)
後 8:00～ 8:45(年3本程度)
後 7:30～ 8:45(年2本程度)

「ディスカバーやまがた」	<山形単>	後 7:30～ 7:55(随時)
「やまがたスペシャル」	<山形単>	後 8:00～ 8:45(年5本程度)
「今夜はなまらナイト」	<山形単>	後 7:30～ 8:45(年2本程度)

「フロントライン」	<盛岡単>	後 7:30～ 8:30(年2本程度)
「岩手発 ドキュメント13min」	<盛岡単>	後 8:30～ 8:43(年3本程度)
「いわてんぼスペシャル」(枠拡大)	<盛岡単>	後 7:30～ 8:45(随時)

岩手の人と暮らしのゆったりとしたリズム＝「いわてんぼ」。地域の人々のさりげない生き方の中にある、本当の豊かさや幸福のヒントを見つめていく番組。22年度より放送時間を拡大して放送する。

「クローズアップふくしま」	<福島単>	後 7:30～ 7:55(随時)
「ふくしまスペシャル」	<福島単>	後 7:30～ 8:45(年数本程度)
「主役は福島！みんなのテレビ」	<福島単>	後 7:30～ 8:45(年5本程度)

「お国ことばで川柳 なもあんだも」	<青森単>	後 7:30～ 7:55(毎月第1週)
「クローズアップあおもり」	<青森単>	後 7:30～ 7:55(年5本程度)
「青森スペシャル」(改題)	<青森単>	後 8:00～ 8:45(年4本程度)

青森県の豊かな自然や食材、多彩な伝統文化を再発見する番組や、弘前城築城400年、青森放送局開局70周年に関連した番組を放送する。

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「てれまさむね」	<仙台単>	後 6:10～ 7:00
「ニュースこまち」	<秋田単>	後 6:10～ 7:00
		(6:52～6:54は気象情報(全国)受け)
「やまがたニュースアイ」	<山形単>	後 6:10～ 7:00
		(6:52～6:54は気象情報(全国)受け)
「おぼんですいわて」	<盛岡単>	後 6:10～ 7:00
「はまなかあいづ Today」	<福島単>	後 6:10～ 7:00
		(6:52～6:54は気象情報(全国)受け)
「あっぷるワイド」	<青森単>	後 6:10～ 7:00

※午後5時台は、「ゆうどきネットワーク」を放送

〈その他の時間帯の新設番組〉

「サバトセーラ東北」 <東北ブロック> [FM](土) 後 6:00～ 6:50(月3～4本)
音楽を愛する東北のリスナーのためのポピュラーミュージック番組。「サバトセーラ」は、イタリア語で“土曜日の夕方”を意味する。東北ゆかりのコメンテーターが週替わりで新譜やミュージシャンのインタビューを紹介する。フォーク、ロック、ジャズなどのジャンル別特集を組み、さまざまな音楽ファンの期待に応える番組を目指す。

「NHKが伝えた青森」 <青森単> [総合] 土日午後など(年10本程度)
青森放送局開局70年にあたり、青森県を題材にしたアーカイブス番組を放送する。マルチ編成を活用してデジタル放送の魅力を視聴者に伝えていくことも検討する。

〔東北ブロック〕
〔総合テレビ〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4							前4:20-4:30	前4
5:55	〈東北ブロック〉						ふたん普の風象〈東北ブロック〉	5:55
6:25	〈東北ブロック〉						〈東北ブロック〉	10
30	〈各局単〉						〈東北ブロック〉	15
55	〈各局単〉 ※7:50.30~7:58〈東北ブロック〉						〈各局単〉	55
7:45	〈各局単〉						〈東北ブロック〉 ウィークエンド東北	30 40 7 45
8								8
9								9
10							〈東北ブロック〉 クローズアップ東北(再)	05
							〈東北ブロック〉 東北Z(再)	30
05	〈東北ブロック〉情報パレット						〈東北フ〉ミニ番組	15
11	〈仙台〉「情報パレット」 〈秋田〉「ひるまえこまち」 〈山形〉「やませり!」 〈盛岡〉「ひるっこいわて」 〈福島〉「ふくみみ」 〈青森〉「情報ランチ」 ※前11:54~11:57 気象情報(全国)						〈各局単〉	20
45								57
後	〈各局単〉						〈各局単〉	10
0:15	〈各局単〉						後0:40-0:45	後
20							〈盛岡単〉いわてみんなのうた	15
1								0
2								1
07	〈東北ブロック〉						(土日午後) 〈東北ブロック〉プロ野球中継~楽天戦 (年3本程度)	3
3:12							〈仙台単〉Jリーグベガルタ戦(年5本程度) bjリーグ仙台89ERS戦(年3本程度)	4
450	ニュース(全国)						〈秋田単〉bjリーグ秋田ノーザンハビネッツ戦 (年1本程度)	4
55	〈東北ブロック〉						〈山形単〉Jリーグモンテディオ山形戦 (年3本程度)	5
05	〈東北ブロック〉						〈福島単〉なでしこリーグマリーゼ戦(年2本程度)	5
54	〈東北ブロック〉						★青森単★NHKが伝えた青森(年10本程度)	5
57	〈東北ブロック〉							5
10	〈仙台〉「てれまさむね」 〈秋田〉「ニュースこまち」 〈山形〉「やまがたニュースアイ」 〈盛岡〉「おぼんですいわて」 〈福島〉「はまなかあいつ Today」 〈青森〉「あつぷるワイド」							6
6	気象情報(全国) ※仙台・盛岡・青森は脱						〈各局単〉	45
52								6
54								6
30	〈秋田単〉あきた・よる金(後7:30~7:55)(年3本程度) (後7:30-8:45)(年2本程度)						〈各局単〉	7
7	〈山形単〉ディスカバーやまがた(随時)						〈東北ブロック〉 クローズアップ東北	7
55	今夜はなまらナイト(後7:30-8:45)(年2本程度)						〈各局単〉	7
	〈盛岡単〉フロントライン(後7:30-8:30)(年3本程度)						〈東北ブロック〉 東北Z(改題)	8
	いわてんぼスペシャル(後7:30-8:45)						〈各局単〉	8
	〈福島単〉クローズアップふくしま(随時)						〈各局単〉	8
	ふくしまスペシャル(後7:30-8:45)(随時)						〈各局単〉	8
	〈青森単〉お国言葉で川柳 なもあんだも(年10本程度)						〈各局単〉	8
	クローズアップあおもり(年5本程度)						〈各局単〉	8
8	〈各局単〉						〈各局単〉	55
45								8
9	後10:45-10:50							9
10	〈盛岡単〉 いわてみんなのうた						後10:52-10:55	47
40	〈東北ブロック〉						〈東北ブロック〉	50
55								10
11								25
11								11
深夜							前1:20-2:05 〈東北ブロック〉 東北Z(再)	深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日
					後7:55-8:00	前9:20-9:25	前8:55-9:00
					〈盛岡単〉 いわてみんなのうた	〈盛岡単〉 いわてみんなのうた	〈盛岡単〉 いわてみんなのうた

〔東北ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前 7:58	前7:40~8:00 〈東北ブロック〉東北ラジオあさいちばん							午前
午後	後0:30~0:55(R1-FM) 〈東北ブロック〉 民謡をどうぞ							午後
	後4:05~4:55 〈仙台単〉 情報ボックス みやぎ							
夜間	(土日午後) 〈山形単〉 Jリーグモンテディオ山形戦(年3本程度)							夜間
	後4:05~4:55 〈東北ブロック〉 特選・ぬくだまりの宿 みちのく亭(年5本)							
(随時) 〈東北ブロック〉 プロ野球中継~楽天戦(年10~15本程度)								
(随時) 〈山形単〉 今夜はなまらナイト(年3本程度)								

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後0:30~0:55(R1-FM) 〈東北ブロック〉 民謡をどうぞ							午後
	後2:00~6:50 ワ イサ ドタ (ト シ 土曜日 レディ ラジオマン ジャック							
夜間	(土日) 〈秋田単〉 秋田FMスペシャル (年1本程度)							夜間
	後6:00~6:50 とことんOO(再) (L)							
〈仙台単〉後4:00~6:00 仙台音楽倶楽部(月1本)								
〈東北ブロック〉 ★サバトセラ東北 (月3~4本)								

③ 関東・甲信越ブロック

〈編成のポイント〉

首都圏および甲信越地方各放送局は、“頼りになる”そして“身近な”公共放送として、さまざまなメディアを通じ、人々の安心や安全を守り、暮らしを豊かにするサービスの実現に全力を尽くす。

金曜夜間に大型特集番組の新設をはじめ関東甲信越各地の視聴者のニーズ・関心にきめ細かく応える放送の充実を図るとともに、各放送局が連携してのキャンペーン報道や視聴者の声を反映した番組展開に取り組むなど、放送サービスのいっそうの充実・強化に努める。

また、パソコンや携帯端末を通じた暮らしに役立つ情報の提供を強化するのをはじめ、放送以外の視聴者サービスを大幅に向上させる。

- 金曜夜間の地域放送時間帯に、暮らしに直結する地域の課題から、魅力あふれる各地の表情など暮らしを豊かにする情報まで、関東甲信越の視聴者の関心に応える大型特集番組を新設する。
- 身近な課題について統一テーマを掲げ、“首都圏プロジェクト”として関東甲信越の各放送局が連携し、各地域放送番組を通じて視聴者とともに解決策を考えていくキャンペーン報道に力を入れる。また、インターネットなどを通じた視聴者との結びつきをいっそう充実させ、視聴者の声を番組に反映し、より充実した放送へと発展させることにも積極的に取り組む。
- 甲信越・水戸の各放送局は、それぞれ総合テレビの金曜夜間・平日午後6時台・平日午前11時台の地域放送番組を継続し、その内容を強化し、地域の視聴者のニーズ・関心にきめ細かく応える放送の充実に努める。
- 関東5局は、千葉局が週末に公開番組を新設するほか、それぞれの県域向けFM放送番組を継続し、公開放送を強化するなど地域との結びつきをいっそう強化し、聴取者に親しまれる放送サービスの実現をさらに推進する。
- 首都圏各放送局のサイトが連携した、県域を越えた首都圏の視聴者ニーズに応える見やすく使いやすいサイトを新設するのをはじめとして、インターネットや携帯端末を通じた災害・選挙情報、番組に関連するさまざまな情報の提供を強化し、放送以外での視聴者サービスを大幅に充実する。
- 7月のテレビ放送の“フルデジタル化”への円滑な移行に向け、地域放送番組やアナログ独自放送での告知を通じ、それぞれの地域や受信者ごとの受信環境に応じた、きめ細かな情報の提供・周知に努める。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「特報首都圏」

＜関東甲信越ブロック(新潟単除く)＞ 後 7:30～ 7:55

「首都圏スペシャル」(新設)

＜関東甲信越ブロック(新潟単除く)＞ 後 7:30～ 8:45(年10本程度)

関東甲信越4,700万人の視聴者の関心に応える大型特集番組。格差問題や雇用、教育、地域経済、“無縁社会”など、暮らしに直結するテーマを掘り下げるとともに、各地のお国自慢、味自慢、心温まる感動秘話など、暮らしを豊かにする情報をお届けする。インターネットも積極的に活用し、視聴者の声をビビッドに盛り込む。

「キッチンが走る！」

＜関東甲信越ブロック(甲府単除く)＞ 後 8:00～ 8:45

※長野・新潟・水戸、別番組の場合あり

「知るしん。～信州を知るテレビ～」	<長野単>	後 8:00～ 8:45(月2本)
「金よう夜 きらっと新潟」	<新潟単>	後 7:30～ 7:55
「金よう夜 きらっと新潟 拡大版」	<新潟単>	後 7:30～ 8:45(年2・3本程度)
「金曜山梨」	<甲府単>	後 8:00～ 8:33

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「ゆうどきネットワーク」		後 4:50～ 6:00(5:54～5:57は各地の気象情報)
首都圏情報を中心とした広域の地域情報番組。近畿ブロック(月～金)、徳島局・宮崎局(金のみ)を除く全国で放送。		
「首都圏ネットワーク」	<東京単>	後 6:10～ 7:00
「ニュースワイド茨城」	<水戸単>	後 6:10～ 7:00
「イブニング信州」	<長野単>	後 6:10～ 7:00
「新潟ニュース610」	<新潟単>	後 6:10～ 7:00
「まるごと山梨」	<甲府単>	後 6:10～ 7:00

〈その他の時間帯の新設番組〉

「チバ☆スタ」	<千葉単> [FM](土)	後 2:00～ 4:00(月1本)
千葉県ゆかりの俳優やタレントなどの著名人を招き、会館のスタジオからの公開生放送。番組の前半はゲストのトークと音楽を中心に放送し、後半では大学生などの若者グループにも番組に参加してもらう。		

〔関東・甲信越ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								前4
5:55	〈関東・甲信越ブロック〉				〈関東・甲信越ブロック〉			5:55
6:25	〈関東・甲信越ブロック〉				〈関東・甲信越ブロック〉			6:10
6:30	〈各局単〉				〈各局単〉 ※水戸は東京受け			6:15
6:55	〈各局単〉				〈各局単〉 ※水戸は東京受け			6:55
7:45	〈関東・甲信越ブロック〉				〈関東・甲信越ブロック〉			7:30
7:56	〈各局単〉				〈各局単〉 ※水戸は東京受け			7:40
8					〈長野単〉(月~木)11:40~後0:00(金)11:30~後0:00 ひるとテレビプラザN 〈新潟単〉11:40~後0:00 お屋はじよんのびくらし情報便 〈甲府単〉11:40~後0:00 もうすぐ山梨のおひる			8
9								9
10	〈新潟単〉(火)11:05~11:30 金よう夜 きらっと新潟(再)		〈甲府単〉(木)11:05~11:40 金曜山梨(再)					10
11:05	〈東京単〉こんにちはいっと6けん ※水戸は11:30まで東京受け							11:05
11:45	〈各局単〉							11:45
11:57	〈各局単〉							11:57
後	〈各局単〉							後
0:15	〈各局単〉							0:15
0:20	〈各局単〉							0:20
1								1
2								2
07:31	〈関東・甲信越ブロック〉				〈水戸単〉 (土日午後)茨城スペシャル(年10本程度) (土日午後)茨城Jリーグアワー/天皇杯サッカー(年5本程度)			07:31
3								3
4								4
4:50	ネットワーク 55 ニュース(全国) 05 54 57 〈関東・甲信越ブロック〉							4:50
5								5
6	〈東京単〉首都圏ネットワーク 〈水戸単〉ニュースワイド茨城 〈長野単〉イブニング信州 〈新潟単〉新潟ニュース610 〈甲府単〉まるごと山梨				52 気象情報(全国) 54		〈各局単〉	6:45
7	〈水戸単〉茨城スペシャル(随時)(改題) 〈長野単〉しるしん。信州をみるテレビ(月2程度) 〈甲府単〉 8:00~8:33 金曜山梨 8:33~8:45 ミニ番組		〈関東・甲信越ブロック〉 特報首都圏		〈関東・甲信越ブロック〉 キッチンが走る!		〈新潟単〉金よう夜 きらっと新潟 〈新潟単〉後7:30~8:45 金よう夜 きらっと新潟 拡大版(年3本程度)	7:55
8	〈各局単〉							8:45
9	〈各局単〉 ※水戸は東京受け							9:55
10:50	〈関東・甲信越ブロック〉				〈関東・甲信越ブロック〉			10:47
10:55	〈関東・甲信越ブロック〉				〈関東・甲信越ブロック〉			10:52
11								11
深夜								深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日	

〔関東・甲信越ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前 7:58	前7:40~8:00 〈東京単・甲府単〉ラジオあさいちばん(L) (甲府単は7:53まで)						〈関東甲信越〉 土曜あさいちばん(L)	午前
午後	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈長野単〉もぎたて信州朝いちばん 〈新潟単〉新潟ラジオセンター 〈甲府単〉7:53~8:00 ニュース・天気予報・交通情 </div>							午後
夜間	後8:05~8:55 〈甲府単〉 やまなし 情報BOX(年8本)							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前11:30~後0:00				前11:00~後0:00			午前
午後	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈千葉単〉ひるどき情報ちば (金曜日は、前11:00~後0:00) </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈前橋単〉2:00~4:00 ぐんま土曜広場 (年10本程度) 〈千葉単〉2:00~4:00 ★チバ☆スタ(月1本程度) 〈宇都宮単〉2:00~4:00 とちぎマロニエパーク (原則最終土) </div>		後2:00~6:50 土曜日 レディ ウィサ ドテ (H) ラジオマン ジャック U-18 ユ-ガタ M塾	午後
夜間	後6:00~6:50 とことんOO (再) (L)				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 〈横浜単〉(月~金)6:00~7:00 FMサウンド☆クルーズ 〈前橋単〉(月~金)6:00~6:50 トワイライト群馬 〈千葉単〉(月~金)6:00~7:00 まるごと千葉60分 〈宇都宮単〉(月~金)6:00~7:00 とちぎ6時です! 〈さいたま単〉 (月~木)6:00~6:50 日刊! さいたまーず (金)6:00~6:50 週刊☆サッカー王国 </div>			夜間

④中部ブロック

〈編成のポイント〉

中部地方の各放送局は、地域に“信頼され”“役に立ち”“親しまれる”放送局を目指すとともに、地域のジャーナリズム・文化の拠点として、人々が安心して心豊かに暮らせる社会を実現し、地域を“元気にする”取り組みを積極的に進める。

- 地域経済の落ち込み、少子高齢化、福祉など地域が抱えるさまざまな課題を平日午後6時台の地域情報番組や金曜午後7時台「ナビゲーション」で、タイムリーに深く掘り下げ、解決の糸口を探り、豊かで安心して暮らせる地域社会の実現につなげる。金曜午後8時台「金とく」は、「旅と大自然」「地域情報とドキュメント」という2つの大きなテーマを掲げ、より見やすい演出で視聴者の興味や関心に応え、人々に希望や元気を届ける。
- 金曜夜間・午後10時台は、若いビジネスマンを応援する番組「めざせ！会社の星」(名古屋局制作・全国番組先行放送)と、若者に人気のアーティストによる音楽番組「サタテン」を継続し、公開収録や特集番組との連携など新しい試みも展開しながら、“若者ゾーン”として一層の強化を図る。また、放送開始50年を迎える「中学生日記」(名古屋局制作・全国番組)は、総合テレビ・土曜午前9時台に移設し(中部ブロック)、多感な中学生を応援する番組として、これまで以上にティーンズ層の視聴者視線を大事にした新たな演出・内容に刷新する。
- フルデジタル化に向け、定時番組やスポットなどを中心に、必要な知識や情報をきめ細かく伝えるほか、「めざせ！会社の星」(中部)や「知って解決！SKEっとネット」(東海3)の連動データ放送を継続するなど、デジタル放送ならではのコンテンツ制作や番組編成を積極的に行う。また、パソコンや携帯端末、データ放送を活用した3-Screens展開を積極的に推進し、多様な回路で地域情報や災害情報、番組情報を提供することで、幅広い世代とのつながりを深める。
- 「東海地震」「東南海地震」などの大規模災害に備えて、防災意識の向上に役立つ情報提供に努めるとともに、災害・緊急報道にあたっては、迅速で的確な報道に全力を尽くし、公共放送の使命を果たす。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「ナビゲーション」

＜中部ブロック(一部各局単)＞ 後 7:30～ 7:55

「金とく」

＜中部ブロック(一部各局単)＞ 後 8:00～ 8:45

「みえ発ドキュメント」

＜津単＞ 後 7:30～ 7:55(年1本程度)

「ふるさとにQフィナーレスペシャル」

＜津単＞ 後 7:30～ 8:45(年1本程度)

「ぎふスペシャル」

＜岐阜単＞ 後 8:00～ 8:45(年4本程度)

「しずメン☆しずジョ」(新設)

＜静岡単＞ 後 7:55～ 7:58(月1本程度)

静岡放送局各部の若手職員が制作に参加し、若者の本音に迫る番組。“就職”や“恋愛”など若者を惹きつけるテーマを設定して率直な意見を聞き、インタビュー形式で伝える。若手職員が大学や専門学校などに飛び込んで取材・制作し、大学生が発行しているフリーペーパー「静岡時代」や PC・携帯のホームページなど、放送以外のメディアも活用して取り組みを周知し、普段NHKに接する機会の少ない若い世代に向けて強くアピールしていく。

「静岡流」(新設) <静岡単> 後 8:00～ 8:43(月1本程度)
 キーワードは静岡の“いま”、そして“旬”。地域のトピックや動きを取りあげて深く掘り下げ、大胆な演出でスペシャル感のある番組を目指す。「雇用」や「老後」、「医療」など視聴者の関心が高いジャーナルなテーマを取りあげるとともに静岡の自然や歴史・文化、人々の営みなど地域の魅力についても発信する。さらに、ホームページには、キャスターによる番組の告知や裏話を掲載するほか、静岡局のメールマガジン「しずくん通信」と連動した企画など、インターネットの活用にも力を入れる。

「金とく 北陸スペシャル」 <北陸ブロック> 後 8:30～ 8:45(年6本程度)

「金とく 石川スペシャル」 <金沢単> 後 8:00～ 8:45(年4本程度)

「金とく 福井のじかん」 <福井単> 後 8:00～ 8:45(年4本程度)

「金とく 富山スペシャル」 <富山単> 後 8:00～ 8:45(年2本程度)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「ほっとイブニング」

<東海3県ブロック(一部名古屋単)> 後 6:10～ 7:00

「ほっとイブニングみえ」 <津単(一部東海3)> 後 6:10～ 7:00

「ほっとイブニングぎふ」 <岐阜単(一部東海3)> 後 6:10～ 7:00

「かがのとイブニング」 <金沢単> 後 6:10～ 7:00

(6:52～6:54 は気象情報(全国)受け)

「たっぷり静岡」 <静岡単> 後 6:10～ 7:00

(6:52～6:54 は気象情報(全国)受け)

「ニュースザウルスふくい」 <福井単> 後 6:10～ 7:00

「ニュース 富山人」 <富山単> 後 6:10～ 7:00

(6:52～6:54 は気象情報(全国)受け)

※午後5時台は、「ゆうどきネットワーク」を放送

〈その他の時間帯の新設番組〉

「ほやほや気分」

<福井単>〔総合〕(月)～(金) 前11:40～後0:00

(11:54～11:57 は気象情報(全国)受け)

地域の暮らしに役立つ情報や旬の話題をいち早く届ける地域情報番組。放送時間の5分拡大とともに、内容については今まで以上に40代女性にとって魅力的な企画を充実させる。福井ライフをおしゃれで快適に過ごすヒントとなるような情報を集め、毎日の生活をより豊かに感じられるようお手伝いをする。また、気象予報士の起用により気象情報など暮らしを支える情報を強化し、生活にうるおいと安心感を与えるお得感たっぷりの番組を目指す。

〔中部ブロック〕
〔総合テレビ〕

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								前4
5:59	〈中部ブロック〉			〈中部ブロック〉				5:59
6:25	〈中部ブロック〉			〈中部ブロック〉				6:15
6:30	〈各局単〉東海3・静岡単・福井単・富山単は6:53~6:59:55※			〈各局単〉東海3・静岡単・福井単・富山単は6:53~6:59:55※				6:55
7:45	〈各局単〉※			〈中部ブロック〉 ウィークエンド中部		〈各局単〉※		7:30 7:40 7:45
8	〈北陸ブロック〉金とく 北陸スペシャル(年6本程度) 〈金沢単〉金とく 石川スペシャル(年4本程度) 〈静岡単〉★静岡流(月1本) 〈福井単〉金とく 福井のじかん(年4本程度) 〈富山単〉金とく 富山スペシャル(年2本程度) 〈津単〉ふるさとにQ・フィナーレススペシャル(年1本程度) 〈岐阜単〉ぎふスペシャル(年4本程度)			〈静岡〉「小さな旅」(東京入中) 〈福井単〉「ビジネス新伝説 ルソンの壺」(月1本) 〈津単〉「みえ発ドキュメント」(再) (年1本程度)		〈中部ブロック〉 ナビゲーション (再)		25 8
9	〈中部ブロック〉NHK中部地方放送番組審議会~〇月の審議から~ 毎月第2(土)前 10:48~10:50			〈中部ブロック〉 中学生日記 (再)		30		9
10	〈津単〉「みえ~るくん情報」前11:50~後11:59:55 〈岐阜単〉「みのひだ情報局」前11:50~後			〈中部ブロック〉 金とく (再)		05		10
11	〈東海3〉情報フレッシュ便 ささらサラダ 〈金沢〉「かがのと情報界」 〈福井〉★「ほやほや気分」 〈静岡〉「しずおか情報ランチ」 〈富山〉「とやまおしらせたまご」			〈中部ブロック〉 課外授業ようこそ先輩		20		11
後0:15	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈各局単〉※		後0:15
1	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈各局単〉※		1
2	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈各局単〉※		2
3	〈津単〉 ビジネス新伝説 ルソンの壺			〈各局単〉※		〈各局単〉※		3
4	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈各局単〉※		4
5	ネットワーク ニュース(全国)			「ほっとイブニング」気象情報 後6:52~6:55<東海3> 〈津単〉「ほっとイブニングみえ」後6:30~6:58:55 〈岐阜単〉「ほっとイブニングぎふ」後6:30~6:58:55 ※名古屋屋入中 後6:52~6:55		〈中部ブロック〉気象情報		5
6	〈東海3〉「ほっとイブニング」 〈金沢〉「かがのとイブニング」 〈静岡〉「たっふり静岡」 〈福井〉「ニュースザウルスふくい」 〈富山〉「ニュース 富山人」			気象情報 (全国) ※東海3・福井単は脱		〈各局単〉※		6
7	〈北陸ブロック〉金とく 北陸スペシャル(年6本程度) 〈金沢単〉金とく 石川スペシャル(年4本程度) 〈静岡単〉★静岡流(月1本) 〈福井単〉金とく 福井のじかん(年4本程度) 〈富山単〉金とく 富山スペシャル(年2本程度) 〈津単〉ふるさとにQ・フィナーレススペシャル(年1本程度) 〈岐阜単〉ぎふスペシャル(年4本程度)			〈中部ブロック〉ナビゲーション		〈津単〉「みえ発ドキュメント」(年1本程)		7
8	〈各局単〉※			金とく		〈各局単〉※		8
9	〈津単〉後8:55~9:00 〈岐阜単〉後8:55~			〈中部ブロック〉 めざせ!会社の星 (先行放送)		25		9
10	〈各局単〉※			〈中部ブロック〉サタデー		40		10
11	〈各局単〉※			〈中部ブロック〉NHKプレマップ		45		11
深夜	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈各局単〉※		深夜

※印:名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック

〔教育テレビ〕

	月	火	水	木	金	土	日	
後0	〈各局単〉※			〈各局単〉※		〈中部ブロック〉 世界ふれあい街歩き 〈中部ブロック〉 ホットスポット最後の楽園 /シリーズ世界遺産100 〈中部ブロック〉 はろ~!あにまる		後0

〔中部ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前7:40~8:00							午前
58	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <中部ブロック> 中部あさいちばん </div>							
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 静岡のみ(土)は 前7:55~8:00で単 </div>							
午後								午後
夜間								夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 年2週程度<北陸ブロック> 「FM北陸ウイーク」 </div>							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 毎月最終(金)<金沢単> 「FMジュークBOX」 </div>							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 年4回(木)<静岡単> 「キャンパスDJ」 </div>							
夜間								夜間

	月	火	水	木	金	土	日	
午後	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 後6:00~6:50 <中部ブロック> FMトワイライト </div>							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 後2:00~6:50 土曜日 レディ ラジオマン ジャック U-18 ユーガタ M塾 ワイタデー(レ) </div>							

【 R 2 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 前5:40~6:00 前5:45~6:00 <中部ブロック> ラジオジャパンフォーカス </div>							午前
午後								午後
夜間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 前0:40~0:55 前0:25~0:35 前0:40~0:55 前0:40~1:00 <中部ブロック> ラジオジャパンフォーカス </div>							夜間

⑤近畿ブロック

〈編成のポイント〉

関西のNHK6放送局は、それぞれが地域の課題に向き合いながら、フルデジタル時代にふさわしい、視聴者にとってきめ細かく満足度の高いニュースや番組を届けていく。また、放送を核に放送以外のメディア、イベント・広報展開などを通じて、総体として幅広い視聴者層に届けるサービスを展開していく。

- 平日午後5時台の「あほやねん！すきやねん！」は、インターネットやイベント等を通じて10代・20代の若年層に、NHKへの関心を高めてもらう取り組みを続ける。
- 金曜午後7時台の報道番組「かんさい熱視線」では、視聴者にとって関心の高い事件や、時代を象徴する出来事にすばやく反応し、鋭い検証と的確な解説を織り込み、新たな演出にも挑戦しながら、深く掘り下げていく。また8時台の「かんさい特集」は、関西NHKを代表する番組として、2府4県からバラエティ豊かで魅力的なラインナップをそろえ、より多くの視聴者獲得を目指す。
- 周辺各局にも放送範囲を拡大して定着してきた日曜午前の「ビジネス新伝説 ルソンの壺」は、引き続き関西広域圏を代表する経済情報番組として、先行きへの不安が高まる関西経済を元気づけていくことで、視聴者の期待に応える。
- 22年度後期から毎月最終金曜午後10時台に放送している「まるかじり！アジアン食堂」のいっそうの定着をはかるとともに、関西とアジアをつなぐ放送を目指す。
- 関西が抱える“貧困”“子どもの虐待”“無縁社会”などの社会問題などによって脅かされる人々の“いのち”と“安全”を、報道を通じて守っていくのはもちろん、多様なコンテンツやキャンペーンなどを通じて、家族・地域のきずなを再確認し、心のよりどころとなるように“放送局のちから”を発揮していく。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「かんさい熱視線」	<近畿ブロック>	後 7:30～ 7:55
「関西もつといい旅」	<近畿ブロック>	後 7:30～ 7:55(年数本)
「かんさい特集」	<近畿ブロック>	後 8:00～ 8:45
「新 兵庫史を歩く」	<神戸単>	後 8:00～ 8:45(年2本程度)
「出動！防災プレゼンター」	<和歌山単>	後 8:00～ 8:45(年2本程度)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「あほやねん！すきやねん！」

〈近畿ブロック〉 後 5:10～ 6:00

「ニューステラス関西」

〈大阪単〉 後 6:10～ 7:00

「ニュース610 京いちにち」

〈京都単〉 後 6:10～ 7:00

「ニュースKOBE発」

〈神戸単〉 後 6:10～ 7:00

「あすのWA！」(新設)

〈和歌山単〉 後 6:10～ 7:00

県民人口が100万人を下回り、和歌山活気を失っていくなかで、“100万人の元気の発信基地”をコンセプトに、県民の“輪”をつくり、人のきずなの“和”をみつめ、さらに、どこにも載っていない“わ”っと驚く新鮮な情報を提供していく番組。

「ならナビ」

〈奈良単〉 後 6:10～ 7:00

「おうみ発610」

〈大津単〉 後 6:10～ 7:00

〈その他の時間帯の新設番組〉

「西方笑土」／「上方落語の会」

〈近畿ブロック〉〔総合〕(月) 前 0:10～ 0:55

NHK大阪ホールで収録するBSプレミアムの新設番組「西方笑土(年30本程度)」のほか、上方落語の演目をたっぷり2席、お楽しみいただく「上方落語の会(年15本程度)」を放送。

[近畿ブロック]
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								前4
5:56 5:59				(1~3週)かんさい思い出シアター (4・5週)きらっといきるセレクショ		前5:15~5:50 〈近畿〉かんさい思い出シアター/ きらっといきるセレクショ		5:55 5:59
6:25 6:30 6:53								10:15 10:16 10:53
7:45						〈近畿ブロック〉 ウイークエンド関西 (L)	〈近畿〉ニュース・気象(L) 〈近畿ブロック〉 ピタピタ新伝説!の壺 〈近畿〉さわやか自然百景	30:40 30:45 30:53
8								10:25 10:28
9								9
10:05 10:50					(原則最終土)世界ふれあい街歩	〈近畿ブロック〉 かんさい特集(再) 世界ふれあい街歩き 目撃!日本列島		10:05 10:50
11:05 11:30 11:45 11:57	〈近畿ブロック〉 かんさい熱視線(再)		〈近畿ピタピタ 新伝説!の壺(再)			〈近畿ブロック〉 ぐるっと関西 おひるまえ	〈近畿ブロック〉 ぐるっと関西 おひるまえ	11:15 11:30 11:45 11:57
後								後
0:15 0:20								10:15 10:20 10:45
1								1
2								2
07:12 07:15 07:50								3
	かんさい思い出 シアター							
	西日本の旅							
		後4:05~4:50						
4:50 4:55		〈近畿〉西方楽士 /上方落語の会(再)						4
05:10 05:57								5
6								6
52 54								45
30:07 30:15 30:50								30
8:45								45
9								9
10:50 10:55								10:30 10:45 10:50
11								11
深夜					(金)前1:15~	(土)前1:20~	前0:10~0:55 〈近畿〉★西方楽士 ★上方落語の会 〈近畿〉ドトール20min. 〈近畿〉J-MELO	0:55 1:15 1:45 深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日	

〔近畿ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前7:40~8:00							午前
	＜近畿ブロック＞ 関西ホットライン							
午後	後4:05~6:00							午後
	＜近畿ブロック＞ 関西ラジオワイド							
夜間								夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前9:15~9:20<近畿ブロック> FM番組トピックス 関西のFM番組から							午前
午後	後6:00~6:50							午後
	＜近畿ブロック＞ FMサウンドポケット なみはな							
夜間								夜間

(金)<和歌山単>
パワステ(改題)

後2:00~6:50
ワ
イ
サ
ウ
ン
ド
テ
レ
ビ
シ
ョ
ウ

土曜日
レディ
ラジオマン
ジャック
U-18
ユ-ガタ
M塾

⑥中国ブロック

〈編成のポイント〉

中国地方の各放送局は、地域が抱える問題に正面から向き合い、ふるさとを元気にするための拠点となる。

- 人口減少社会と向き合い、地域を元気にするさまざまな番組を展開し、“あすへの指針”を示す。
- 豊かな自然や伝統文化を再発見し、ふるさとの魅力を発信する。さらに、中国地方にゆかりの深い平成24年の大河ドラマ「平清盛」に関連した番組を展開する。
- 平日午後6時台は、県域の基幹ニュースとして、地域が直面する課題をわかりやすく伝える。平日午前11時台は、暮らしに密着した情報や話題を発信する。
- インターネットや携帯端末など多様なメディアを活用して、より便利で役立つサービスの展開を進める。また、双方向番組にも積極的に取り組む。
- 野球やサッカー、駅伝など、地域で関心の高いスポーツの情報を発信する。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「フェイス」(新設)

＜第1週広島単・第2週以降中国ブロック＞ 後 7:30～ 7:55

人口減少社会が生活にもたらす影響や、地域経済の課題、さらに自然災害に対する防災・減災情報など、タイムリーな話題を機動的に伝える。番組名には、いま中国地方で起きている事象に“向き合う”=FACE、中国地方に根ざして生きる人々の“素顔”=FACEに迫る、中国地方のために“信念”=FAITHを持って伝えるという3つの思いを込める。

「金曜スペシャル」(新設)

＜中国ブロック(一部各局単)＞ 後 8:00～ 8:45

中国地方の“地域の宝”とそれを支える人に関心を寄せる著名人が各地を旅し、その魅力を再発見していくシリーズ「あいたい(年10本程度)」や、大河ドラマ「清盛」の放送に先がけて、その舞台裏を紹介し、ゆかりの文化や瀬戸内の自然美をたどりながら清盛の人物の魅力に迫るシリーズ(年数本)。さらに中国5局が共同で取り組み、中国地方の“今”を切り取り、“地域の課題”や“将来像”を視聴者や有識者とともに考えていく地域応援型の年間シリーズ「熱討ちゆうごく(後7:30～8:43/年3本)」やさまざまな分野で活躍する人たち、各地の暮らしや文化、美しい自然など、地域の魅力をじっくりと見つめる番組を放送する。

「岡山ドキュメント」(新設)

＜岡山単＞ 後 7:30～ 7:55(第1週)

岡山の地域と人を見つめるドキュメンタリー番組。岡山で今注目の話題や問題に迫り、その核心にいる人々の生き様に迫る。

「フェイス」(新設)

＜松江単＞ 後 7:30～ 7:55(第1週)

「鳥取スペシャル」(新設) <鳥取単> 後 7:30～ 7:55(第1週)
深刻化する人口減少、出口の見えない景気低迷などの課題、そして世界ジオパークに認定された山陰海岸、関西広域連合のスタート、環日本海諸国との交流といった地域振興や観光振興の動きなどを積極的に取り上げ、鳥取のこれからのを考える。

「YAMAGUTIC」 <山口単> 後 7:30～ 7:55(第1週)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「お好みワイドひろしま」 <広島単> 後 6:10～ 7:00

「岡山ニュース どんぶらこ」(新設) <岡山単> 後 6:10～ 7:00

『岡山の“いま”がわかり、“あす”が見える』をコンセプトに、より深く、より身近に伝えるニュース情報番組。その日のニュースにこだわり、深く多角的に掘り下げるほか、「生活情報コーナー」を月～金の帯で新設。さらに、スポーツや地域の話題など、視聴者のみなさんに、情報満載のお宝を“どんぶらこ”と届ける。

「しまねっとNEWS 610」 <松江単> 後 6:10～ 7:00

「いちおしNEWSとっとり」 <鳥取単> 後 6:10～ 7:00

「情報維新!やまぐち」 <山口単> 後 6:10～ 7:00

※午後5時台は、「ゆうどきネットワーク」を放送

〈その他の時間帯の新設番組〉

「ひるまえ どんぶらこ」 <岡山単>〔総合〕(月)～(金) 前11:40～後0:00
(11:54～11:57 は気象情報(全国)受け)

“その日役立つ、あすから使える”をコンセプトに、より身近に、分かりやすく伝える地域情報 & 生活情報番組。お昼前のひとときに、視聴者のみなさんにとって必要な情報をテンポよく、“どんぶらこ”と届ける。

〔中国ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4						前5:15~5:40		前4
5						(第2週) <広島単> わたしのA ストリート		5
56						<中国ブロック>		59
6						前5:55~5:59	<中国ブロック>	10
625								15
30								6
55								55
7						前7:30~8:00<中国ブ>		30
45						おはようちゅうごく	<各局単>	40
						※7:32~7:37<各局単>	<鳥取単> ビジネス新伝説 ルソンの壺	45
8							10 25 <鳥取単>さわやか自然百景	8
9								9
10								10
05								05
11								11
30								30
45								45
54								54
57								57
後								後
015								015
20								20
1								1
2								2
07								07
312								312
450								450
55								55
05								05
5								5
54								54
57								57
10								10
6								6
52								52
54								54
30								30
7								7
55								55
8								8
45								45
9								9
10								10
50								50
55								55
11								11
深夜								深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日	

〔中国ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前 58	前7:40~8:00 ＜中国ブロック＞ おはよう中国							午前
午後								午後
夜間	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> (木)(金)後6:05~6:50 後7:30~(9:30) 年10本程度 <中国ブロック> 「プロ野球カーブ中継」 </div>							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前							最終(日)前11:00~11:50 ＜鳥取単＞ 「鳥取文芸館」	午前
午後				後2:00~4:00 年2本 ＜中国ブロック＞ 「広響コンサート」	後2:00~4:00 年4本 ＜岡山単＞ 「FMはればれライブ」	後2:00~6:50 ワイドター (L)	土曜日 レディ ラジオマン ジャック U-18 ユ-ガタ M塾	午後
夜間	後6:00~6:50 とことんOO (L)				後9:10~10:45 ＜広島単＞ ふち☆なま 前1:00~1:50 ＜広島単・時差＞ 石丸幹二の FMへようこそ			夜間

⑦四国ブロック

〈編成のポイント〉

四国のNHKは、視聴者のみなさんに信頼され、親しまれる放送局として、地域との“きずな”をさらに深めていく。地域で生きる人たちや自然・文化の魅力を再発見する「ドラマチック！四国」キャンペーンを、平成23年度はさらに発展させ、「四国の底力」放送キャンペーンとして展開する。

- 金曜夜の地域放送番組「しこく8」で、四国4県の代表がそれぞれの“ふるさと自慢”を持ち寄り、楽しく競い合いながら、ふるさとの魅力を再発見する73分の新シリーズ「四県対抗！ふるさと自慢」を新設する。また、関連番組をはじめ、ホームページでも自慢のふるさと情報を掲載し、四国全体を盛り上げていくほか、四国の人や文化、自然のすばらしさを見つめ、ふるさとの誇りを伝える番組も、よりいっそう充実させる。
- 金曜夜の報道番組「四国羅針盤」では、四国各地で起きている問題に真正面から取り組み、四国の“いま”と“これから”を伝える。また、地域の課題を議論する73分の視聴者参加型の双方向番組を、「四国のいいぶん」として刷新し、視聴者のさまざまな意見や声をもとに、課題解決への糸口を探る番組を積極的に放送する。
- テレビをはじめ、パソコンや携帯端末など、“3-Screens”で暮らしに役立つ情報を提供する。また、ホームページでは、地域放送番組と連動したコンテンツを充実させるほか、データ放送では、情報の充実とともに使いやすさを追求し、欲しい情報がすぐ手に入るように改善を図る。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「四国のいいぶん」(新設) <四国ブロック> 後 7:30～ 8:45(年3本程度)

さまざまな課題、話題、ブームに対して、四国の人はどう思っているのか？

四国にかかわる硬軟とりまぜたテーマを議論する73分の番組。事前アンケートを用いて、視聴者の関心が高いテーマを設定し、四国各地での街頭インタビューによる率直な意見と現場取材をもとに、多彩なゲストが語りあう。インターネットや携帯端末向けサービス、データ放送を活用して、リアルタイムで視聴者へのアンケートを実施し、さらに議論を深めることで“四国の言い分”がわかる視聴者参加型の報道トークバラエティー。

「四国羅針盤」 <四国ブロック> 後 7:30～ 7:55

「しこく8」 <四国ブロック> 後 8:00～ 8:45(年23本程度)

※年4本は、後7:30～8:45の新シリーズ「四県対抗！ふるさと自慢」を放送する。

「伊予路てくてく」 <松山単> 後 8:00～ 8:45(年11本程度)

「とさ金8」 <高知単> 後 8:00～ 8:45(年11本程度)

「阿波スペシャル」 <徳島単> 後 8:00～ 8:45(年11本程度)

「まちカラ」(新設) <高松単> 後 8:00～ 8:45(年6本程度)
皆さんの町から、“町の力(ちから)”や“町のカラー”を、地元の若い世代(20～30代)の人々が中心になって発信する情報番組を新設する。地域の活力や魅力を紹介することで、地域で頑張る人々にエールを送る番組。毎回、香川県内各地を訪ねて特設スタジオを設置し、その町から公開生放送でお届けする。テレビをはじめ、パソコンや携帯端末などの“3-Screens”も駆使した視聴者参加型の、新しいスタイルの番組を目指す。

「笑ってうたって しあわせ家族」 <高松単> 後 8:00～ 8:45(年5本程度)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「あわメロ」 <徳島単> 後 5:05～ 6:00(毎週金)

※午後5時台は、毎週金曜日の徳島単を除いて「ゆうどきネットワーク」を放送。

「いよ×イチ」(新設) <松山単> 後 6:10～ 7:00

日々の出来事を深く掘り下げ、わかりやすく伝えるほか、4月の統一地方選挙を契機に、地域主権や広域連携、雇用、医療、防災、教育問題など、地域の課題を多角的に取り上げ、地域の将来を考えていく。毎月1つの自治体に注目し、そのまちが誇る“えひめイチバン!”を取り上げ、地域が元気になる話題を発信する。また、健康・教育・食べ物など知って得する生活情報や、暮らしに役立つ経済情報の充実を図る。愛媛出身のサッカー・長友佑都選手、ゴルフ・松山英樹選手や、サッカーJ2「愛媛FC」、プロ野球独立リーグ「愛媛マンダリンパイレーツ」などのスポーツ情報も詳しく伝える。

「こうち情報いちばん」 <高知単> 後 6:10～ 7:00

「とく6徳島」 <徳島単> 後 6:10～ 7:00

「ゆう6かがわ」 <高松単> 後 6:10～ 7:00

〈その他の時間帯の新設番組〉

「四国イチバン！」 <四国ブロック> [総合](木) 後10:45～10:50(年26本程度)

「しこく8」の新シリーズ「四県対抗!ふるさと自慢」と連動し、番組で取り上げた主人公たちのその後の追加取材や、四国各地の新情報を盛り込み、各県の元気や奮闘ぶりを紹介する。

〔四国ブロック〕
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								前4
5:55	<四国ブロック>			<四国ブロック>				5:55
6:25	<四国ブロック>						<四国ブロック>	10:15
6:30								6
6:53	<四国ブロック>			<四国ブロック>				5:53
7:45	<各局単>				<四国ブロック> おはよう四国		<四国ブロック> ビジネス新伝説ルソンの妻 <徳島単・高松単> さわやか自然百景	30:40 7:45
8	※各局単 <松山単>「伊予路でててく」枠 <高知単>「とき金8」枠 <徳島単>「阿波スペシャル」枠 <高松単>★「まぢカラ」枠 「笑ってうたってしあわせ家族」枠							10:25
9								9
10						<四国ブロック> 四国羅針盤(再)	<最終週> <各局単>	05:30
05						<四国ブロック> しこく8(再)	<各局単>	15:30
1:14	<松山単>えひめ おひるのたまご <高知単>こうち情報BOX <徳島単>とくしま i <高松単>ひるまえかがわ					<四国>★四国イチバン	15:20	
1:45	<四国ブロック>							11:57
後								後
0:15	<各局単>					<各局単>		10:15
0:20	<各局単>					<松山単>校歌の旅		10:40
1								1
2								2
07:31	<四国ブロック>							3
4:50						<徳島単>(金)ミニ番組		4
5:55	ニュース(全国)					<徳島単> (金)後5:05~6:00 あわ×ロ		5
5:54	<四国ブロック>※徳島(金)は脱							5:54
5:57	<高知単>(月)~(金)後5:57~6:00 主佐の一枚							5:57
6	<松山単>★いよ×イチ <高知単>こうち情報いちばん <徳島単>とく6徳島 <高松単>ゆう6かがわ							6
5:52	気象情報(全国)※松山は脱					<各局単>		45:52
5:54								45:54
7:30						<四国ブロック> 四国羅針盤		7
7:55						<四国ブロック> しこく8		7:55
8	<各局単>					<最終週> <各局単>		8
8:45	<四国ブロック>							8:55
9								9
10:45	45 <四国>★四国イチバン					<四国ブロック>		47:50
10:55	<四国ブロック>							10:55
11								11
深夜								深夜

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日	

〔四国ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前 7:58	前7:40~8:00 四国おはようネットワーク							午前
						前11:50~11:55 ＜徳島単＞ 徳島を読む		
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>(随時)</p> <p>＜松山単＞ 四国アイランドリーグplus 愛媛マンダリンパイレーツ戦 (年4本程度)</p> <p>＜高知単＞ 四国アイランドリーグplus 高知ファイティングドッグス戦 (年3本程度)</p> <p>＜高松単＞ NHK ガイナーズナイター (年5本程度)</p> </div>							
午後								午後
夜間								午後

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後 7:58						後2:00~6:50		午後
	後6:00~6:50 とことんOO (再) (L)					土曜日 レディ ラジオマン ジャック U-18 ユ-ガタ M塾	後2:00~4:00 (土曜 年1本程度) NHKトーク&ライブ スペシャル	
夜間								午後

⑧九州ブロック

〈編成のポイント〉

九州・沖縄の9つの放送局は、視聴者の関心の高い問題に真摯に取り組み、身近で頼りにされる“地域を元気にする拠点”として、その役割を果たしていく。九州・沖縄に共通するテーマや、各放送局が重点的に取り組む企画は、ネットワークを生かして広く発信していく。

- 平日午後6時台のニュース番組では、九州・沖縄各地のニュースや話題を積極的に取り上げるほか、暮らしに役立つ情報やアジア情報も充実させる。金曜8時台の番組は、内容を全面的に刷新する。九州・沖縄各地のさまざまな話題を、親しみやすく紹介し、見れば元気になる番組を目指す。このほか、金曜夜間では、九州・沖縄地方に共通する課題をタイムリーに取り上げ、正面から向き合う報道番組や、アジアで活躍する人物のドキュメンタリー、生放送の長時間討論番組など、多彩な番組を放送し、“地域を元気にする拠点”としての役割を果たす。
- 地域の歴史や文化を紹介する紀行番組や、アジアとの意外な結びつきを紹介するラジオ番組、沖縄音楽とトークを楽しむラジオ番組などを制作するほか、豊かな自然や、文化・歴史など地域の魅力を伝える番組を積極的に全国に発信する。さらに、地域の課題を、ニュース番組や情報番組を通じて全国に向け発信する。
- 被爆地・長崎や住民を巻き込んだ地上戦の舞台となった沖縄をはじめ、九州・沖縄各県にはいまま戦争の深い傷が残っている。体験者の証言や記録資料などを通して戦争の実像に迫り、その悲惨さを後世に伝え、平和へのメッセージを発信していく。
- 地理的・歴史的・文化的にもアジアと深いかかわりを持ってきた地域の放送局として、アジア諸国との経済や産業、文化交流などの動きを各国の放送機関との連携も生かして伝えていく。

〈総合テレビ 金曜午後7時台・8時台の編成〉

「特報フロンティア」(新設)

〈第1週福岡県域・第2週以降九州ブロック(一部各局単)〉 後 7:30～ 7:55
九州・沖縄地域の課題や、人々が注目する出来事に正面から向き合い、検証や提言を行うスタジオ報道番組。地域経済、少子高齢化や教育、環境をめぐる問題など、視聴者にとって身近で重要なテーマを掘り下げてわかりやすく、タイムリーに伝える。
また、第1金曜日は、福岡県を舞台に、この地域の人々の暮らしを見つめ、地域のために奮闘する人、ひたむきに生きる人々の姿を、共感をこめて描くヒューマンドキュメンタリー「特報フロンティア ドキュメント」。さらに、喫緊の課題を取り上げる生放送の長時間討論番組「特報フロンティア 徹底討論」を年3本程度放送していく。

「きん☆すた」(新設)

〈九州ブロック(一部各局単)〉 後 8:00～ 8:45
福岡のスタジオから原則生放送でお伝えする新番組。扱うテーマはさまざま、九州沖縄の一番すごいものや人々、ほっと感動する物語、役立つ情報など。幅広い年代が楽しめる、地域を元気にする番組。

「地域特集」	<北九州単>	後 8:00～ 8:45(年5本程度)
「くまもとの風」	<熊本単>	後 7:30～ 7:55(第1～3週)
「くまもとの風スペシャル」	<熊本単>	後 8:00～ 8:45(年4本程度)
「なが☆スペ」	<長崎単>	後 7:30～ 7:55(月2回) ※年数本は後7:30～8:45
「かごしま熱風録」	<鹿児島単>	後 7:30～ 7:55(第1週)
「かごしま大作戦」	<鹿児島単>	後 8:00～ 8:45(年8本程度)
「宮崎熱時間」	<宮崎単>	後 7:55～ 7:55(第1週)
「みやざきスペシャル」	<宮崎単>	後 8:00～ 8:45(年6本程度)
「ハイビジョンが撮る おおいた美の風景」 または「おおいたスペシャル」	<大分単>	後 7:55～ 7:55(第1週)
「ししまるTV」	<大分単>	後 8:00～ 8:45(年6本程度)
「佐賀イズム」	<佐賀単>	後 7:30～ 7:55(第1週)
「さがんスペシャル」	<佐賀単>	後 8:00～ 8:45(年4本程度)
「きんくる～沖縄金曜クルーズ」	<沖縄単>	後 7:30～ 7:55(毎週)
「沖縄の歌と踊り」	<沖縄単>	後 8:00～ 8:45(第1週)

〈総合テレビ 平日午後5時台・6時台の編成〉

「いっちゃんがゴールド」	<宮崎単>	後 5:05～ 6:00(毎週金)
--------------	-------	-------------------

※午後5時台は、毎週金曜日の宮崎単を除いて「ゆうどきネットワーク」を放送。

「熱烈発信！福岡NOW」(新設) <福岡単> 後 6:10～ 7:00
 コンセプトは“今日にこだわり、明日を見つめる”“見たい、知りたいに、とことん応える”。
 きょうの福岡を、ライブ感たっぷりに伝えるほか、県内のネットワークを生かした「報道室リ
 ポート」のコーナーやアジア情報をいっそう強化する。さらに、新たに「九州沖縄ゾーン」を
 設け、郷土のニュース、気象情報、中継、リポートをより充実させる。

「こんばんは北九州」	<北九州単>	後 6:10～ 7:00
------------	--------	--------------

「クマロク！」	<熊本単>	後 6:10～ 7:00
---------	-------	--------------

「見んと！長崎」(新設) <長崎単> 後 6:10～ 7:00
 長崎の“きょう”、長崎の“いま”をコンパクトにわかりやすく伝え、地域の暮らしに役立つ情
 報を発信する。地域の魅力を紹介する「あなたの町のとっておき」や、スポーツ情報、「長
 崎原爆100人の証言」、カメラマンコーナーなど曜日ごとのコーナーとともに、県内の学校
 の校歌を紹介するコーナーや、気象予報士が週末の天気を解説するコーナーなどを新設
 する。

「情報WAVEかごしま」	<鹿児島単>	後 6:10～ 7:00
--------------	--------	--------------

「ニュースWAVE宮崎」	<宮崎単>	後 6:10～ 7:00
--------------	-------	--------------

「ニュースTodayおおいた」 <大分単> 後 6:10～ 7:00

「NEWSただいま佐賀」(新設) <佐賀単> 後 6:10～ 7:00

地域の課題に向き合い、地域を応援する総合的なニュース・情報番組。災害、事件・事故、選挙、有明海の再生、エネルギー、環境など、県民生活に大きな影響を与える問題について、記者解説やVTRレポートなど多角的な視点で分かりやすく伝える。さらに佐賀放送局開局70周年記念コーナーを通じて、佐賀の歴史・文化を見つめ直す。さらにJ1昇格が期待されるサッカーJ2「サガン鳥栖」の解説コーナーも充実させ、戦いぶりを詳しく伝える。

「NEWSおきなわ610」(新設) <沖縄単> 後 6:10～ 7:00

普天間基地の移設問題をはじめとする沖縄の基地問題、経済振興の課題などとともに、教育や福祉、医療、環境など県民の暮らしに密着した話題を積極的に取り上げる。沖縄県内の最新の動きを取材しながら、県外や国外にも取材活動の場を広げて、沖縄に関するニュースを多角的に伝えていく。また、6月23日の“慰霊の日”の前後や、月一回の戦跡シリーズなどを通じて、県民の反戦、非戦への思いを改めて伝える。“沖縄の今を多角的に伝える”ことを常に念頭に置きながら、視聴者の期待に応えていく。

〈その他の時間帯の新設番組〉

「ニュースおかえり845」 <佐賀単>〔総合〕(月)～(金) 後 8:45～ 9:00

“その日佐賀で何があったのか”をコンパクトに伝える地域ニュース番組。タイトルは、午後6時台のニュースに呼応。ストレートニュースと気象情報を中心に“今、知りたい”という情報で構成し、午後6時台で放送した企画なども放送し、見ごたえのあるニュースを目指す。

「俳句紀行シリーズ 海の細道をゆく」

<福岡九ブ>〔総合〕(第1土) 前 9:30～10:00

松尾芭蕉が成し得なかった西国をめぐる“海の細道”の旅を長年構想してきた俳人・長谷川権さんとともに、九州をはじめ西日本各地を訪ね、長谷川さんや芭蕉の俳句なども交えながら、それぞれの地域の歴史や文化、美しい風景を紹介する俳句紀行番組。

「トン☆スタ」 <福岡九ブ>〔総合〕(水) 前 1:00～ 1:30

<福岡九ブ>〔FM〕(最終土) 後 2:00～ 4:00

九州・沖縄の若きアーティスト発掘番組。アニメのテーマソングで人気のT-PISTONZ +KMCのリードボーカル、トン・ニーノと、元チェックーズで音楽プロデューサーの鶴久政治、そして番組キャスターの3人が、自由かつつなトークを交え、スターの原石を発掘・応援してゆく。

[九州・沖縄ブロック]
【総合テレビ】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日		
前4								前4	
5			九州・沖縄ブロック						5
6			九州・沖縄ブロック					九州・沖縄ブ	10
25			九州・沖縄ブロック						15
30			各局単※福岡・北九州は福岡発地域					九州・沖縄ブ	55
55									
7								7	
45								45	
51									
8								8	
25								25	
9								9	
10								10	
05								05	
11								11	
30								30	
45								45	
後								後	
0								0	
15								15	
20								20	
1								1	
2								2	
07								07	
312								312	
4								4	
450								450	
55								55	
05								05	
5								5	
54								54	
57								57	
10								10	
6								6	
45								45	
7								7	
55								55	
8								8	
45								45	
9								9	
10								10	
50								50	
55								55	
11								11	
深夜								深夜	

【教育テレビ】

	月	火	水	木	金	土	日
	後5:25~5:30						
	沖繩単						
	うちなーであそぼ						
				前7:25~7:30			
				沖繩単			
				うちなーであそぼ			
						前11:45~	
						九州ブロック	
						アートの魂(大人ドリル)	

〔九州ブロック〕
【ラジオ第1】

広域ブロック枠

ブロック枠

各局単枠

★印:新番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前 58	前7:40~8:00 ＜九州ブロック＞ おはよう九州沖縄							午前
午後	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 後0:15~0:50 <沖縄単>年11本 「沖縄熱中倶楽部」(再) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 後0:30~0:55 <福岡県域>年12本 「博多屋台こまっちゃん」(再) </div> </div>							午後
夜間	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> 後6:05~6:50/後7:30~(9:30) 年10本程度 <九州ブロック>「プロ野球ソフトバンク戦中継」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 後9:05~9:45 年1本 <九州ブロック> 九州劇場 </div> </div>							夜間

【 F M 】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; text-align: center;"> 最終(土)年10本 <九州ブロック> ★「トン☆スタ」 </div>							午前
午後	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 最終(月)<鹿児島単> 「かごしまのタベ」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> (金)年4本<熊本単> 「NHK・美術館コンサート」 </div> </div>							午後
夜間	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 後6:00~6:50 <九州ブロック> タベのひとつき </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 後2:00~6:50 ワイサデー (レ) </div> </div>							夜間
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 土曜日 レディ ラジオマン ジャック U-18 ユーガタ M塾 </div>							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> (金)<沖縄単> 「沖縄ミュージックジャーニー」 (月)~(木)年10本 「うちなぁジョッキー」 </div>							

⑨ニュース・気象情報・おしらせ等(ラジオ第1・FM)

	放送時間	曜日	北海道地方	東北地方	関東甲信越地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方		
R1-FM	前 5:55 ~ 6:00	月~日	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック		
	6:25 ~ 6:30	月~日										
R1-FM	6:55 ~ 7:00	月~日										
R1-FM	7:15 ~ 7:20	月~日		単	単 (FMは月~金:1都5 県 土日:関東)	単※			単	(月~金)単 (土・日)ブロック	単 (福岡・北九州は県域)	
	7:55 ~ 8:00	日									ブロック	
	8:55 ~ 9:00	月~日		単	単	単	ブロック	ブロック	ブロック	(月~土)ブロック3' 単2'(福岡・北九州は県域)		
	9:55 ~ 10:00	月~土	ブロック								単	単 (福岡・北九州は 県域)
	10:55 ~ 11:00	月~日										ブロック
R1-FM	11:50 ~ 0:00	月~金		単 (FM各局単)	単 (FM各局単)	単※	ブロック (京都単)	単	単	単 (福岡・北九州は県域)		
	11:50 ~ 11:55 <ネット:ミ番組>	土・日	<ネット入中>	(R1-FM)ブロック	(R1-FM)単 (FM関東ブ)	(R1-FM)東海3県・静岡単 他はネット入中	(R1-FM)ブロック	(R1-FM)ブロック	(R1-FM)単 (高知・高松は 11:50~11:55ネット入中)	<ネット入中>		
R1-FM	11:55 ~ 0:00	土・日	ブロック	ブロック	単 (FM関東ブ)	単※	ブロック	ブロック	ブロック	単 (福岡・北九州は県 域)		
R1-FM	後 0:10 ~ 0:15	土・日	ブロック	ブロック	単 (FM各局単)		ブロック (京都単)	単	単	単 (福岡・北九州は県域)		
R1-FM	0:15 ~ 0:20	月~金	ブロック (0:18~0:20 函・旭・帯・釧・北単)	単	単 (FM各局単)	単 (FM各局単)	ブロック (京都単)	単	単	単 (福岡・北九州は県域)		
R1-FM	0:55 ~ 1:00	月~土	ブロック	単	単 (FM関東ブ)	ブロック	ブロック	ブロック (土)単	ブロック	ブロック		
	1:55 ~ 2:00	月~日	ブロック (月~金 旭川・ 釧路・北見単)		ブロック		ブロック	ブロック (土 ※除く鳥取)		単 (福岡・北九州は県域)		
	2:55 ~ 3:00	月~日	ブロック (月~金 2:58~3:00 旭川・北見単)(金 函館単)		単		単※	ブロック	ブロック	単	ブロック	
	3:55 ~ 4:00	月~日	ブロック		ブロック	単		ブロック	単	ブロック	単 (福岡・北九州は県域)	
	4:55 ~ 5:00	月~日	ブロック (月~金 函館・釧路単)				ブロック	ブロック	単		(月~土) ブロック3' 単2' (福岡・北九州は県域)	
	5:55 ~ 6:00	月~日	ブロック	単		(月~金) ブロック3' 単※2' (5:55~6:00静岡単) (土・日)単※	(月~金)(「関西 ラジオワイド」) 4:05~6:00	ブロック	(月~金) ブロック3' 単2' (5:55~6:00高松単) (土・日)ブロック	単 (日)ブロック		
R1-FM	6:50 ~ 7:00	月~金	ブロック3' 単7'		単 (FM各局単)	単※ (FM津単・岐阜単)	ブロック5' 各単5' (6:50~7:00 京都単)	単	単	単 18:58~18:59:50 福岡・北九州は県域		
	6:50 ~ 7:00	土・日	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック		
R1-FM	7:15 ~ 7:20	土・日	ブロック	単 (FM関東ブ)	単	単※	ブロック	単	ブロック	単 (福岡・北九州は県域)		
	7:45 ~ 7:55	月~金		ブロック	単	ブロック (静岡・福井単)				単		
	7:55 ~ 8:00	月~土		(月~金)単 (土)ブロック	単	(月~金) ブロック (土)ブロック				ブロック (月~金・岡山単)		
	8:55 ~ 9:00	月~金										
	9:55 ~ 10:00	月~日		ブロック	ブロック	ブロック				ブロック		
	11:05 ~ 11:10	土・日										
	11:10 ~ 11:20	月~金							ブロック	ブロック		

※印
名古屋・津・岐阜は東海3県ブロック

⑩交通情報等の自主編成(ラジオ第1)

北海道地方	東北地方	関東甲信越地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
	「交通情報」 (仙台単) 月～金 前 8:26 ～ 8:28 (山形単) 月～金 前 8:26 ～ 8:28 (福島単) 月～金 前 8:26 ～ 8:28	「交通情報」 (東京単) 月～土 7:28 ～ 7:30 日 7:30 ～ 7:32 月～金 8:26 ～ 8:28 月～金 9:28 ～ 9:30 月～日 10:28 ～ 10:30 月～日 11:28 ～ 11:30 月～金・日 後 1:28 ～ 1:30 土・日 2:28 ～ 2:30 月～日 3:28 ～ 3:30 月～金 4:28 ～ 4:30 月～日 5:27 ～ 5:30 " 6:28 ～ 6:30 月～金 8:28 ～ 8:30	「交通情報」 (東海3県) 月～金 前 8:26 ～ 8:28 月～土 後 5:27 ～ 5:30	「交通情報」 (近畿ブロック) 月～土 前 7:28 ～ 7:30 月～金 8:26 ～ 8:28 " 9:28 ～ 9:30 月～日 10:28 ～ 10:30 月～日 11:28 ～ 11:30 月～金・日 後 1:28 ～ 1:30 土・日 2:28 ～ 2:30 月～日 3:28 ～ 3:30 土・日 5:27 ～ 5:29 月～土 6:28 ～ 6:30			

II. 地域発全国発信番組

さまざまな番組を通じて地域の今を多角的に伝えるとともに、地上波で地域からの全国発信枠を拡充するなどし、地域放送局の意欲的な番組を積極的に全国で紹介していく。

	新設番組		継続番組	
総合テレビ	ひるブラ	各局	目撃！日本列島 ろーかる直送便（枠拡大） お元気ですか 日本列島 小さな旅 産地発！たべもの一直線 ドキュメント20min. 歴史秘話ヒストリア バラエティー生活笑百科 さわやか自然百景	各局 各局 各局 各局 各局 各局 大阪 大阪 札幌
教育テレビ	俳句王国（移設）	松山	ストレッチマンハイパー きらっといきる コミ☆トレ 中学生日記 めざせ！会社の星	大阪 大阪 大阪 名古屋 名古屋
BS1	ドキュメンタリーWAVE	各局	BS列島ニュース	各局
BSプレミアム	西方笑土 新日本風土記	大阪 各局		
ラジオ第1			ここはふるさと旅するラジオ もぎたて！北海道 ぬくだまりの宿 みちのく亭 かんさい土曜ほっとタイム 上方演芸会 関西発ラジオ深夜便 ゆきねえの名古屋なごやか喫茶 博多屋台 こまっちゃん 沖縄熱中倶楽部	各局 札幌 仙台 大阪 大阪 大阪 名古屋 福岡 沖縄
ラジオ第2			株式市況(大阪) ともに生きる	大阪 大阪

※このほかにも「欽ちゃんのワースト脱出大作戦」(新設・総合)、「クイズでGo！ローカル線の旅」(新設・総合)、「のんびりゆったり 路線バスの旅」(新設・総合)、「にっぽん縦断 ころろ旅」(新設・BSプレミアム)、「食べてニッコリ ふるさと給食」(新設・BSプレミアム)、「にっぽん釣りの旅」(BSプレミアム)、「こんなステキなにっぽんが」(BSプレミアム)、「CATVネットワーク～すばらしき私の街～」(BSプレミアム)などの番組を通じ、地域の課題や取り組み、自然や文化など、さまざまな情報を積極的に全国に発信する。

Ⅲ. 放送を基軸とする多様なメディアによるサービス

テレビ放送のフルデジタル化を目前に控え、地上デジタル放送の普及促進にいつそう努めるとともに、インターネットや地域向けデータ放送など、放送を基軸とした多様なメディアによる地域放送サービスを強化していく。

〈おもな新規サービス〉

○インターネットでのサービス

「@首都圏センター」

首都圏各放送局のサイトとも連携し、県域を越えた視聴者ニーズに応え、見やすく使いやすくサイトを大幅リニューアル(首都圏放送センター)

「きこえてくるよ“千葉の音”」

千葉にまつわるさまざまな音を視聴者から募集・公開し、まだ知られていない千葉の魅力を伝えるサイト。番組への展開も視野(千葉)

「大河ドラマ地域放送局サイト」

大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」を中心に、関連の地域放送局が連携し各地の歴史や文化や名所、ロケ地情報などを提供(大津・福井・津)

「子どもを守れ！キャンペーン」

地域貢献事業として虐待や育児放棄、貧困など子どもを巡る問題に正面から取り組むキャンペーンのプラットフォームとして関連番組情報を提供するとともに、視聴者からの体験談募集など展開する予定(大阪)

「沖縄音楽大全」

沖縄本土復帰40周年に向けて、地元の伝統音楽をはじめとした「沖縄音楽のアーカイブ」を制作し、音声や映像で紹介(沖縄)

「『龍馬伝』サイトの外国語展開」

大河ドラマ『龍馬伝』の海外での放送を機に、長崎局公式サイト「とこしえ、龍馬」を英語、韓国語、中国語に翻訳して展開(長崎)

「新燃岳噴火情報」

大規模な噴火が続き、火山活動の長期化が懸念される中、鹿児島、宮崎両県に設置したカメラの映像をライブストリーミングで配信(宮崎・鹿児島)

○データ放送サービス

「雪道NAVI」

冬の北海道の峠の気象情報や交通規制情報をリアルタイムに提供し、交通安全に役立つ(札幌)

「河川情報、雨量情報」

各地の国土交通省地方整備局などの災害情報提供システムを利用した情報提供

(本部・甲府・津・大阪・神戸・奈良)

「新燃岳噴火情報」

火山灰の降る方向を「風向き」情報として配信するなど、インターネット・データ放送で噴火情報を提供中

(宮崎・鹿児島)

○その他の取り組み

「ほっかいどう穴場ハンター」

パソコン・携帯端末の番組サイトや「ツイッター」と連動し、北海道の知られていない“穴場”を視聴者からの投稿をもとに発見していく生放送のバラエティー番組(札幌)

IV. 地域放送時間

①地域放送時間（ブロック毎の1日の平均）

	総合テレビ	ラジオ第1	F M	教育テレビ	ラジオ第2
北海道	3° 08′	2° 44′	2° 03′	——	——
東北	3° 19′	2° 53′	2° 07′	2′ *1	——
関東甲信越	2° 46′	2° 48′	2° 05′	——	——
中部	3° 03′	2° 42′	2° 03′	9′ *2	33′ *3
近畿	4° 02′	3° 55′	2° 04′	——	——
中国	2° 51′	2° 46′	2° 08′	——	——
四国	2° 50′	2° 43′	2° 03′	——	——
九州	3° 00′	2° 46′	2° 03′	5′ *4	——
全局平均 (22年度比)	3° 08′ <-4′>	2° 51′ <-5′>	2° 04′ <-1′>		

*1 該当番組は、「いわてみんなのうた」
 <盛岡単・(金)後7:55~8:00、(土)後9:20~9:25、(日)前8:55~9:00>

*2 該当番組は、「世界ふれあい街歩き」「ホットスポット最後の楽園/シリーズ世界遺産100」
 「はろ〜!あにまる」 <中部ブロック・(土)後0:00~1:00>

*3 該当番組は、「ラジオジャパンフォーカス」
 <東海4県ブロック・(日、月)前0:40~1:00、(火、水)前0:40~0:55、
 (木、金)前0:20~0:35、(土)前0:40~0:55
 (月、日)前5:40~6:00、(火~土)前5:45~6:00>

*5 該当番組は、「アスリート之魂(月1回は大人ドリル)」(再)
 <九州沖縄ブロック・(月)前0:45~1:14>
 「うちなーであそぼ」<沖縄単・(月)後5:25~5:30(金)7:25~7:30>

② 各局地域放送時間一覧 (1日の平均)

メディア 局名	総合						ラジオ第1			FM			教 育			ラジオ第2		
	総放送 時間	内 訳		総放送 時間	内 訳		総放送 時間	内 訳		総放送 時間	内 訳		総放送 時間	内 訳				
		自局編成	他局受け		自局編成	他局受け		自局編成	他局受け		自局編成	他局受け		自局編成	他局受け			
北海道	札幌	3° 08'	2° 12'	0° 56'	2° 42'	2° 14'	0° 28'	2° 03'	0° 44'	1° 19'								
	函館	3° 08'	0° 16'	2° 52'	2° 50'	0° 18'	2° 32'	2° 03'	0° 07'	1° 56'								
	旭川	3° 08'	0° 16'	2° 52'	2° 46'	0° 16'	2° 30'	2° 03'	0° 07'	1° 56'								
	帯広	3° 08'	0° 16'	2° 52'	2° 43'	0° 08'	2° 35'	2° 03'	0° 07'	1° 56'								
	釧路	3° 08'	0° 16'	2° 52'	2° 42'	0° 13'	2° 29'	2° 03'	0° 07'	1° 56'								
	北見	3° 08'	0° 16'	2° 52'	2° 42'	0° 12'	2° 30'	2° 03'	0° 07'	1° 56'								
	室蘭	3° 08'	0° 11'	2° 57'	2° 42'	0° 05'	2° 37'	2° 03'	0° 05'	1° 58'								
東北	仙台	3° 21'	2° 33'	0° 48'	2° 58'	2° 32'	0° 26'	2° 06'	1° 00'	1° 06'								
	秋田	3° 17'	1° 21'	1° 56'	2° 51'	0° 51'	2° 00'	2° 07'	0° 29'	1° 38'								
	山形	3° 18'	1° 21'	1° 57'	2° 54'	0° 54'	2° 00'	2° 07'	0° 29'	1° 38'								
	盛岡	3° 19'	1° 23'	1° 56'	2° 51'	0° 51'	2° 00'	2° 07'	0° 29'	1° 38'	0° 02'	0° 02'						
	福島	3° 18'	1° 22'	1° 56'	2° 53'	0° 53'	2° 00'	2° 07'	0° 29'	1° 38'								
	青森	3° 18'	1° 22'	1° 56'	2° 51'	0° 51'	2° 00'	2° 07'	0° 29'	1° 38'								
関東甲信越	本部	2° 58'	2° 58'	——	3° 03'	2° 37'	0° 26'	2° 03'	2° 03'	——								
	長野	2° 34'	1° 23'	1° 11'	2° 42'	1° 35'	1° 07'	2° 03'	0° 33'	1° 30'								
	新潟	2° 36'	1° 26'	1° 10'	2° 42'	1° 35'	1° 07'	2° 03'	0° 33'	1° 30'								
	甲府	2° 38'	1° 28'	1° 10'	2° 43'	1° 26'	1° 17'	2° 03'	0° 33'	1° 30'								
	横浜	——	——	——	——	——	——	2° 03'	0° 54'	1° 09'								
	前橋	——	——	——	——	——	——	2° 03'	0° 57'	1° 06'								
	水戸	3° 02'	1° 25'	1° 37'	——	——	——	2° 03'	0° 22'	1° 41'								
	千葉	——	——	——	——	——	——	2° 21'	1° 16'	1° 05'								
	宇都宮	——	——	——	——	——	——	2° 03'	0° 58'	1° 05'								
	さいたま	——	——	——	——	——	——	2° 03'	0° 54'	1° 09'								
中部	名古屋	3° 10'	2° 23'	0° 47'	2° 46'	2° 20'	0° 26'	2° 03'	1° 13'	0° 50'	0° 09'	0° 09'		0° 33'	0° 33'			
	金沢	3° 00'	1° 30'	1° 30'	2° 41'	1° 01'	1° 40'	2° 03'	0° 30'	1° 33'	0° 09'		0° 09'					
	静岡	2° 51'	1° 26'	1° 25'	2° 42'	1° 13'	1° 28'	2° 03'	0° 29'	1° 34'	0° 09'		0° 09'	0° 33'		0° 33'		
	福井	3° 00'	1° 31'	1° 30'	2° 42'	1° 10'	1° 32'	2° 03'	0° 28'	1° 35'	0° 09'		0° 09'					
	富山	2° 56'	1° 25'	1° 31'	2° 41'	1° 01'	1° 40'	2° 03'	0° 28'	1° 35'	0° 09'		0° 09'					
	津	3° 12'	0° 39'	2° 36'	——	——	——	2° 03'	0° 12'	1° 51'	0° 09'		0° 09'	0° 33'		0° 33'		
	岐阜	3° 09'	0° 34'	2° 35'	——	——	——	2° 03'	0° 12'	1° 51'	0° 09'		0° 09'	0° 33'		0° 33'		
近畿	大阪	4° 03'	3° 37'	0° 26'	3° 55'	3° 26'	0° 29'	2° 04'	1° 22'	0° 42'								
	京都	4° 02'	0° 43'	3° 19'	3° 55'	0° 20'	3° 35'	2° 04'	0° 18'	1° 46'								
	神戸	4° 02'	0° 43'	3° 19'	——	——	——	2° 04'	0° 04'	2° 00'								
	和歌山	4° 03'	0° 41'	3° 22'	——	——	——	2° 04'	0° 11'	1° 52'								
	奈良	4° 02'	0° 46'	3° 16'	——	——	——	2° 04'	0° 04'	2° 00'								
	大津	4° 02'	0° 43'	3° 19'	3° 55'	0° 05'	3° 50'	2° 04'	0° 04'	2° 00'								
中国	広島	2° 59'	2° 23'	0° 36'	2° 46'	2° 20'	0° 26'	2° 24'	1° 07'	1° 17'								
	岡山	2° 46'	1° 30'	1° 16'	2° 46'	0° 55'	1° 51'	2° 03'	0° 26'	1° 37'								
	松江	2° 47'	1° 31'	1° 16'	2° 46'	0° 52'	1° 54'	2° 03'	0° 25'	1° 38'								
	鳥取	3° 00'	1° 39'	1° 21'	2° 46'	0° 52'	1° 54'	2° 05'	0° 27'	1° 38'								
	山口	2° 41'	1° 25'	1° 16'	2° 46'	0° 52'	1° 54'	2° 03'	0° 25'	1° 38'								
四国	松山	2° 49'	2° 12'	0° 37'	2° 43'	2° 17'	0° 26'	2° 03'	0° 46'	1° 17'								
	高知	2° 46'	1° 24'	1° 22'	2° 43'	0° 33'	2° 10'	2° 03'	0° 24'	1° 39'								
	徳島	2° 53'	1° 29'	1° 24'	2° 41'	0° 33'	2° 08'	2° 03'	0° 26'	1° 37'								
	高松	2° 53'	1° 22'	1° 31'	2° 44'	0° 36'	2° 08'	2° 03'	0° 24'	1° 39'								
九州	福岡	2° 59'	2° 12'	0° 48'	2° 47'	2° 20'	0° 27'	2° 03'	1° 23'	0° 40'	0° 04'	0° 04'						
	北九州	2° 59'	0° 52'	2° 07'	2° 47'	0° 01'	2° 46'	2° 03'	0° 06'	1° 57'	0° 04'		0° 04'					
	熊本	2° 59'	1° 23'	1° 36'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 26'	1° 37'	0° 04'		0° 04'					
	長崎	2° 59'	1° 20'	1° 39'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 25'	1° 38'	0° 04'		0° 04'					
	鹿児島	2° 59'	1° 18'	1° 41'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 27'	1° 36'	0° 04'		0° 04'					
	宮崎	2° 59'	1° 24'	1° 35'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 27'	1° 36'	0° 04'		0° 04'					
	大分	2° 59'	1° 15'	1° 44'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 25'	1° 38'	0° 04'		0° 04'					
	佐賀	2° 59'	1° 17'	1° 42'	2° 46'	0° 44'	2° 02'	2° 03'	0° 25'	1° 38'	0° 04'		0° 04'					
沖縄	3° 05'	1° 32'	1° 33'	2° 48'	0° 46'	2° 02'	2° 03'	0° 34'	1° 29'	0° 14'	0° 10'	0° 04'						